maxell

取扱説明書

iV & ブルーレイディスクレコーダー

形名 **BIV-R1021**
BIV-R521

BONUS VIEW ™

このたびは iV & ブルーレイディスクレコーダーをお買い求めいただき、ありがとうございました。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDD の内容（録画済の番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

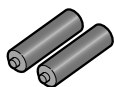
最初に この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」（p.7 ～ 12）をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。

付属品を確認する

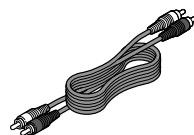
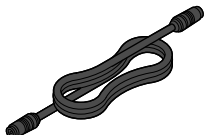
□ の中に、チェックマーク（✔）を付けてご確認ください。
欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ リモコン／ 1 個

□ 単四形乾電池／ 2 個

□ B-CAS カード／ 1 枚
（台紙に貼り付けてあります）

□ 同軸ケーブル／ 1 本

□ 映像ケーブル／ 1 本

□ 音声ケーブル／ 1 本

□ 本書（取扱説明書）／1 冊

□ かんたん準備ガイド／ 1 冊

梱包箱に添付された保証書は、内容をご確認の上、たいせつに保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

お使いのアンテナを確認をする

地上デジタル放送をお楽しみいただくには、対応のアンテナが設置されている必要があります。

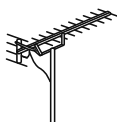
管理会社などに、建物が「地上デジタル放送に対応」しているかどうかをご確認ください。対応していない場合、個人で対応のアンテナを設置する必要があります。

お住まいの地域が「難視聴地域」である可能性があります。お住まいの市・町・村の役所などに難視聴地域であるかどうかを、ご確認ください。「難視聴地域」の場合、CATV 会社とのご契約が必要になることがあります。その点などもご確認ください。
難視聴地域でない場合は、地上デジタル放送対応のアンテナを設置する必要があります。

地上デジタル放送対応アンテナの設置などについては、販売店や設置業者にご相談ください。

地上デジタル放送をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。
電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

地上デジタル放送対応
UHF アンテナ

- 地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。地上デジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。
- 本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属の同軸ケーブルか、地上デジタル対応の同軸ケーブル（市販品）をお使いください。
- アンテナ線はほかの電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。

もくじ

1 はじめに

2 接続

3 基本設定

4 操作をする前に

もくじ・つづき

5 視聴する

6 使えるメディア

7 録画する

8 録画予約する

9 再生する

10 編集する

もくじ・つづき

11 メディアを管理する

12 ダビングする

13 便利な機能

14 ご注意と参考資料

15 さまざまな情報

この取扱説明書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」、「本体」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「用語説明」（p.175）をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

■ マークの意味

本機を使う際に、気をつけていただきたい情報です。

本機を使う際の、補足説明やお知らせです。

安全上のご注意 必ずお読みください

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷※2を負う可能性が想定される内容および物的損害※3のみの発生が想定される内容を示しています。

※１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。
※２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。
※３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
⚠ 注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

●● ▶ 次ページへつづく

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

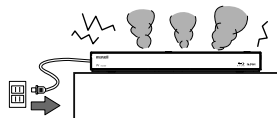
安全上のご注意

● イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

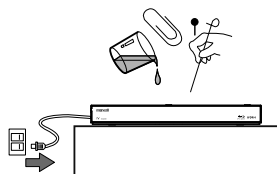
⚠警告

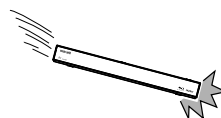
■ **煙が出ている、異臭や音がするときは、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなる、異臭や音がしないことを確認して販売店に修理をご依頼ください。

■ **画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ **内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■ **本機を落としたり、破損した場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

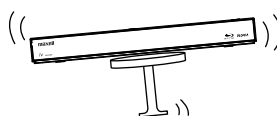
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置するとき

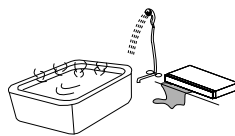
⚠警告

■ **電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける**

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

■ **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ **水まわり (風呂、シャワー室) など水滴がかかる場所で使用しない**

火災・感電の原因となります。

⚠警告

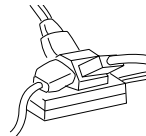
■ **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない**

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

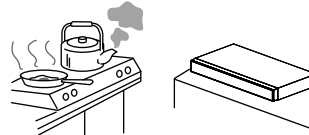
■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない**

たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。

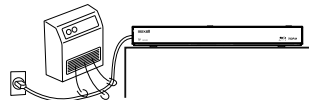
● 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

禁止

⚠注意

■ **湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない**

火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ **電源コードを熱器具に近づけない**

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ **移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。

禁止

■ **本機の通風孔をふさがない**

内部に熱がこもり、火災の原因となります。特に次のような使い方はおやめください。故障の原因となります。

－ 本機を上向きや横倒し、下向きにする。
－ 押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
－ じゅうたんや布団の上に置く。
－ テーブルクロスなどを掛ける。

禁止

■ **本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください**

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

指示

■ **アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください**

送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● BS・110 度デジタル CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付けてください。

指示

次ページへつづく

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

使用するとき

⚠警告

■ **本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品や薬品など液体の入った容器を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

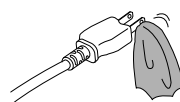
■ **本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない**

火災・感電の原因となります。

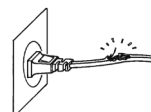
● 雨天、降雪中での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■ **電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

指 示

■ **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、加熱したりしない**

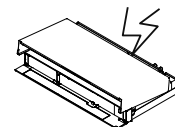
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

禁 止

■ **雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない**

感電の原因となります。

接触禁止

■ **本機のトップカバーは開けない本機を分解、改造しない**

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ **カセット HDD 挿入口やディスクトレイ、ドアの隙間に指などを入れない**

カセット HDD 挿入口や内部に指を入れて突起に触れたり、ドアの開閉時に隙間に指を挟んだりすると、けがの原因となることがあります。

禁 止

■ **SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**

● 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。

禁 止

■ **電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。**

● 誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。

禁 止

⚠注意

■ **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

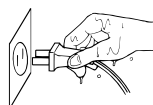
■ **電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない**

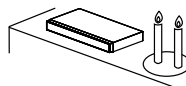
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

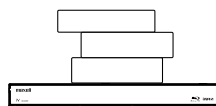
■ **本機の上に乗らない**

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

■ **機器の近くにローソクなどの裸火を置かない**

火災・感電の原因となることがあります。

■ **本機の上に重い物を置かない**

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■ **旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く**

火災の原因となることがあります。

■ **背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがない**

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
これら通風孔とラックとの間は 10cm 以上離してください。

■ **ディスクトレイ開閉口やカセット HDD の挿入口の前にものを置かない**

ディスクトレイが開いたときやカセット HDD を取り出した際に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。

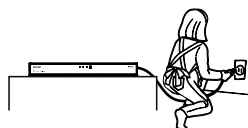
●●▶次ページへつづく

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

お手入れするとき

⚠注意

■ **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う**

感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

■ **可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない**

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点、静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁 止

■ **年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください**

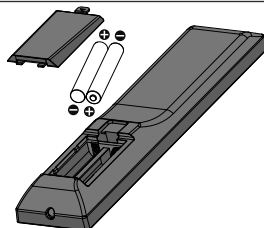
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除作業および費用については販売店などにご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

■ **間違った電池の使い方をしない**

極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指 示

- 乾電池は充電しないでください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 火、水の中に入れないでください。
- 分解、加熱しないでください。
- 日光、火などの過度の熱にさらさないでください。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。
- 液漏れした電池は使わないでください。
- 使いきった電池は取り外してください。長期間使用しないときも取り外してください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁 止

⚠注意

■ **電池が液もれしたときは、素手で液をさわらないでください**

- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。

禁 止

■ **乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください**

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

指 示

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください
直射日光が当たる場所や熱器具の近くなどに設置されると、変形･変色など悪い影響を与えますのでご注意ください。

■ 超音波式加湿器のそばに置かないでください
超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、本機内部に白い粉状のものが入り込んで故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

■ SD メモリーカード挿入口に異物を挿入しないでください
SD メモリーカード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。 microSD メモリーカードをご利用の場合は、SD メモリーカード変換アダプターに装着してご利用ください。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください
B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。
故障や破損の原因となります。

■ カセット HDD 挿入口に異物を挿入しないでください
カセット HDD 以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。
故障や破損の原因となります。

■ 輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください
- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
- 立てたままの輸送はおやめください。

■ お手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布 (生地の表面が起毛された綿素材など) で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で 100 倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
  - 酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

アルコール ベンジン シンナー 殺虫剤

■ 洗剤を直接本機にかけないでください
水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

3D 映像を見るときは
本機で3D 映像を楽しむときには､以下の点にご注意ください。また､3D 対応テレビや 3D メガネの取扱説明書もお読みください。

- **てんかんの可能性、光過敏症の既往症、心臓の疾患がある方､体調不良の方は 3D 映像の視聴はお控えください。**
  症状悪化の原因となることがあります。
- **3D 映像は適正な位置・適正な姿勢で視聴することをお勧めいたします。**
- **3D(立体) 映像を視聴したとき映像が二重に見えたり、立体像が感じにくい場合は、直ちに使用を中止し、表示機器やソフトの設定に間違いがないか確認してください。それでも二重像に見えたり違和感を感じる等、立体視が成立しない場合は、利用を中止してください。**
- **3D 映像の視聴年齢は､6 歳以上を目安にしてください。**
  お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。
- **3D 映画などを視聴する場合は一作品の視聴を目安に適度に休憩をとるようにしてください。**
  長時間の視聴は視覚疲労の原因となることがあります。
- **3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じるときは、視聴を中止してください。**
  そのまま視聴すると、体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
- **薬剤を常用している場合は、映像視聴による影響を強く受ける可能性があります。何らかの異常を感じた場合には使用を中止してください。**
- **見え方には個人差があります。体調がすぐれないとき、または視聴中に体調の変化を感じたときには視聴をお控えください。**

メモ
- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは ➡ (p.14) の「使用上のお願い」も同様に、必ずお読みください。

使用上のお願い 必ずお読みください

■ 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

HDD およびカセット HDD についての重要なお願い

HDD は衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
- 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
- 本機は水平に置いてください。
- 背面の内部冷却用ファンの通風孔をふさがないでください。
- 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
- 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは､必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。

HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このため HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。

また、HDD 内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に複数の違う媒体にダビングしてください。パソコンと同様に、HDD は壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。複数の違う媒体へのバックアップを前提のうえで使用してください。

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- “高速起動”を設定している時間帯はコンセントは抜かないでください。故障の原因となります。
- **移動させるときは…**
  引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
- 本機を立てて輸送はしないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- **ふだん使用しないときは…**
  カセット HDD やディスクを取り出し、電源を切ってください。
- **長期間使用しないときは…**
  電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。カセット HDD やディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがや故障の原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布（ 生地の表面が起毛された綿素材など ）で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で 100 倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

- 特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
  - 酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
  外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合、受信状態は改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

音量について

- 市販の BD/DVD-Video の中には、音量が音楽用 CD などの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音･編集を行い、正しくできることを確かめてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、飛んだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のため 1 回だけ録画が可能な番組(コピーワンスプログラム)などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書（本書）は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販の BD/DVD-Video などは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。

録画・録音するときの制約

- **本機では、DVD には直接録画できません。**
- **本機でカセット HDD にデジタル放送を直接録画するときの録画モードは「TS」のみとなります。**
- 市販されているコピーが禁止された BD/DVD-Video、音楽用 CD の内容を、本機でコピーすることはできません。
- 1 回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）や複数回コピー可能な映像（ダビング 10）※1 は、HDD やカセット HDD、または BD-RE/BD-R に録画できますが、DVD-RW/DVD-R（ビデオフォーマット）への録画はできません。（CPRM ※2 対応の DVD-RW/DVD-R（VR フォーマット /AVCREC™ フォーマット）にはダビングできます）
- BD/DVD-Video にはダビング（移動やコピー）できません。
- HDD に録画したコピーワンスの映像は、カセット HDD や BD-RE/BD-R または CPRM ※2 対応の DVD-RW/DVD-R（VR フォーマット /AVCREC™ フォーマット）へのダビング（移動）は可能ですが、ダビング（コピー）はできません。
- HDD に録画したダビング 10 タイトルは、カセット HDD や BD-RE/BD-R または CPRM ※2 対応の DVD-RW/DVD-R（VR フォーマット /AVCREC™ フォーマット）へのダビング（移動またはコピー）が可能ですが、回数制限があります。
- コピーワンス、ダビング 10 ともにダビングの際やその他の編集制限があります。くわしくは「本機でできるダビングの種類」（p.129）をご覧ください。

※1 ダビング 10及び条件については、(p.16、132)をご覧ください。
※2 CPRM や各ディスクについては、(p.74) をご覧ください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。（ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります）
- 地上デジタル放送の特長
  ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
  ② 高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）
  ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
  ④ データ放送や双方向通信サービス
  （通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送などがご覧いただけます。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども楽しめます）
  ⑤ 移動体受信・部分受信サービス
  （本機では部分受信サービスは受信できません）

●● ▶ 次ページへつづく

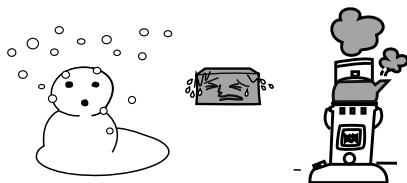
使用上のお願い 必ずお読みください・つづき

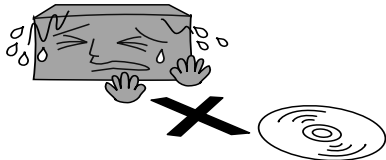
結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

“結露”はこんなときおきます

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください

- 結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

クリーニングディスクについて

市販のレンズクリーニングディスクをご使用になる場合は、日立マクセル製ブルーレイレンズクリーナー「型番 BDRO-CL(S)/BDRO-CW(S)/BDRP-DW-WP(S)」をお使いください。

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

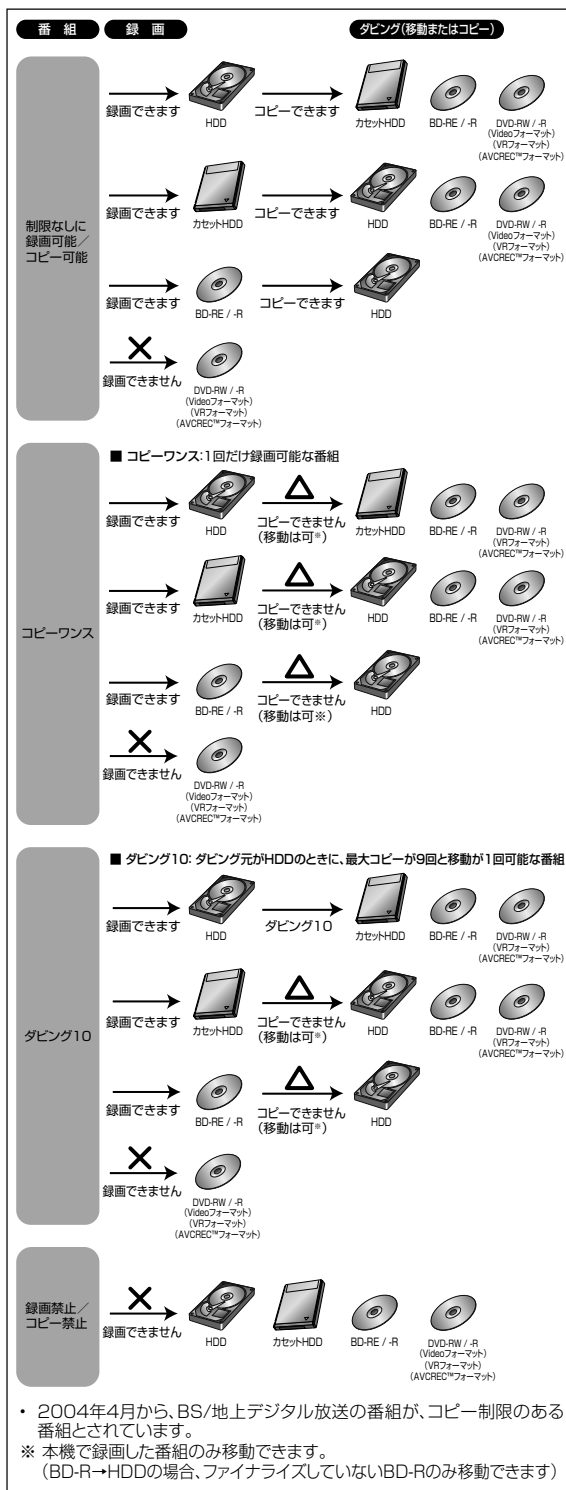
廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種“初期化”（p.145）を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。また、お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- B-CAS カードの廃棄に関しては「B-CAS カード使用許諾契約約款」にしたがってください。

ダビング 10 番組について

- **本機では、DVD には直接録画できません。**

ダビング 10 番組 (以下、ダビング 10) とは、デジタル放送でダビング元が HDD のときに、ダビングが最大 10 回（コピー 9 回と移動 1 回）できる番組のことです。

・ 2004年4月から、BS/地上デジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。
※ 本機で録画した番組のみ移動できます。
（BD-R→HDDの場合、ファイナライズしていないBD-Rのみ移動できます）

ダビングについてくわしくは（p. 129 〜 138）をご覧ください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

  G ガイドは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

  本機は、Rovi Corporation ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は Rovi Corporation の認可が必要であり、Rovi Corporation の認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード（複製防止）機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio I Essential は、DTS, Inc. の商標です。Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio I Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、Blu-ray 3D™（ブルーレイ 3D）、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™ 及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 「iVDR」と iVDR S は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。

HDD ／カセット HDD（iVDR）について

重要 必ずお読みください

HDD ／カセット HDD (iVDR) の取扱いについてのお願い

本機に内蔵の HDD および別売のカセット HDD は非常に精密な機器です。使用する環境や取扱いにより HDD ／カセット HDD の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。
カセット HDD 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。

■設置時

- 背面や側面の通風孔をふさがないでください。
- 振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 「結露」(つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
- 「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約 2 ～ 3 時間なじませてから電源を入れてください。
- 温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
- 安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■動作中

- 電源プラグを抜かないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
  移動するときには・・・① カセット HDD アクセス※（動作中）ランプが消灯していることを確認し、カセット HDD を取り出す。内蔵 HDD が動作しているときは停止する。また、“待機設定”を“高速起動”以外に設定する。
  ② 電源ボタンを押してスタンバイ状態にする。
  ③ 2 分以上待ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体を動かす。

カセット HDD アクセス※(動作中)ランプ (p.21) が赤色で点灯中のときは、カセット HDD を抜かないでください。

お知らせ

- 本体前面の電源ランプが緑色に点灯している間、HDD ／カセット HDD は高速で回転しています。
  起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
- データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
- 振動や衝撃によって、HDD ／カセット HDD が正常に動作しない場合があります。

■停電が発生した場合

- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDD ／カセット HDD の録画内容が損なわれる可能性があります。

■故障時のお願い

- 再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDD ／カセット HDD の故障が考えられます。
  このような場合は HDD ／カセット HDD の交換が必要です。
- HDD ／カセット HDD を交換する場合、HDD ／カセット HDD の録画内容を新しい HDD ／カセット HDD に移すことはできません。
- カセット HDD の故障時は、カセット HDD の保証書をご覧いただき、保証書に記載のお問い合せ先にお問い合せください。

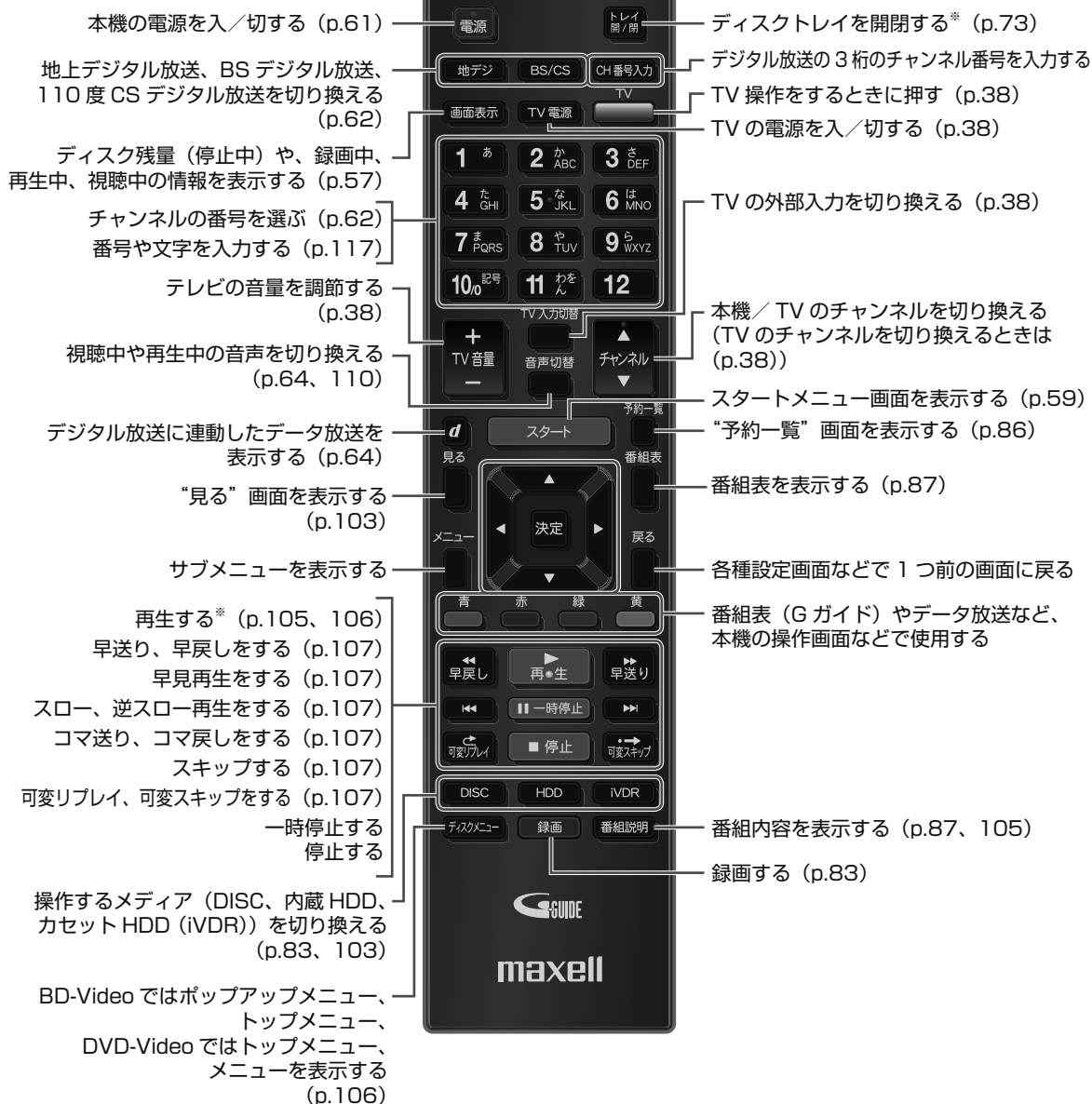
■大切な映像を保存するために

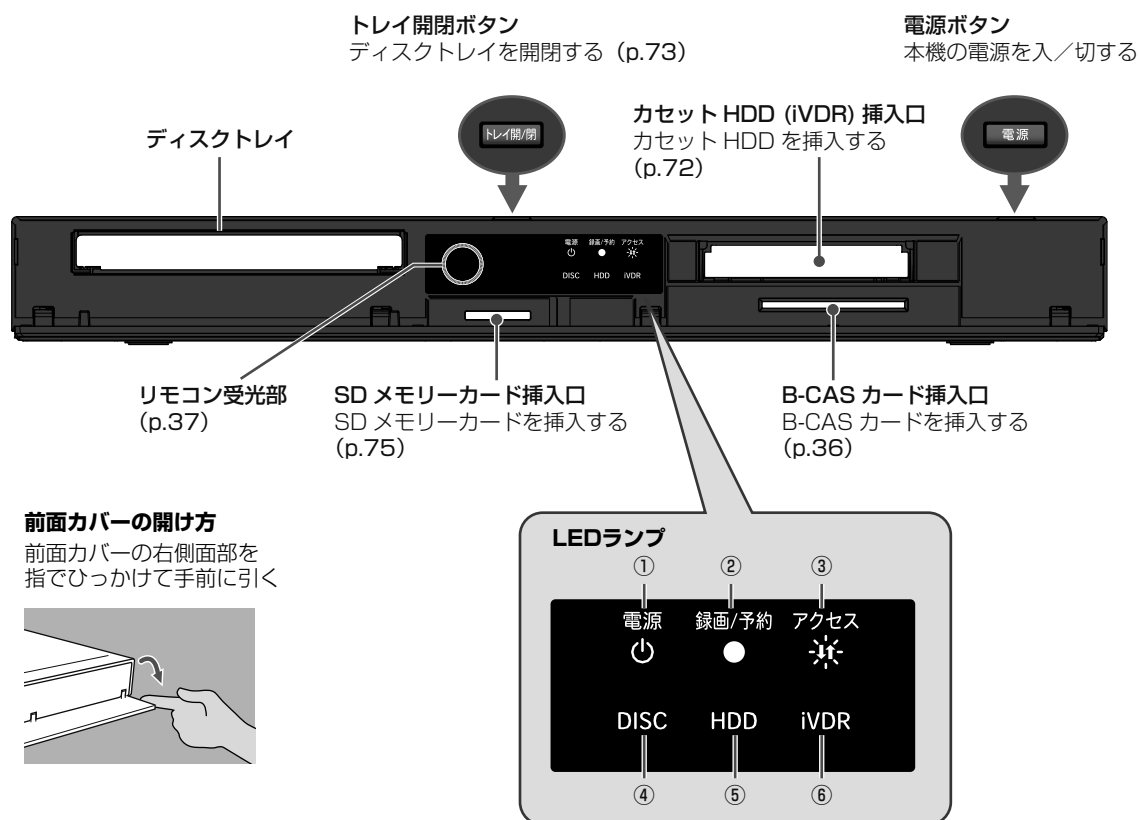
- 故障の場合、HDD ／カセット HDD の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、ブルーレイ /DVD ディスクにバックアップされることをおすすめします。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

各部の紹介

リモコン

■ 乾電池の入れかたは（p.37）をご覧ください。

※ これらのボタンでも本機を起動させることができます。

本体前面

■ LED ランプについて

① 電源 ⏻： 本機の電源を「入」にしてから、操作可能になるまで赤色で点滅します。
本機の電源が「入」のときに、緑色で点灯します。本機が待機中のときに、赤色で点灯します。
※待機設定を“省エネ待機”に設定している時は、本機が待機中の時に、消灯します。（p.144）

② 録画/予約： 録画中またはダビング中のときに、赤色で点灯します。録画予約があるときは、橙色で点灯します。
※録画が一時停止状態のときは、赤色で点滅します。（p.76）

③ アクセス☼： iVDR アクセス中（読み込み中、再生中、録画中、編集中、ダビング中）のときに、赤色で点灯します。

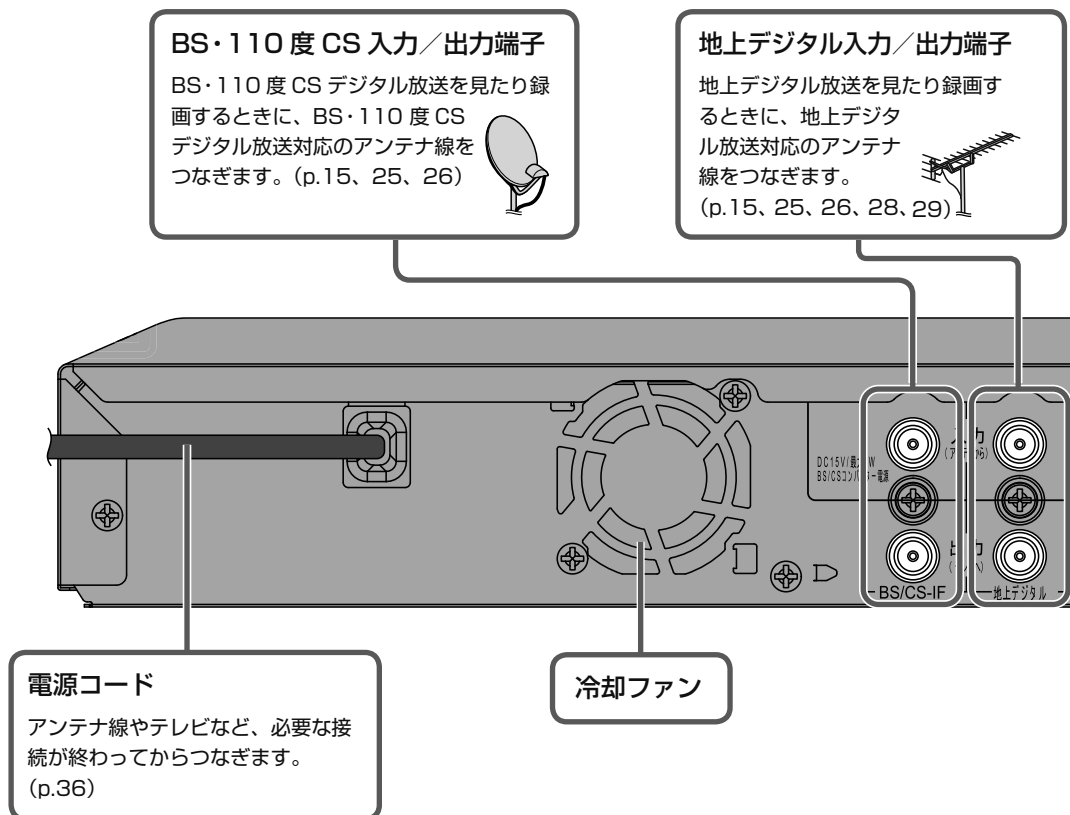
④ DISC： DISC モードのときに、青色で点灯します。

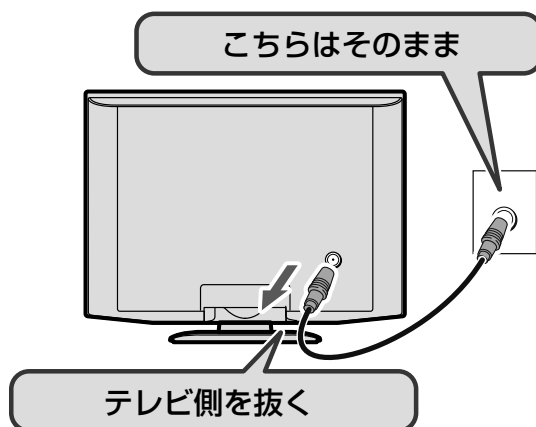
⑤ HDD： HDD モードのときに、橙色で点灯します。

⑥ iVDR： iVDR モードのときに、緑色で点灯します。

各部の紹介・つづき

本体背面

■ 端子の種類を確認する

■ つなぐ場所を確認する（テレビ側）

テレビの電源を「切」の状態にします。
電源プラグを先にコンセントから抜きます。そのあと、アンテナ線をはずします。

ご注意

- 本体内部の放熱をよくするために、本体背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm 以上空けてください。

メモ

- 本体背面の冷却用ファンは，本体の電源が「入」および“高速起動”設定時間帯に常時回ります。（p.145）

LAN 端子

ネットワークと接続します。（p.31、32）

光デジタル音声出力端子

デジタル音声出力端子、デコーダー内蔵 AV アンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。（p.34）

入力端子

BS デジタルやスカパー！チューナー、ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスや、他機の映像を録画したいときに、機器とつなぎます。（p.28 ～ 30）

HDMI 出力 / LAN（10 / 100） / 光デジタル音声出力 / 右－音声入力－左 / 映像入力 / 右－音声出力－左 / 映像出力

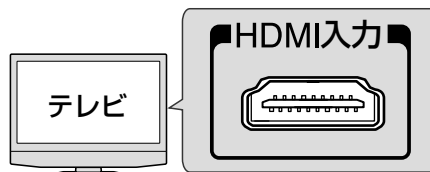
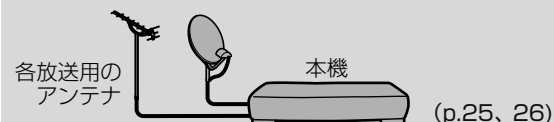
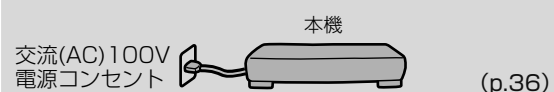
HDMI 出力端子

テレビの HDMI 入力端子につなぐときに使います。きれいな映像と音声が楽しめます。デジタルハイビジョンの映像や音声を、他の端子よりも高音質※で楽しめます。
※つなぐテレビの性能にもよります。
（p.27、34）

出力端子

テレビの映像（黄）入力・音声（赤／白）入力端子とつなぐときに使います。
（p.28 ～ 30）

テレビの映像・音声入力端子と本機を接続すると、テレビで本機の映像・音声を出力することができます。

お使いのテレビに「HDMI 入力」端子があるときは、HDMI ケーブル（市販品）のご使用をおすすめします。音声と映像の接続が 1 本のケーブルで行えます。

接続の進めかた

これで準備（接続）は終わりです。基本設定に進んでください。

つなぐときの注意

- **接続するときは、必ず本機および接続するテレビやモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。（p.36）
- **テレビから外したアンテナ線の形状、コネクター部分が以下のようなとき**

F 型
コネクター

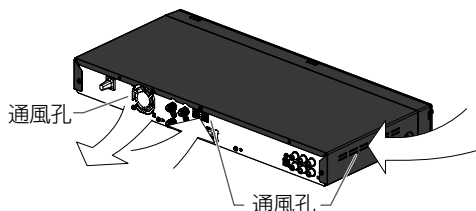
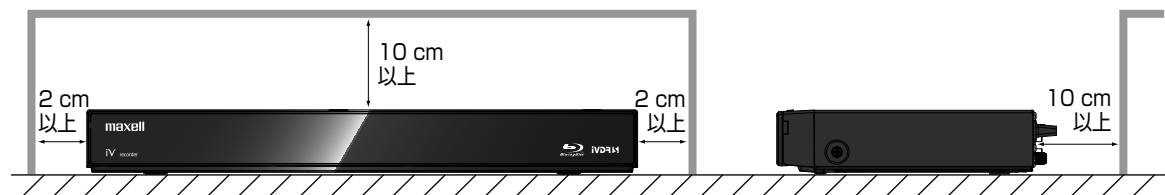
地上デジタル放送用アンテナとの接続には、同軸ケーブルをおすすめします。今まで使っていた、または市販の同軸ケーブルが F 型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。

同軸ケーブル（付属品）のプラグ部分がテレビなどの地上デジタル（UHF）端子と合わないことがあります。その場合は、端子に合った市販の同軸ケーブルをお買い求めください。

- **BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナをつないだとき**
  BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナに電源を供給する設定をします。（p.45）

据え付けについて

据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。内蔵 HDD やカセット HDD に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。また、故障の原因となります。
④ 性能や安全性を維持するために、本機は床置きで使用しないでください。

⚠ 注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

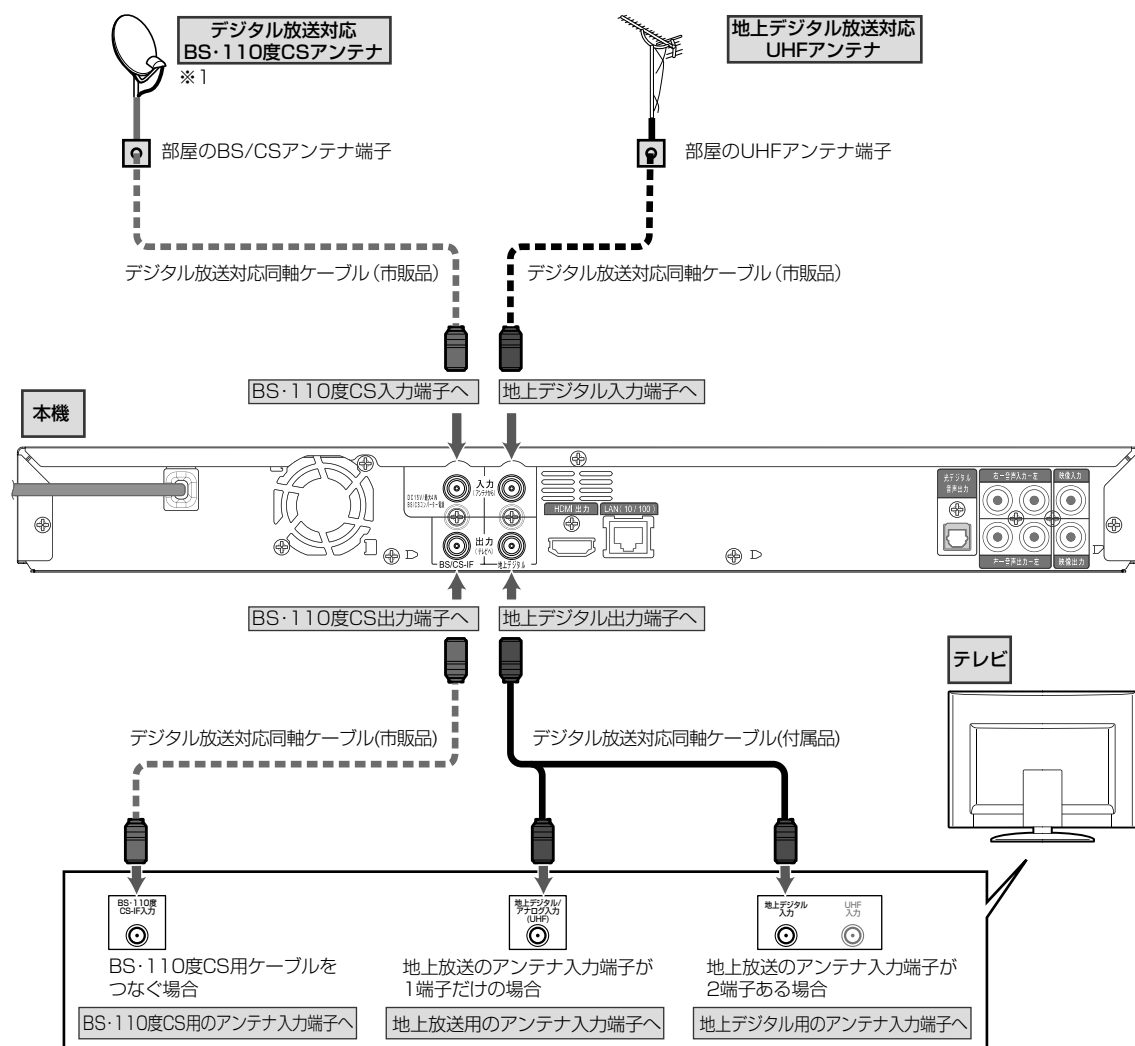
アンテナ線を本機につなぐ

ご自宅のアンテナの状況に応じて、アンテナー本機ーテレビ間でアンテナ線をつないでください。

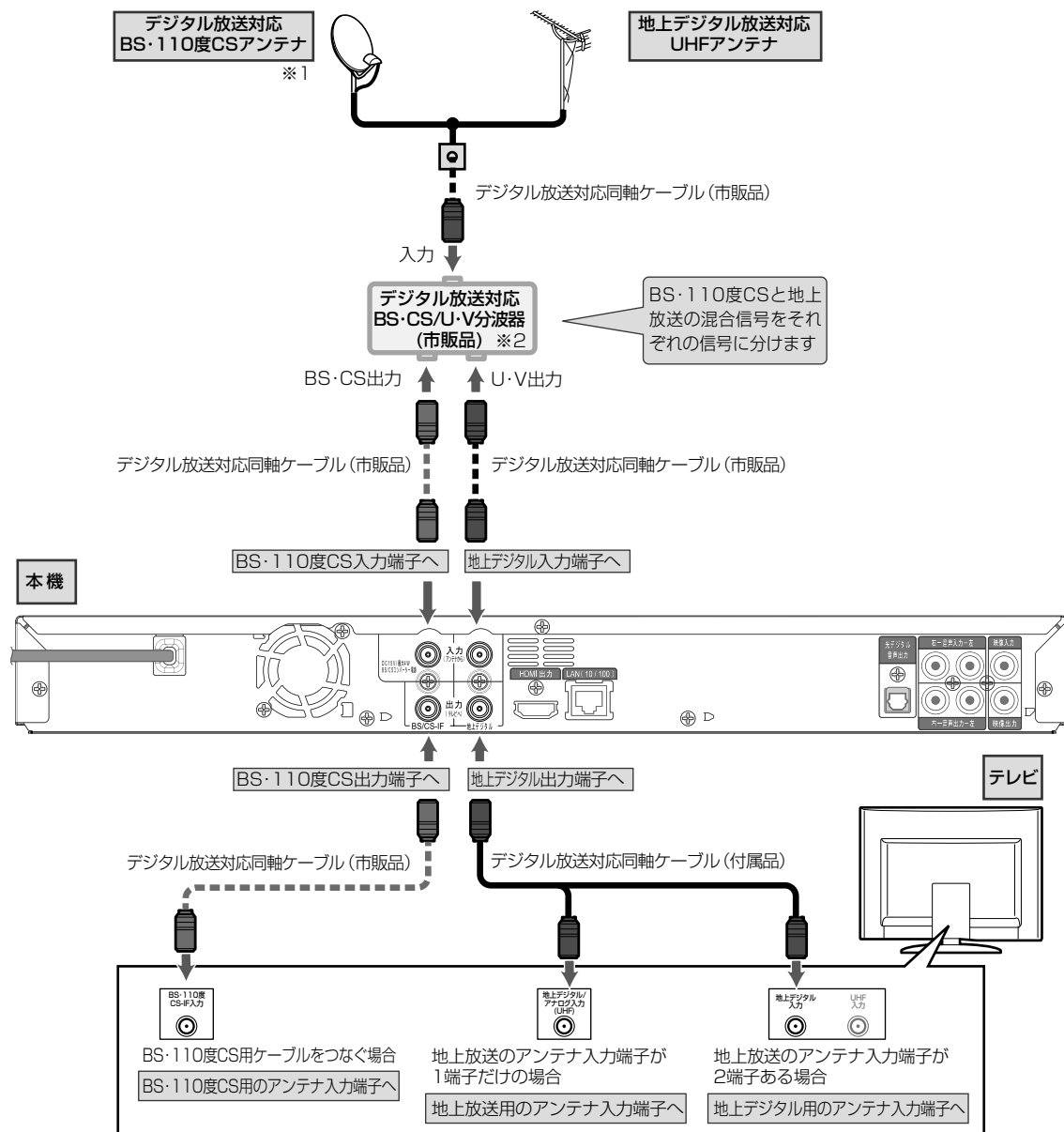
ケーブルテレビ(CATV)で受信している場合は

「ケーブルテレビ（CATV）で受信している場合」(p.29) をご覧になり、接続してください。

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
  アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 受信する放送の種類によっては、BS･CS/U･V 分波器（市販品）が必要です。
- BS･110 度 CS デジタル放送を受信しない場合は、BS･CS 関連のケーブルや BS･CS/U･V 分波器の接続は不要です。
- BS･110 度 CS アンテナは電源の供給を必要とします。本機は BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナに電源を供給することができます。くわしくは「BS/110度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする」(p.48) をご覧ください。

地上デジタル放送のアンテナ線と BS・110 度 CS デジタル放送のアンテナ線が別々に部屋まで来ている場合

※ 1 BS･110 度 CS アンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

アンテナ線を本機につなぐ・つづき

集合住宅などで地上デジタル放送のアンテナ線とBS·110度CSデジタル放送のアンテナ線が1つになって部屋まで来ている場合

※1 BS·110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

※2 分波器（市販品）には、ケーブル一体型のものや3分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機をテレビにつなぐ

テレビの接続端子に合わせて、映像・音声のコードをつないでください。

高画質

HDMI 入力端子付きテレビとつなぐ ･････ ❶ だけをつなぎます。

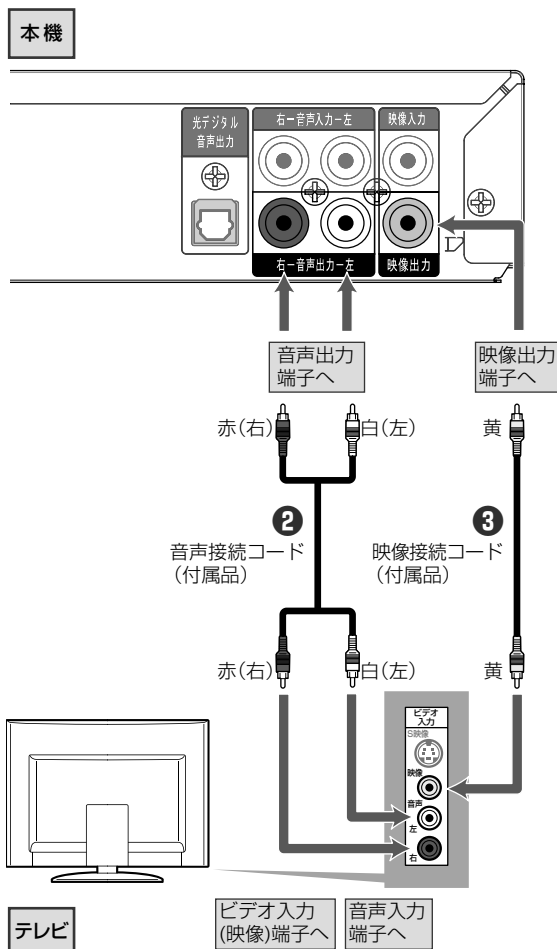
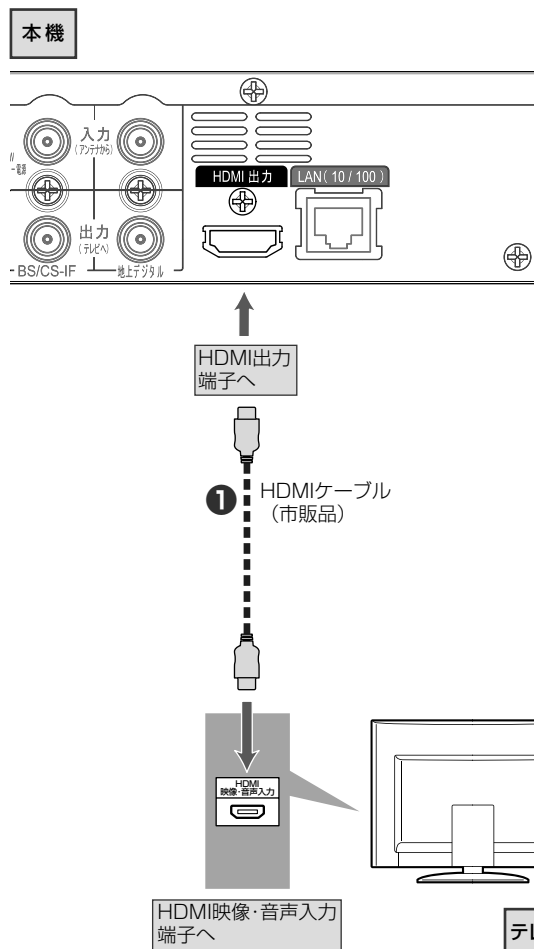
- 映像・音声信号をケーブル 1 本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送の HD 放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- 本機を CEC リンク対応テレビと接続すると、CEC リンク機能が使えます。(p.54)

映像・音声接続コードでつなぐ ･････ ❷ と ❸ をつなぎます。

- HDMI 入力端子付きでないテレビとつなぐとき、または HDMI ケーブルをお手持ちでない場合は、こちらの方法でつないでください。

従来の画質

HDMI 入力端子付きテレビとつなぐ

映像・音声接続コードだけでつなぐ

ご注意

- HDMI ケーブルまたは映像・音声接続コードのどちらかでつないでください。
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に準拠した HDMI ロゴのある High Speed HDMI ケーブル（市販品）をご使用ください。
- HDMI ケーブルは、コネクター部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機の HDMI 出力端子は､DVI 入力端子付きディスプレイモニターや DVI － HDMI ケーブルには対応していません。
HDMI 入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI 規格に準拠していれば利用できます。
- 映像・音声接続コードでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。
- 映像・音声接続コードを使って、本機からの映像を他機を通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。
- 本機の HDMI 端子を変換ケーブルなどを使ってテレビやモニターの DVI 端子に接続した場合、映像を出力することはできません。

本機をテレビにつなぐ・つづき

ケーブルテレビ（CATV）の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。

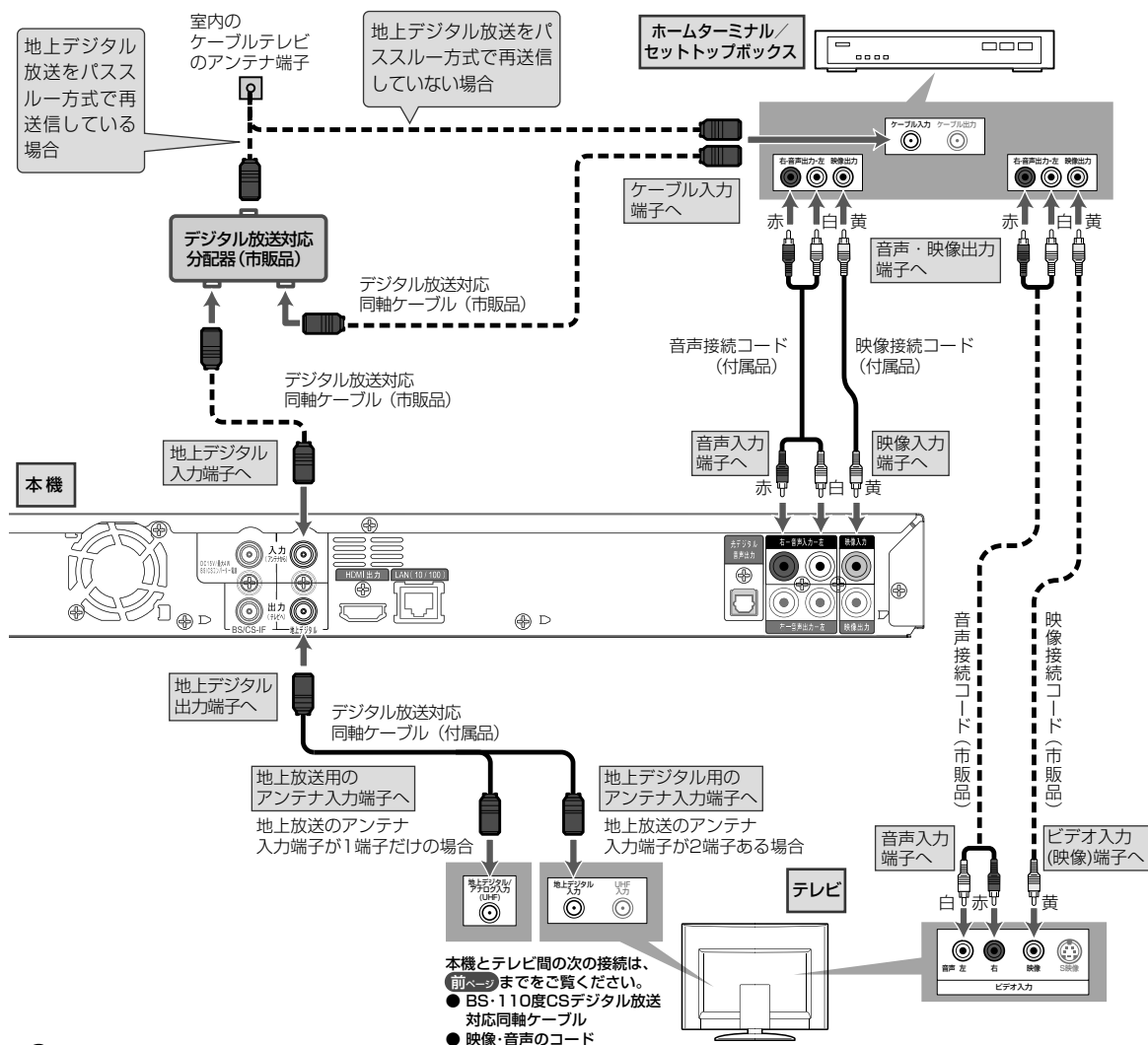
- ケーブルテレビ会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

■ 地上デジタル放送を受信するときは

ご契約のケーブルテレビ会社がパススルー方式に対応している場合は、本機で地上デジタル放送を直接受信でき、番組表も利用できます。

■ BS・110 度 CS デジタル放送を受信するときは

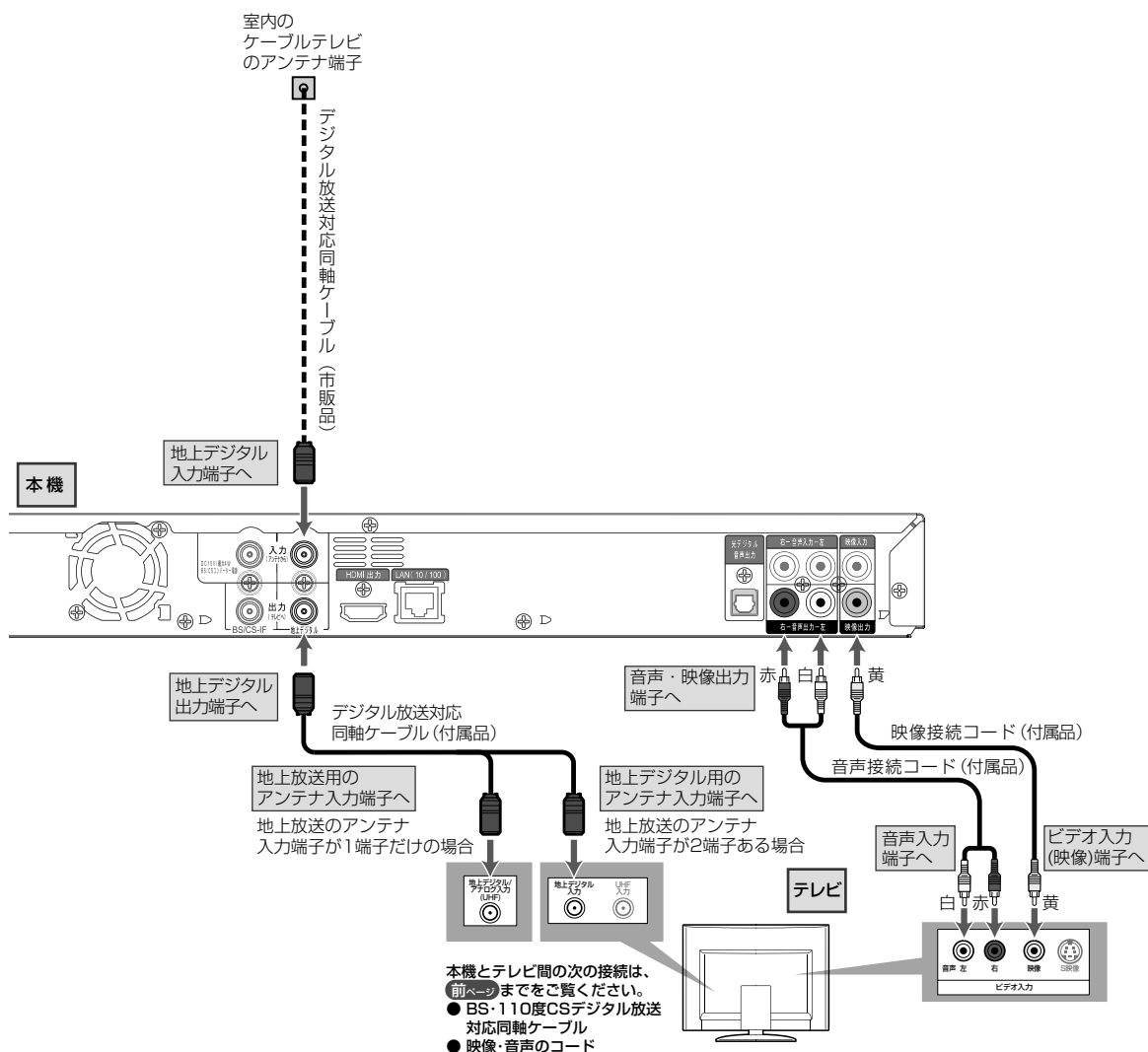
BS・110 度 CS アンテナを本機に接続して本機で受信します。

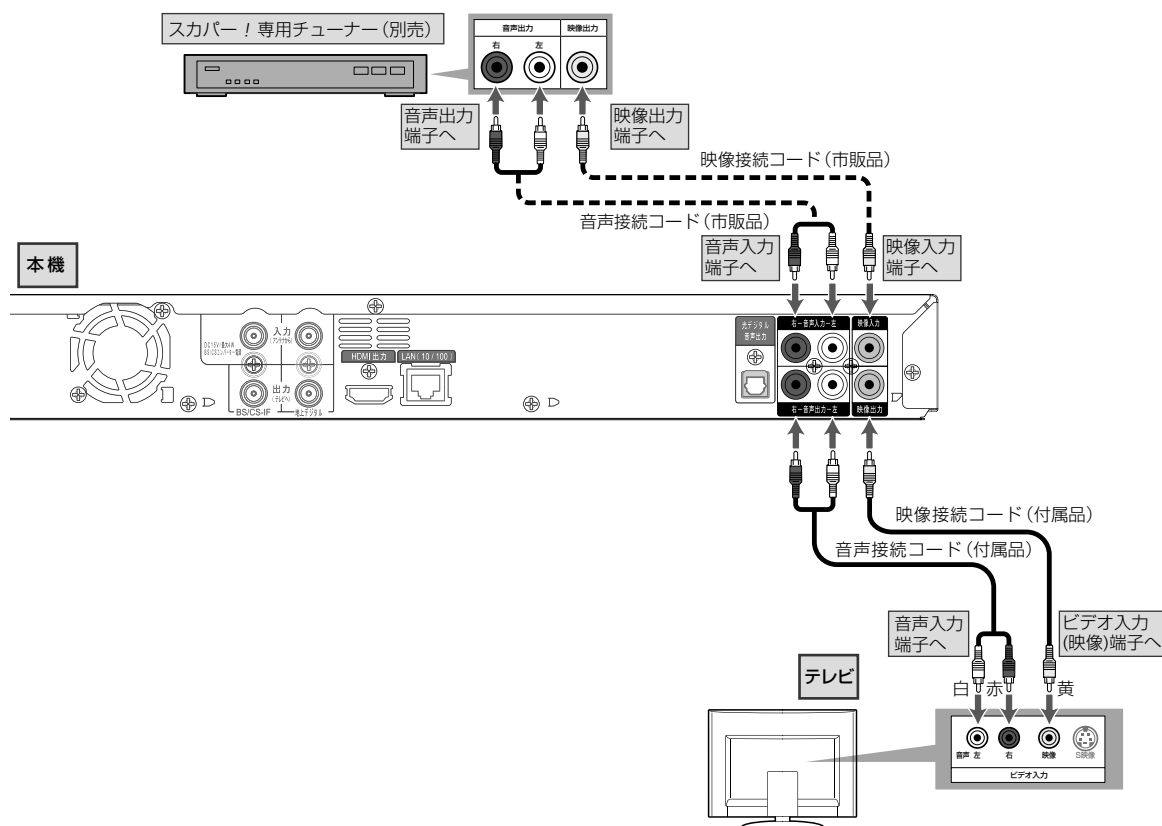
ケーブルテレビのホームターミナル／セットトップボックスで接続している場合

ご注意

- 地上 /BS/110 度 CS デジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックス経由で録画したときは、HD 放送でも標準（SD）画質での録画となります。ハイビジョン（HD）画質での録画はできません。

メモ

- パススルー方式とは、ケーブルテレビ会社が地上デジタル放送信号を変換せずに、そのままテレビに送信する方式です。

ケーブルテレビ（CATV）で受信している場合

本機をテレビにつなぐ・つづき

スカパー！専用チューナーをつなぐ

ご注意

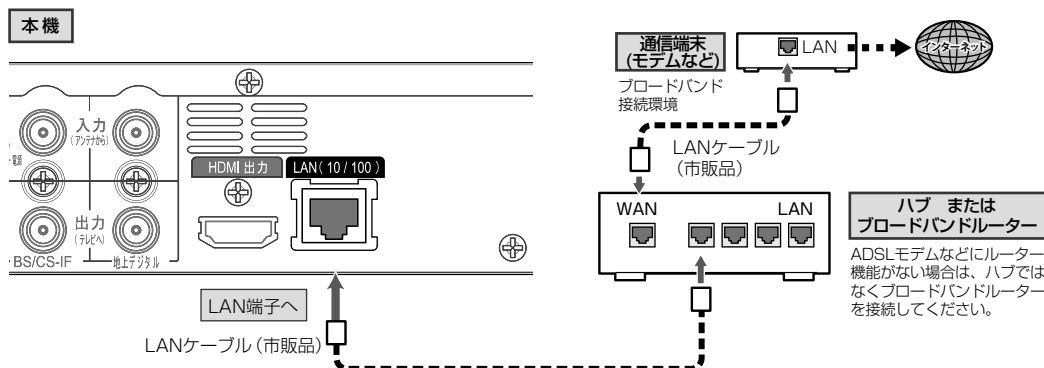
- 本接続は、スカパー！専用チューナーのアナログ映像出力から標準（SD）画質での録画となります。

メモ

- 本機とスカパー！プレミアムサービス対応チューナーを LAN ケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画することができます。（p.32）

本機をネットワークにつなぐ

ブロードバンド環境がある場合

ブロードバンド環境をお持ちの場合は、本機をハブまたはブロードバンドルーターなどを経由してつなぐことでデータ放送や双方向通信および BD-Live™ 機能など、インターネットを利用したサービスが楽しめるようになります。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。

ご注意

● 本機からはインターネットを使用してウェブサイトを閲覧することはできません。

本機にスカパー！プレミアムサービス対応チューナーをつなぐ

スカパー！をご覧になるには、あらかじめスカパー！との契約が必要になります。

ブロードバンド環境がある場合

ハブまたはブロードバンドルーターなどを経由してつないでください。

本機

入力（アンテナから）
出力（テレビへ）
BS/CS-IF
地上デジタル
HDMI 出力
LAN（10 / 100）

LAN端子へ

LANケーブル（市販品）

ハブ　または
ブロードバンドルーター

WAN　LAN

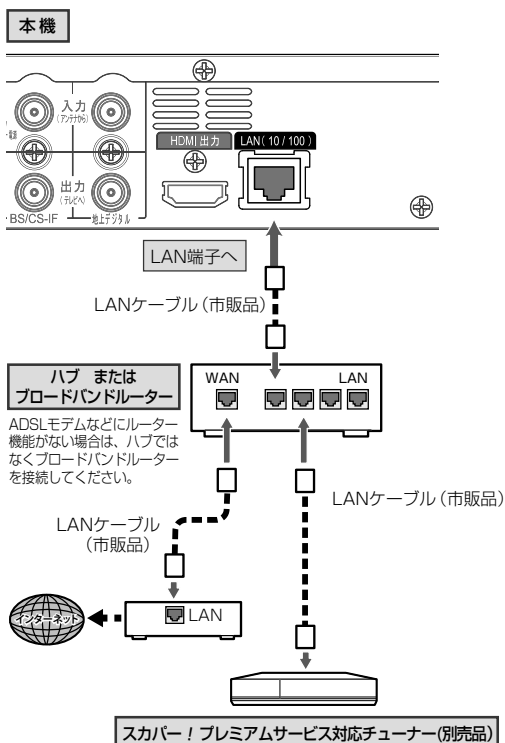
ADSLモデムなどにルーター機能がない場合は、ハブではなくブロードバンドルーターを接続してください。

LANケーブル（市販品）

LANケーブル（市販品）

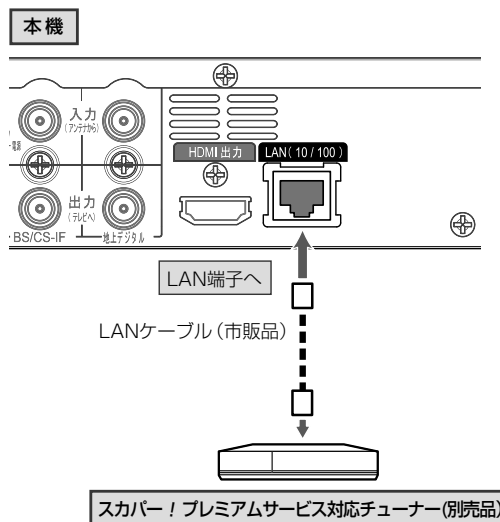
インターネット

LAN

スカパー！プレミアムサービス対応チューナー(別売品)

スカパー！をハイビジョンで録画やダビングすることができます。

必要な設定

“ネットワーク接続設定”（p.51 ～ 54）
“スカパー！プレミアムサービス設定”（p.54）

ブロードバンド環境がない場合

ご注意

- この接続で、スカパー！プレミアムサービス機能はご利用いただけますが、データ放送や双方向通信および BD-Live™ 機能などのインターネットを使ったサービスはご利用いただけません。

BD-Live™ について

本機は、BD-Live™ 機能付きの BD-Video（BD-ROM Profile 2.0）に対応しています。
本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

- **BD-Live™ で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。**
- BD-Live™ 機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。接続のしかたについては「本機をネットワークにつなぐ」（p.31）を、設定のしかたについては「ネットワークの設定をする」（p.51）をご覧ください。
- ディスクによっては、“BD-Live 接続設定”（p.144）を変更する必要があります。
- “インターネット接続制限”が“制限する”に設定されている場合は、BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスができません。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できない場合があります。
- BD-Live™ 対応ディスクの再生中、レコーダーまたはディスクの識別 ID がコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、“BD-Live 接続設定”（p.144）を変更してください。

■ すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線業者やプロバイダーとの契約
  - 必要な機器の準備
  - ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL 回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
  - USB 接続の ADSL モデムなどをお使いの場合は、ADSL 事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSL の接続については専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

■ ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。
  くわしくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

ご注意

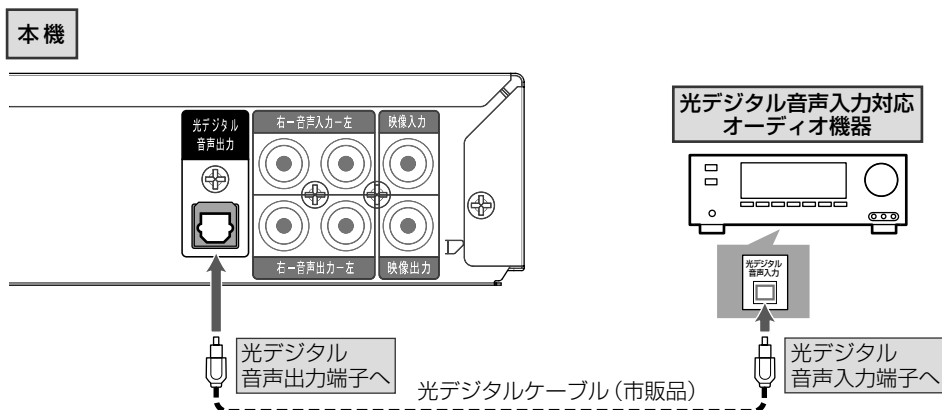
- 本機をネットワーク接続したときは、“本体設定”でネットワーク接続の設定が必要です。（p.51）
- LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上対応のストレートケーブル（市販品）をご使用ください。

メモ

- LAN 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機の MAC アドレスが必要な場合は、 スタート → “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワークステータス表示” 画面で確認できます。（p.144）
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。

本機をオーディオ機器につなぐ

■「本機」—「光デジタル音声入力対応アンプ」を光デジタルケーブル（市販品）で接続すると

デジタル放送受信時には、MPEG-2 AAC 方式で出力することもできるので、AAC 方式対応のオーディオ機器と接続することで 5.1 チャンネルサラウンド音声の番組を臨場感あふれる音声でお楽しみいただけます。

ご注意

- デジタル番組（AAC）は音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。オーディオ機器側で切り換えてください。
- Dolby Digital、AAC または DTS® 方式の出力をご利用になるには、“本体設定” ➡ “音声設定”で、各項目を“自動”に設定してください。くわしくは“音声設定”（p.141）をご覧ください。

■「本機」—「HDMI 対応アンプ」—「テレビ」を HDMI ケーブル（市販品）で接続すると

- PCM7.1ch 対応のアンプと接続すると、BD-Video の 7.1ch 音声を楽しむことができます。
  また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD® の各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。（この接続をした場合、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。くわしくは、AV アンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴのある High Speed HDMI ケーブルをお使いください。

ご注意

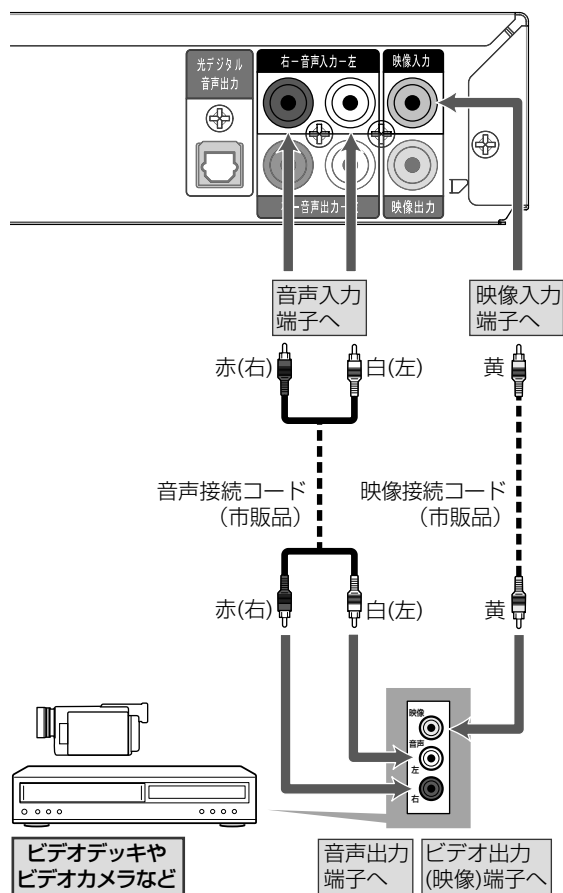
本機とデジタル音声入力対応のオーディオ機器や HDMI 対応アンプなどを接続したときは、準備完了後、接続機器に合わせて“本体設定”画面の“音声設定”の設定を変更してください。

- 正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出なくなったりすることがあります。くわしくは“音声設定”（p.141）をご覧ください。

本機にお手持ちの機器をつなぐ

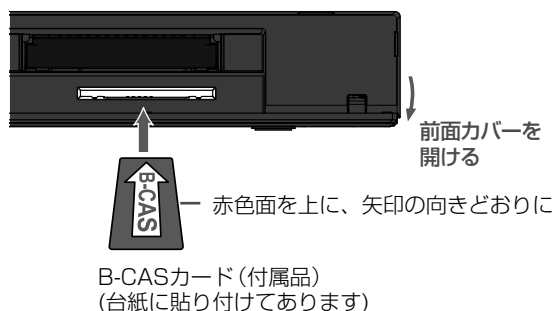
他の機器（ビデオデッキ、ビデオカメラ、CATV ホームターミナルなど）を本機に接続することができます。
他の機器から本機にダビングする方法は、「ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする」(p.137)をご覧ください。

■ 本機と他の機器を接続する

● 接続する機器の電源を「切」にしてから、接続してください。

すべてつなぎ終えたら

本機でデジタル放送を見るためには、B-CAS カード（付属品）が必要です。
現在はデジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のために B-CAS カードを入れておくことをおすすめします。

B-CAS カードを入れる

B-CASカード（付属品）
(台紙に貼り付けてあります)

ご注意

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向に入れないでください。入れる方向を間違うと、B-CAS カードは機能しません。
- 付属の B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS「(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。くわしくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

1 B-CASカードを左の図の向きにして、奥までしっかり差し込む

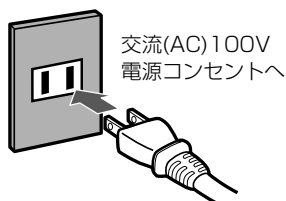
B-CAS カードについて

取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機を使用中は B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- **B-CAS カードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。**

付属の B-CAS カードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。

- B-CAS カードに個人情報が書き込まれることはありません。
- B-CAS カードについてのお問い合わせ（2013 年 2 月現在）
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL　0570-000-250
  （IP 電話からの場合は 045-680-2868 ）
  受付時間 10：00 ～ 20：00（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

電源コードをつないで電源を入れる

1 すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

電源プラグを交流（AC）100 V の電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

2 テレビの電源を入れ、本機が接続されている入力に切り換える

3 本機の電源を入れる

- くわしくは、（p.61）をご覧ください。

･･･ 引き続き、“かんたん設定”（p.36）を行ってください。

ご注意

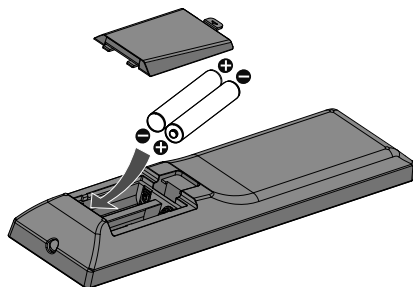
- デジタル放送のアンテナ線や CATV を本機を経由してテレビに接続している場合、本機の電源コードをコンセントから抜くとテレビの映りが悪くなることがあります。その場合は、本機の電源コードを常に電源コンセントにつないでおいてください。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコンの裏面のフタをはずす

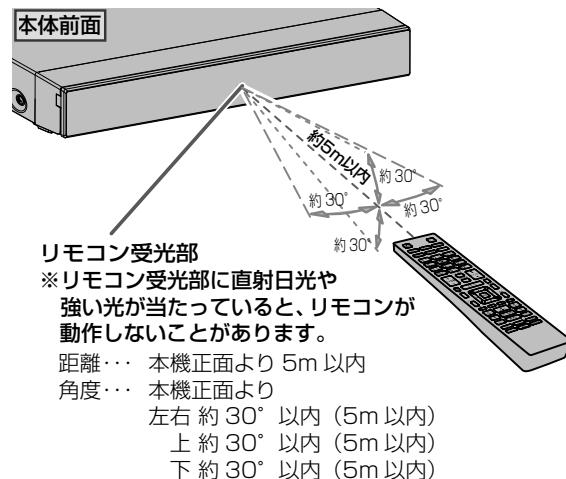
2 (－)側を先に入れたあと、(＋)側を入れる

- 単四の乾電池（1.5V 2 個）をお使いください。

3 裏面のフタを取り付ける

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

リモコン受光部
※リモコン受光部に直射日光や
強い光が当たっていると、リモコンが
動作しないことがあります。

距離･･･ 本機正面より 5m 以内
角度･･･ 本機正面より
左右 約 30° 以内（5m 以内）
上 約 30° 以内（5m 以内）
下 約 30° 以内（5m 以内）

3 基本設定

ご注意

リモコンの乾電池について

- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- 公称電圧 1.5 V を超える電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 本機のリモコンは単４のマンガン乾電池または、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

リモコンの取扱いについて

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

メモ

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の 3D メガネは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの 3D メガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがあるので、なるべく離して設置してください。

リモコンの準備・つづき

リモコンでテレビを操作できるようにする

本機と接続しているテレビをリモコンで操作できるように設定します。

1 TV電源 を押しながら、メーカー番号(2ケタの数字)を押す

- テレビのメーカー番号は下記をご覧ください。(テレビのメーカー番号を設定するときは、ゆっくりと確実にボタンを押してください)

メーカー	番号	メーカー	番号
日立(1)	10/0 1	三菱	10/0 9
日立(2)	10/0 2	ビクター	1 10/0
パナソニック(1)	10/0 3	東芝	1 1
パナソニック(2)	10/0 4	パイオニア	1 2
三洋(1)	10/0 5	ソニー	1 3
三洋(2)	10/0 6	LG	1 4
シャープ(1)	10/0 7	フナイ	1 5
シャープ(2)	10/0 8		

- メーカー番号の設定が完了すると、TV が1秒間消灯しますので、TV電源 をはなしてください。

2 リモコンをテレビに向け TV電源 でテレビの電源が入/切できるか確認する

- メーカーが複数あるときは、いずれかのメーカー番号を指定し、操作できる番号を選んでください。

リモコンでテレビを操作する

1 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

2 TV を押す

- TV が30秒間点灯します。

3 TV が点灯中にテレビの操作をする

- 一定時間が過ぎると、TV が消灯します。
- TV が消灯していても TV入力切換 と TV電源 、TV音量 はテレビを操作することができます。

■ 本機を操作するときは

TV 消灯中：本機を操作できます。
TV 点灯中：TV を押してから、本機を操作してください。

- TV が点灯していても、「テレビの操作に使えるボタン」以外のボタンを押すと、TV が消灯して本機を操作することができます。

メモ

- ご使用になるテレビ(プラズマテレビ、液晶テレビを含む)の製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かない場合があります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。
- お買い上げ時は、「日立(1)」(メーカー番号「01」に設定されています。
- リモコンの乾電池を交換すると、「日立(1)」に戻ることがあります。他の設定でお使いの場合は、もう一度メーカー番号を設定してください。

リモコンコードを変更する

本機や当社製レコーダー、プレーヤーを2台以上使用すると、本機のリモコンに他のレコーダーなどが反応することがあります。その場合、本機のリモコンコードを設定してください。他のレコーダーなどが反応しないようにすることができます。

本体側の設定

1 スタート を押し、“本体設定” ➡ “かんたん設定/その他” ➡ “リモコン設定”の順に選び、決定 を押す

2 ▲ / ▼ で“リモコンコード1” または “リモコンコード2”選び、決定 を押す

- お買い上げ時は“リモコンコード1”に設定されています。

3 画面の指示に従い、リモコン側の設定をする

リモコン側の設定

1 決定 を押しながら、1 または 2 を3秒以上押す

■ リモコンコード1のときは 1 、リモコンコード2のときは 2 を押します。

- お買い上げ時は“リモコンコード1”に設定されています。
- 設定が完了すると TV が1秒間点灯します。

2 設定が終わったら、決定 を押して、前の画面に戻る

メモ

- 本体とリモコンのリモコンコードが合っていない場合は、リモコンによる操作ができません。画面表示に従い、リモコンコードを設定してください。
- リモコンの電池を交換した場合は、お買い上げ時の設定内容に戻ることがあります。

本機の設定

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に“かんたん設定”画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。

ご注意

- “かんたん設定”は、必ずアンテナを接続し、放送のある時間帯に行ってください。
  （放送のない時間帯に“かんたん設定”すると、放送局を正常に受信できません。）
- “かんたん設定”実行中は、電源コードを抜いたり電源を切らないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、“かんたん設定”をやり直したいときは （p.42）をご覧ください。

“かんたん設定”を使って設定する

準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 電源 を押して本機の電源を入れる

かんたん設定

正しくお使いいただくために各種設定を行います。
設定を開始する前に以下の準備が終了しているか確認してください。

・アンテナ線の接続
・Ｂ－ＣＡＳカードの挿入

各種設定は、あとから「放送受信設定」と「本体設定」メニューより変更できます。

設定を開始する
あとで設定する

- “かんたん設定”の開始画面が表示されます。
- “かんたん設定”の開始画面が表示されないときは、次のことを確認してください。
  - アンテナ－本機－テレビをつないでいますか。
  - コードをつなぎ間違えたり、抜けたり抜けかかったりしていませんか。
  - テレビの入力切換で本機を接続した入力に切り換えていますか。

  これらを確認しても開始画面が表示されない場合は、「“かんたん設定”をやり直す」（p.42）の手順を行ってください。

2 “設定を開始する”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

■ あとで設定するときは

▲ / ▼ で“あとで設定する”を選んで 決定 を押すと、終了画面が表示されるので、“完了”を選び、決定 を押してください。

郵便番号を設定する

3 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、“次へ”が選ばれた状態で 決定 を押す

■ 入力を間違えたときは、“番号消去”を選んで一括消去するか、◀で戻って入力し直してください。

■ “番号消去”を選ぶときは、“番号消去”がハイライトされるまで▼を繰り返し押してください。

4 ▲ / ▼でお住まいの都道府県を選び、決定 を押す

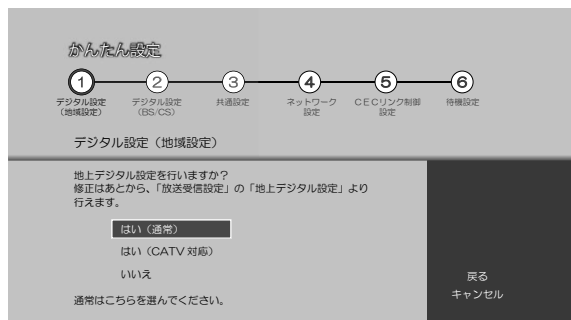
- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都（島部）”を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、“鹿児島県（島部）”を選びます。

次ページへつづく

3 基本設定

本機の設定・つづき

受信を設定する

5 ▲ / ▼でスキャンしたい放送の種類を選び、決定を押す

"はい（通常）"：
地上デジタル放送のチャンネルをスキャンします。

"はい (CATV 対応)"：
ケーブルテレビのチャンネルをスキャンします。

- スキャンが始まります。（スキャンには 10 分程度かかることがあります）
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

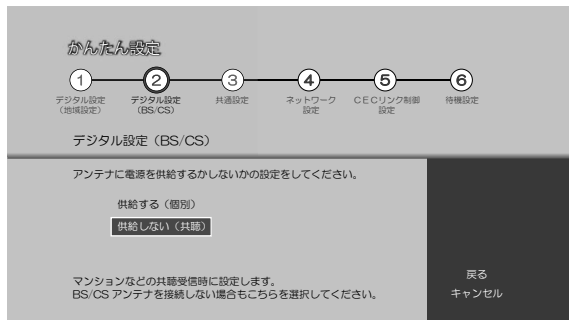
■ **割り当てられたチャンネルを変更するときは**

「リモコンの数字ボタンに地上 /BS/110 度 CS デジタル放送チャンネルを割り当てる」(p.49) の手順 3 と 4 をご覧ください。

6 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で"次へ"を選び、決定を押す

- "デジタル設定 (BS/CS)" 画面で "戻る" を選ぶと、地上デジタル放送のスキャンをやり直すことができます。

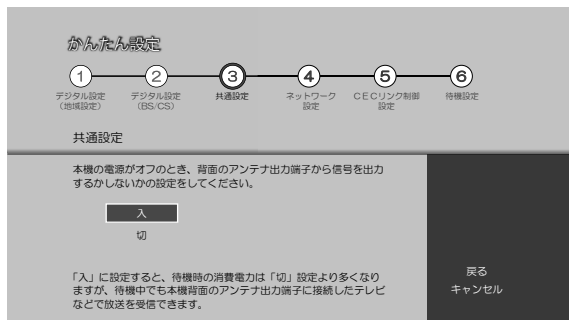
アンテナへの電源供給を設定する

7 ▲ / ▼でアンテナに電源を供給するかしないかを選び、決定を押す

BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

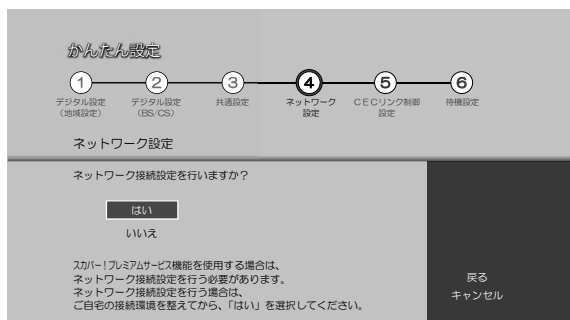
"供給する（個別）"：
本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

"供給しない（共聴）"：
他の機器から電源を供給している場合や、CATV などで受信しているとき、また、BS/110 度 CS アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

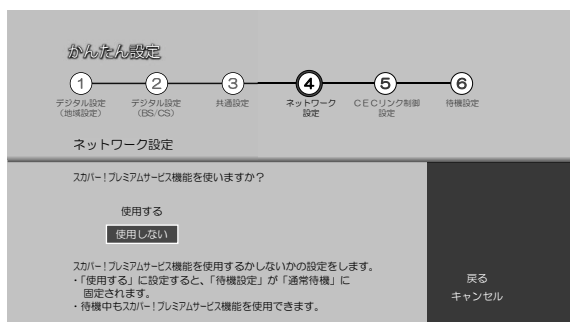
アンテナ出力を設定する

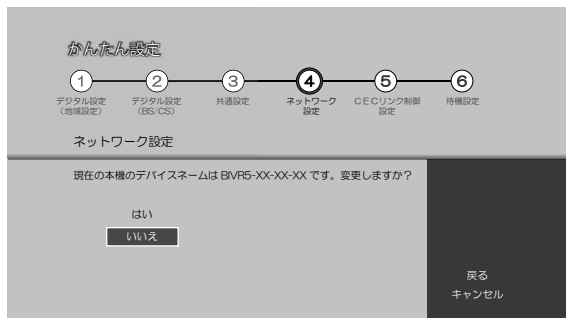
8 ▲ / ▼でアンテナ出力をするかしないかを選び、決定を押す

- 本機の地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子からテレビに接続しているときは、「入」に設定してください。

ネットワーク接続を設定する

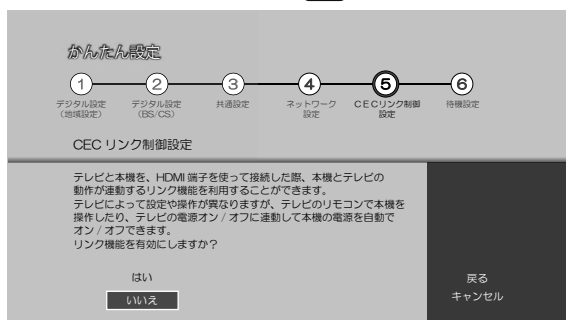
9 ▲ / ▼でネットワーク設定をするかしないかを選び、決定を押す

- “はい”を選択した際は、「 ネットワークの設定をする」（p.51）の手順 5 以降をご覧ください。
- “いいえ”を選択した際は、「CEC リンク制御を設定する」 12 へ進みます。

スカパー！プレミアムサービスを設定する

10 ▲ / ▼でスカパー！プレミアムサービス機能を使うか使わないかを選び、決定を押す

- “使用する”を選択した際は、 11 へ進みます。
- “使用しない”を選択した際は、「CEC リンク制御を設定する」 12 へ進みます。
- “使用する”を選ぶと、“待機設定”が“通常待機”になります。くわしくは「スカパー！プレミアムサービス設定」（p.54）をご覧ください。
- 待機中もスカパー！プレミアムサービス機能を使用できます。

11 ▲ / ▼でデバイスネームを変更するかしないかを選び、決定を押す

- くわしくは「デバイスネームを設定する」（p.54）をご覧ください。

CEC リンク制御を設定する

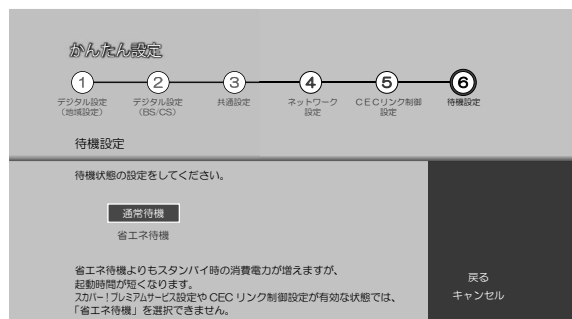
12 ▲ / ▼でCECリンク制御をするかしないかを選び、決定を押す

- CEC リンク制御機能を使うためには、本機とCEC リンク対応テレビを、HDMI ケーブル（市販品）で接続してください。くわしくは、（p.54）をご覧ください。
- “はい”を選ぶと、“待機設定”が“通常待機”に固定されます。

3 基本設定

次ページへつづく

本機の設定・つづき

待機状態を設定する

13 ▲ / ▼でお好みの待機方法を選び、決定を押す

“通常待機”：
“省エネ待機”に設定したときよりも高速で起動しますが、待機時の消費電力が増えます。

“省エネ待機”：
“通常待機”に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

- 手順 10 で“使用する”または 12 で“はい”を選択した場合は、“省エネ待機”は選択できません。

高速起動の時間帯を設定する

14 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で高速起動を設定したい時間帯を選び、決定を押す

- 設定した時間帯に“✓”が付きます。
- 最大２つまで設定することができます。

ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから約１秒で起動できます。くわしくは、「高速起動」の項目（p.145）ご覧ください。

15 設定を終えたら、▶で“次へ”を選び、決定を押す

16 “完了”が選ばれているので、そのまま決定を押す

- “かんたん設定”を終了します。

“かんたん設定”をやり直す

1 録画や再生の停止中に スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“本体設定”を選び、決定を押す

3 ▲ / ▼ で“かんたん設定/その他”を選び、決定を押す

4 ▲ / ▼ で“かんたん設定”を選び、決定を押す

5 「“かんたん設定”を使って設定する」の手順 3（p.39）～ 16（p.42）を行う

放送関連の設定を変える

放送関連の設定は、“放送受信設定”メニューで変えることができます。

“放送受信設定” メニューを使う

1. 録画や再生の停止中に スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2. ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“放送受信設定”を選び、 決定 を押す

3. ▲ / ▼で希望の項目または設定を選び、 決定 を押す

   この操作を繰り返し、希望の設定に変更する（戻る を押すと、左側の設定項目に戻ります。）

   ■ **希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は**

   ▲ / ▼で“はい”を選び、 決定 を押してください。

4. 設定が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す

■ 前の画面に戻るときは 戻る を押す

■ 通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

■ スタートメニュー画面に戻るときは スタート を押す
（もう一度押すと通常画面に戻ります）

放送関連の設定を変える・つづき

“放送受信設定”メニューでできること

設定のしかたについては、（p.39）をご覧ください

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>設定内容</th><th>説明</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="11">地上デジタル設定</td><td rowspan="3">チャンネル
初期スキャン</td><td>地域設定</td><td>お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要な設定です。</td><td>39</td></tr>
<tr><td>通常</td><td rowspan="2">引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやり直します。（“かんたん設定”の中で実行されるスキャンと同じです）
“通常”：
地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンを行います。
“CATV 対応”：
CATV のチャンネルを対象にスキャンを行います。
● 設定が終わるまで 10 分程度かかることがあります。</td><td rowspan="2">40</td></tr>
<tr><td>CATV 対応</td></tr>
<tr><td>チャンネル
再スキャン</td><td></td><td>地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。
● 設定が終わるまで 10 分程度かかることがあります。
● 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。</td><td>40</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アンテナの設定</td><td>アッテネーター“入”</td><td rowspan="2">映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。“アッテネーター”の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。</td><td rowspan="2">47</td></tr>
<tr><td>アッテネーター“切”</td></tr>
<tr><td>物理チャンネル</td><td>リモコンの数字ボタンで、2 桁の物理チャンネルを入力し、受信します。</td><td>47</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チャンネルの設定</td><td>チャンネルの
割り当て設定</td><td>リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。</td><td rowspan="2">49</td></tr>
<tr><td>チャンネル
スキップ設定</td><td>▲チャンネル▼で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自動チャンネル
リパック</td><td>入</td><td>地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。</td><td rowspan="2">ー</td></tr>
<tr><td>切</td><td>地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的には更新しません。見られないチャンネルが発生した場合は、“チャンネル再スキャン”を行ってください。</td></tr>
</table>

項目		設定内容	説明	参照ページ
BS/CS デジタル設定	アンテナ電源	供給する（個別）	BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。 “供給する（個別）”： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。 “供給しない（共聴）”： 他の機器から電源を供給している場合や、CATV などで受信しているとき、また、BS/110 度 CS アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。	40
		供給しない（共聴）		
	アンテナの設定	トランスポンダ： BS-1，3，5，7，9，11，13，15，17，19，21，23 CS-2，4，6，8，10，12，14，16，18，20，22，24	映りが悪い BS/CS デジタル放送チャンネルがあるとき、BS/CS アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。	48
	BS チャンネルの設定	チャンネルの割り当て設定	リモコンの数字ボタンに BS 放送用のチャンネルを登録します。	49
		チャンネルスキップ設定	▲チャンネル▼ で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。	
	CS チャンネルの設定	チャンネルの割り当て設定	リモコンの数字ボタンに 110 度 CS 放送用のチャンネルを登録します。	49
		チャンネルスキップ設定	▲チャンネル▼ で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。	
	難視聴地域対策	入	地上デジタル放送を受信できない地域でも、衛星放送を利用して、暫定的に地上デジタル放送の番組を視聴できるように設定します。対応したB-CASカードが必要です。放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ http://www.dpa.or.jp/chideji/safetynet.html をご覧ください。	ー
		切		
共通設定	視聴年齢制限 ● ご利用いただくにはパスワードの作成・入力が必要です。	無制限	デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。 “無制限”： 年齢制限無し。 “4 歳 ～ 19 歳”： 制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を越える番組を視聴または録画予約するときは、パスワードの入力が必要になります。	50
		4 歳 ～ 19 歳		
	パスワード変更		画面の指示に従って “視聴年齢制限” のパスワードを変更することができます。	50
	B-CAS カード番号表示		B-CAS カードの番号を表示します。	ー
	アンテナ出力	入	本機の電源が「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは “入” にしておいてください。“切” にすると、本機の電源が「切」のときにテレビなどで地上デジタル放送や BS/110 度 CS 放送が受信できなくなります。	40
		切		

●● ▶ 次ページへつづく

放送関連の設定を変える・つづき

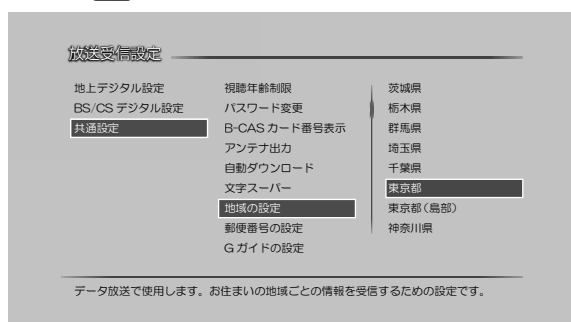
<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>設定内容</th><th>説明</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="9">共通設定</td><td rowspan="2">自動ダウンロード</td><td>自動更新する</td><td rowspan="2">本機のソフトウェアは更新されることがあります。ここでは、本機の電源が切のときにデジタル放送電波を使って、本機の追加機能や機能向上などの情報をダウンロードし、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えるかどうかを設定します。
“自動更新する”（推奨）：
ソフトウェアが更新されるたびに自動的にソフトウェアのダウンロードを行い、本機をバージョンアップします。ダウンロード実施の報告は“お知らせメール”で届きます。（p.59）
“自動更新しない”：
ソフトウェアが更新されても自動的にダウンロードは行いません。ソフトウェア更新の“お知らせメール”が届くので、ダウンロードを実施したいときに“自動更新する”に設定を変更し、本機のバージョンアップを行ってください。
● 本機のバージョンアップは、本機の電源が「切」時に行われます。
● ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
● ダウンロード更新中は、本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
● ダウンロード更新中に本機の操作を行うと、ダウンロードは中止されます。
● 以下の条件下では“自動ダウンロード”は行われません。
- 電源コードが抜かれているとき。
- 悪天候などのために受信状態が悪いとき。
- 本機の電源が入のとき。
- ダウンロード更新時刻と録画予約が重なるとき。</td><td rowspan="2">ー</td></tr>
<tr><td>自動更新しない</td></tr>
<tr><td rowspan="3">文字スーパー</td><td>日本語で表示</td><td rowspan="3">ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合、表示される文字スーパーの言語を設定します。
● 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組（強制的に文字スーパーが表示されるものなど）によっては、設定どおりに表示されないことがあります。
● “表示しない”に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
● 日本語、英語以外の文字スーパーは表示しません。</td><td rowspan="3">64</td></tr>
<tr><td>英語で表示</td></tr>
<tr><td>表示しない</td></tr>
<tr><td>地域の設定</td><td></td><td>お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。</td><td>47</td></tr>
<tr><td>郵便番号の設定</td><td></td><td>お客様のお住まいの地域の郵便番号を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。</td><td>47</td></tr>
<tr><td rowspan="2">G ガイドの設定</td><td>G ガイド地域設定</td><td>お客様のお住まいの地域を設定します。番組表（G ガイド）の機能（広告表示、出演者検索や注目番組一覧表示）をご利用いただくために必要な設定です。</td><td>50</td></tr>
<tr><td>G ガイド受信確認</td><td>お客様のお住まいの地域で、番組表（G ガイド）の番組データを取得できるか確認します。</td><td>50</td></tr>
</table>

● BS/110 度 CS チャンネルに関しては、チャンネルスキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

“地域の設定” を変更する

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

1 スタート を押し、“放送受信設定” ➡ “共通設定” ➡ “地域の設定”の順に選び、決定 を押す

2 ▲ / ▼でお住まいの都道府県を選び、決定 を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都（島部）” を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、“鹿児島県（島部）” を選びます。

3 ▲ / ▼で“郵便番号の設定”を選び、決定 を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

4 1あ ～ 10/0記号 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、▲ / ▼ / ◀ / ▶で“完了”を選び、決定 を押す

入力を間違えたときは

“番号消去” を選んで一括消去するか、◀で戻って入力し直してください。

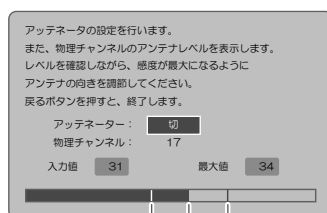
- “番号消去” を選ぶには、▲ / ▼ / ◀ / ▶ でハイライトを移動し 決定 を押してください。

5 変更が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す

地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

“アッテネーター” の設定を “入” にすると、状況が改善されることがあります。

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 スタート を押し、“放送受信設定” ➡ “地上デジタル設定” ➡ “アンテナの設定” の順に選び、決定 を押す

3 “アッテネーター”の設定で“切”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

■ **地上デジタル放送用のアンテナレベルについて**
この画面でアンテナレベルを確認しながら、UHF アンテナの向きを調整することができます。この場合、アンテナレベルは「20」以上が目安です。

■ この画面のまま▲ / ▼で “物理チャンネル” を選び 決定 を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを 1あ ～ 10/0記号 で入力することができます。

●● ▶ 次ページへつづく

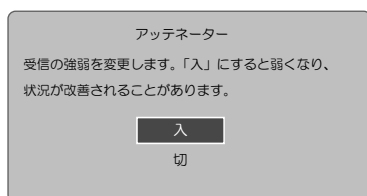
放送関連の設定を変える・つづき

4 ▲ / ▼で“入”を選び、を押す

アッテネーター

受信の強弱を変更します。「入」にすると弱くなり、
状況が改善されることがあります。

入

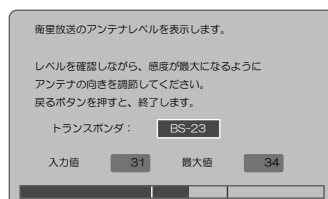
切

- 受信の強弱が変更されます。（“入”にすると弱くなり、状況が改善されることがあります）
- 地上デジタル放送は UHF 放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信している UHF 放送のチャンネル（13 ～ 62CH）のことです。
- なお、CATV をご利用の場合は、CATV の 13 ～ 63CH でも送信されている場合があります。CATV 用チャンネルは、手順 3 で、チャンネル番号の先頭に C が表示されます。

5 調整が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

BS/110 度 CS デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

“BS/CS デジタル設定”の“アンテナの設定”画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。（マンションなどの共用アンテナやケーブルテレビ（CATV）をご利用の場合は、この調整は不要です）

1 スタートを押し、“放送受信設定”➡“BS/CSデジタル設定”➡“アンテナの設定”の順に選び、決定を押す

2 “入力値”の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する

- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合、放送の映像と音声は確認できません。

3 調整が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

ご注意

- “BS/CS デジタル設定”の“アンテナ電源”の設定を“供給する（個別）”にしたときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- BS・110 度 CS アンテナのアンテナ線がショートすると、“アンテナ電源”の設定が自動的に“供給しない（共聴）”に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

メモ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1 台の BS・110 度 CS アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。(p.45)

リモコンの数字ボタンに地上/BS/110度CSデジタル放送チャンネルを割り当てる

1 地上デジタル放送の場合：
スタート を押し、“放送受信設定” ➡ “地上デジタル設定” ➡ “チャンネルの設定” の順に選び、決定 を押す
BS/110度CSデジタル放送の場合：
スタート を押し、“放送受信設定” ➡ “BS/CS デジタル設定” ➡ “BS チャンネルの設定” または “CS チャンネルの設定” の順に選び、決定 を押す

2 “チャンネルの割り当て設定”を選び、決定 を押す
- チャンネル割り当て一覧画面が表示されます。
- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で、チャンネルを割り当てたい番号が書かれたマスを選び、決定 を押す

- チャンネルリストが表示されます。

4 手順 3 で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを▲ / ▼で選び、決定 を押す

- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は“チャンネルの割当てをしない”を選び、決定 を押してください。

5 設定が終わったら、▶ / ▼で“完了”を選び、決定 を押す

6 戻る を何回か押して通常画面に戻す

チャンネル▲▼で選局できるチャンネルを設定する

1 「リモコンの数字ボタンに地上/BS/110度CSデジタル放送チャンネルを割り当てる」(p.49) の手順 1 を行う

2 “チャンネルスキップ設定”を選び、決定 を押す
- チャンネル一覧が表示されます。

3 ▲ / ▼で飛び越したいチャンネルを選び、決定 を押す

- チャンネル名右横の “受信” が “スキップ” に切り換わります。
- 決定 を押すたびに “受信” と “スキップ” が切り換わります。

4 設定が終わったら、▶ / ▼で“完了”を選び、決定 を押す

5 戻る を何回か押して通常画面に戻す

メモ
- “スキップ” に設定したチャンネルは、番組表(G ガイド)にも表示されなくなります。

放送関連の設定を変える・つづき

デジタル放送の視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。視聴制限を解除するためのパスワードを設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。(p.65)

ご注意

- ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードとなります。
  市販ソフトの視聴制限を解除するためのパスワードとは別となります。

1 スタート を押し、"放送受信設定" ➡ "共通設定" ➡ "視聴年齢制限" の順に選び、決定 を押す

- パスワード入力画面が表示されます。

2 1 あ ～ 10/0 記号 でパスワード(4桁)を入力する

(初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます)

- 入力した数字は、"＊"で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

パスワードを忘れてしまったときは

- パスワード入力画面で
  4 た GHI、7 ま PQRS、3 さ DEF、7 ま PQRS を入力してください。
  パスワードがリセットされます。

入力中に番号を間違えたときは

- ◀で戻るか、▲ / ▼で"全てクリア"を選び、決定 を押してください。

3 ▲ / ▼で設定したい年齢を選び、決定 を押す

4 変更が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す

パスワードを変更するときは

① 手順 1 で"視聴年齢制限"の代わりに"パスワード変更"を選び、決定 を押し、画面の指示に従ってください。

番組表(G ガイド)の地域設定を確認する

番組表(G ガイド)の機能(広告表示、出演者検索や注目番組一覧表示)を利用するためには、正しく地域を設定してデータを取得する必要があります。

1 スタート を押し、"放送受信設定" ➡ "共通設定" ➡ "Gガイドの設定" ➡ "Gガイド地域設定" の順に選び、決定 を押す

2 設定内容を確認する

- 正しく設定されていない場合は、▲ / ▼でお住まいの地域を選び 決定 を押してください。

3 確認が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す

メモ

- "G ガイド地域設定"は、かんたん設定を行うと自動的に設定されます。

番組表(G ガイド)の番組データを取得できるかどうか確認する

1 スタート を押し、"放送受信設定" ➡ "共通設定" ➡ "Gガイドの設定" ➡ "Gガイド受信確認" の順に選び、決定 を押す

- 受信確認画面が表示されます。受信確認結果が表示されるまで、そのままお待ちください。

2 確認が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す

ネットワークの設定をする

データ放送の双方向通信や BD-Live™ 機能などを、ブロードバンド経由で利用するための設定を行います。
プロバイダーとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。

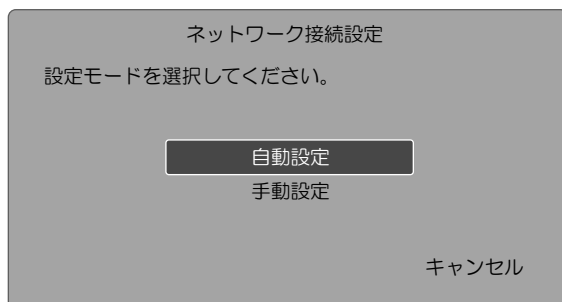
本機をネットワークに接続する

1 スタート を押し、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“本体設定”を選び、決定 を押す

3 ▲ / ▼で“ネットワーク設定”を選び、決定 を押す

4 ▲ / ▼で“ネットワーク接続設定”を選び、決定 を押す

5 ▲ / ▼で“自動設定”または“手動設定”を選び、決定 を押す

“自動設定”：
“ネットワーク接続設定”の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。
また、既に設定済の場合は、自動設定で取得された値へ設定値は更新されます。
（プロキシの設定はクリアされます）

“手動設定”：
“手動設定”を選ぶと、各種設定項目が表示されるので、（p.52、53）の
Ⓐ ～ Ⓓ をご覧の上、それぞれ設定してください。

ご注意

- 本機をネットワークに接続して、“ネットワーク接続設定”の各設定を変更した際は、必ず接続テストを行ってください。接続テストの詳細に関しては、「Ⓓ 接続テスト」（p.53）をご覧ください。
- 本機からはインターネットを使用してウェブサイトを閲覧することはできません。

ネットワークの設定をする・つづき

“手動設定”する場合の設定内容

A IPアドレス設定

1 IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを設定する

① ▲ / ▼で“IP アドレス取得方法”を選び、決定を押す
- 取得方法が表示されます。

② お好みの取得方法を選び、決定を押す

“自動（DHCP)”：
IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを DHCP サーバー機能で自動設定します。
B に進んでください。

“手動”：
IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを手動で設定できます。ルーターに DHCP サーバー機能がない場合や、ルーターの DHCP サーバー機能を使わないときは、こちらを選び、③へ進んでください。

③ ▲ / ▼で“IP アドレス”を選び、決定を押す
- 入力画面が表示されます。

④ 1 ～ 10/0 で数値を入力し、決定を押す
- 入力フィールド間の移動には◀ / ▶を使ってください。
- “IP アドレス”に関しては、パソコンに設定されている IP アドレスの最後の 2 桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3 桁まで入力可能です。)
  (例) パソコンの IP アドレス設定が“192.168.10.12”のときは、“192.168.10.223”(223 の部分は 12 以外のお好みの数値）で設定してください。
- 入力を間違えたときは、“クリア”を選び、決定を押してください。
- 入力を終えたら、“決定”を選び、決定を押してください。

⑤ 同様に“サブネットマスク”と“デフォルトゲートウェイ”も設定する
- “サブネットマスク”と“デフォルトゲートウェイ”はパソコンと同じ数値で設定してください。

2 各種設定が終わったら、B に進む

B DNS-IP設定

1 プライマリDNS ／セカンダリDNSを設定する

① ▲ / ▼で“DNS-IP 取得方法”を選び、決定を押す
- 取得方法が表示されます。

② お好みの取得方法を選び、決定を押す

“自動（DHCP)”：
プライマリ DNS ／セカンダリ DNS を DHCP サーバー機能で自動設定します。プロキシ設定をする場合は
C に進んでください。不要な場合は
D に進んでください。

“手動”：
プライマリ DNS ／セカンダリ DNS を手動で設定できます。ルーターに DHCP サーバー機能がない場合や、ルーターの DHCP サーバー機能を使わないときは、こちらを選び、③へ進んでください。

③ ▲ / ▼ で“プライマリ DNS”を選び、決定を押す
- 入力画面が表示されます。

④ 1 ～ 10/0 で数値を入力し、決定を押す
- 入力フィールド間の移動には◀ / ▶を使ってください。
- “プライマリ DNS”はパソコンの優先 DNS サーバーと同じ数値を設定してください。
- 入力を間違えたときは、“クリア”を選び、決定を押してください。
- 入力を終えたら、“決定”を選び、決定を押してください。

⑤ 同様に“セカンダリ DNS”も設定する
- “セカンダリ DNS”はパソコンの代替 DNS サーバーと同じ数値を設定してください。

2 プロキシ設定が必要な場合は C に進む 不要な場合は D に進む

C プロキシ設定

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、この設定を行ってください。

1 プロキシアドレスとプロキシポート番号を設定する

① ▲ / ▼で“プロキシ設定”を選び、決定を押す

② ▲ / ▼で“有効”を選び、決定を押す

- 入力画面が表示されます。

③ 1あ〜11わをんでアドレスを入力し、入力が終わったら決定を押す

- ポート番号入力画面が表示されます。
  （文字の入力方法については、「文字入力のしかた」（p.117）をご覧ください）

- 入力できるのは、英数字と記号のみです。
- “英字 / 記号”入力モードと“数字”入力モードを切り換えるには、青を押します。
- “英字 / 記号”入力モードで、2かABC〜9らWXYZを押すと、アルファベットを入力できます。入力したい文字が表示されるまで、繰り返し押してください。
- “英字 / 記号”入力モードで、10/0記号を繰り返し押すと、“.”や“－”などの各種記号を入力できます。
- “数字”入力モードで、1あ〜10/0記号を押すと、１〜９と０を入力できます。
- 入力中の文字を消去するときは、黄を押します。

④ 1あ〜10/0記号でプロバイダーが指定したポート番号を入力し、決定押すと、自動的にハイライトが“決定”に移動するので、そのまま決定を押す

2 各種設定が終わったら、D に進む

D 接続テスト

1 接続状態を確認する

① ▲ / ▼で“接続テスト”を選び、決定を押す

- 接続テストが始まります。
- 成功したら、成功メッセージが表示されるので決定を押してください。
- 失敗したら、画面にエラーメッセージが表示されるので、画面の指示に従って必要な設定を行ってください。

2 各種設定が終わったら、▶で サブメニューの“決定”を選び、決定を押す

3 戻るを何回か押して通常画面に戻す

メモ

- プロキシアドレスとは？
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。
  プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。
  （例：proxy_server.ne.jp）
- プロキシポート番号とは？
  プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。（例：8000）

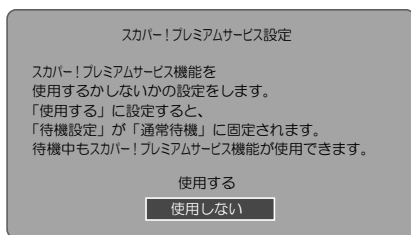
ネットワークの設定をする・つづき

スカパー！プレミアムサービス設定

スカパー！プレミアムサービス録画機能を使用するかしないかを設定します。

1 スタート を押し、“本体設定” ➡ “ネットワーク設定” ➡ “スカパー！プレミアムサービス設定” ➡ “スカパー！プレミアムサービス設定”の順に選び、決定 を押す

スカパー！プレミアムサービス設定

スカパー！プレミアムサービス機能を
使用するかしないかの設定をします。
「使用する」に設定すると、
「待機設定」が「通常待機」に固定されます。
待機中もスカパー！プレミアムサービス機能が使用できます。

使用する
使用しない

使用する： 本機とスカパー！プレミアムサービス対応チューナーを LAN ケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画することができます。

- “待機設定” が自動的に “通常待機” になります。
- 待機中もスカパー！プレミアムサービス機能が使用できます。

使用しない：スカパー！プレミアムサービス機能を使用しません。

デバイスネームを設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

1 スタート を押し、“本体設定” ➡ “ネットワーク設定” ➡ “スカパー！プレミアムサービス設定” ➡ “デバイスネーム”の順に選び、決定 を押す

2 2 か ABC ～ 11 わを ん、青、黄、決定、戻る で、お好みのデバイスネームを入力する

(文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.117) をご覧ください)

メモ

- お買い上げ時のサーバー名は、“ BIVR5- ” または “ BIVR10- ” に本機の MAC アドレスの一部を組み合せた名前となります。
- MAC アドレスを設定することはできません。表示は本機に設定されている値を示しています。

CEC リンク機能を使う

CEC リンク機能とは？

CEC リンク対応機器（本機など）と CEC リンク対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐことで、機器とテレビの連動操作が行えるようになる機能のことです。本機では、CEC リンク機能を使用することで以下のようなことが可能になります。

- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機が接続されている HDMI 入力に切り換わります。

- 番組表   見る 予約一覧

- HDD や DISC を再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生していた HDD や DISC は自動的に停止状態になります。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDD/DISC のいずれかが録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

CEC リンク機能を使うには、以下の手順を行って “CEC リンク制御” の設定を “入” にしてください。

準備

- 本機と CEC リンク対応テレビをつないでおく(接続のしかたは「HDMI 入力端子付きテレビとつなぐ」(p.27) をご覧ください)
- テレビ側で CEC リンクの設定をしておく（くわしくはテレビの取扱説明書をご覧ください）

1 スタート を押し、“本体設定” ➡ “HDMI接続設定” ➡ “CECリンク制御” ➡ “入”の順に選び、決定 を押す

- 接続するテレビにより操作できる機能は異なります。すべての HDMI-CEC 対応テレビとの連係動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは “CECリンク制御” を “切” にしてください。

番組表（G ガイド）を受信する

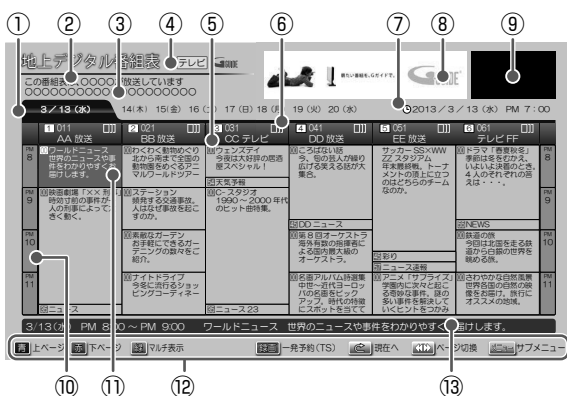
- 番組表（G ガイド）は放送局から送信されるテレビ放送の番組データを、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
- 番組表（G ガイド）を表示して、見たい番組を選ぶことができます。（録画予約することもできます。（p.89））

番組表（G ガイド）の受信／表示について

- 番組表（G ガイド）を表示するには

1 ・本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 番組表 を押す

3 地デジ 、BS/CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ（BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります）

① 現在の日付から８日分の日付表示
② 放送局からのお知らせ
③ 広告詳細表示方法（広告詳細が表示可能な場合に表示されます）
④ 放送の種類／番組表（G ガイド）の表示対象
⑤ 放送局の３桁チャンネル番号／放送局のロゴ／放送局名
⑥ 折りたたみ表示（マルチチャンネルを非表示の場合に表示されます）
⑦ 現在の日時
⑧ 広告
⑨ 現在視聴中の放送局の映像
⑩ 時間
⑪ 選択中の番組
⑫ ガイド表示
⑬ 選択中の番組の放送日時、簡単な情報

■ 番組表（G ガイド）の表示について

お買い上げ後、すぐには番組表（G ガイド）を表示できません。

- “かんたん設定”（チャンネル設定）を済ませていないと番組データが受信できないため、番組表（G ガイド）を表示できません。
- 本機は、番組表（G ガイド）の表示機能に G ガイドを採用しています。なお、当社は G ガイドを利用した番組表（G ガイド）のサービス内容については、関与しておりません。

■ 番組表（G ガイド）の受信について

番組データ (G ガイド用のデータを含む) は、本機の電源が「切」(通電状態) のとき、または本機の電源が「入」で録画中でないときに受信されます。本機の電源が「切」のときに受信すると、本体前面の電源ランプが点灯します。

- 電源コードは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表（G ガイド）の一覧の内容が更新されます。（更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります）なお、録画中であっても、視聴中や録画中チャンネルの番組データは取得されます。
- 受信には、通常、数十分かかります。
- 午前 4 時 15 分に本機の電源が「切」（通電状態）になっているとき、取得可能な放送局の番組情報が取得されます。この時刻以外にも、電源を「切」にしているときに番組データを取得することがあります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。
- 番組データの受信中は、動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
- 番組データの受信が完了していなくても本体前面の電源ランプが消灯する場合があります。

■ デジタル放送の番組表（G ガイド）について

地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の番組表（G ガイド）は、それぞれの放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表（G ガイド）を表示することができます。（p.25、26）

■ ケーブルテレビ（CATV）の番組表（G ガイド）について

ケーブルテレビ（CATV）は、放送や伝送方式により、本機で番組表（G ガイド）を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。（p.28）

ご注意

- 次のようなときは、番組データを受信できず、番組表（G ガイド）が空欄になるか前回の内容が残ります。
  - 録画中のとき
  - 停電したときや電源コードを抜いたとき
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次のようなときは、番組データを新たに受信するまでは番組表（G ガイド）が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやり直したとき
  - 約 1 週間以上、本機の電源コードを抜いて使用していなかったとき
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表（G ガイド）の内容と異なることがあります。

操作をする前にご確認ください

説明で使用するマークの意味

■ 本機で使えるメディアのマーク

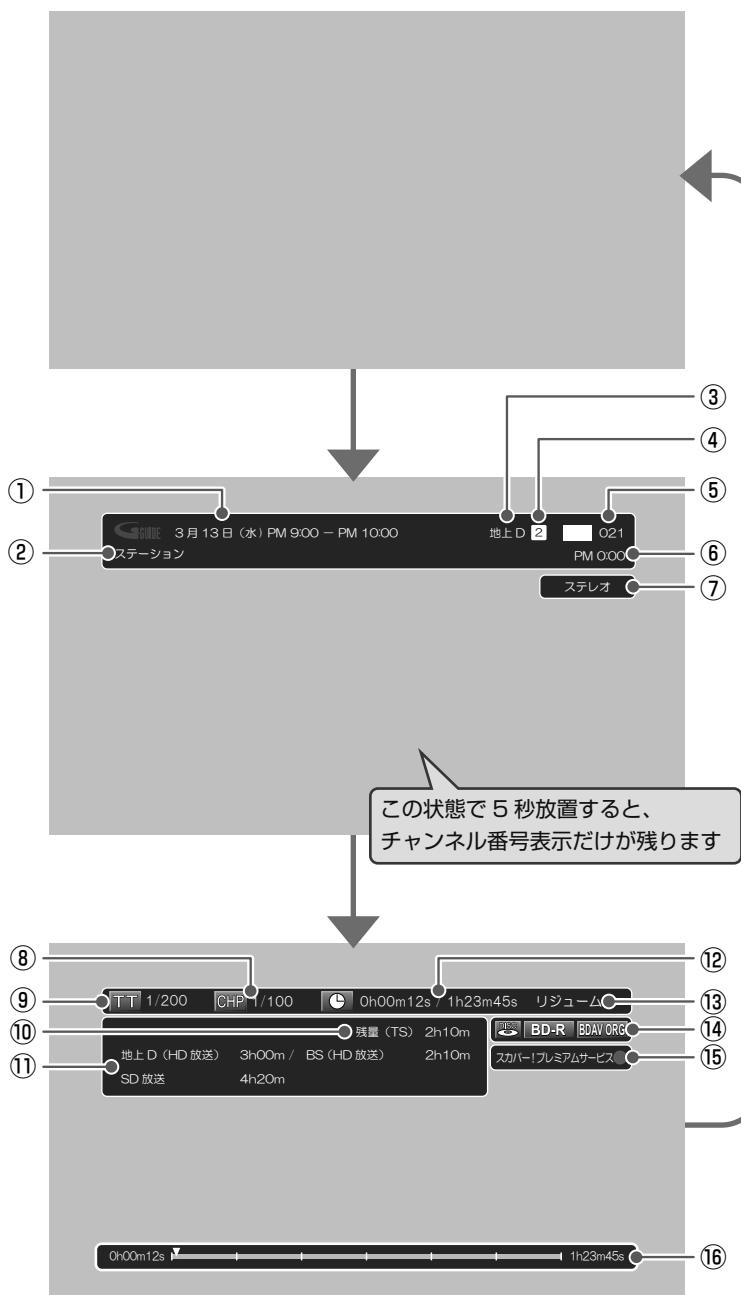
メディア／ファイル	説明	マーク
HDD	内蔵ハードディスク	HDD
カセット HDD (iVDR)	カセットハードディスク	HDD(iVDR)
BD-RE (BDAV)	BDAV 方式で記録された BD-RE ディスク	BD-RE
BD-R (BDAV)	BDAV 方式で記録された BD-R ディスク	BD-R
BD-Video	映画ソフトなど、市販の BD-Video ディスク	BD-Video
DVD-RW (VR)	VR 方式で記録された DVD-RW ディスク	-RW (VR)
DVD-R (VR)	VR 方式で記録された DVD-R ディスク	-R (VR)
DVD-RW (Video)	Video 方式で記録された DVD-RW ディスク	-RW (Video)
DVD-R (Video)	Video 方式で記録された DVD-R ディスク	-R (Video)
DVD-Video	映画ソフトなど、市販の DVD-Video ディスク	DVD-Video
DVD-RW (AVC)	AVCREC™ 方式で記録された DVD-RW ディスク	-RW (AVC)
DVD-R (AVC)	AVCREC™ 方式で記録された DVD-R ディスク	-R (AVC)
音楽用 CD	音楽用 CD	音楽用CD
BD-RE / BD-R (JPEG)	JPEG が記録された BD-RE / BD-R ディスク	BD (JPEG)
DVD-RW / DVD-R (JPEG)	JPEG が記録された DVD-RW / DVD-R ディスク	DVD (JPEG)
CD-RW / CD-R (JPEG)	JPEG が記録された CD-RW / CD-R ディスク	CD (JPEG)
SD (JPEG)	JPEG が記録された SD カード	SD (JPEG)
DVD-RW / DVD-R (AVCHD)	AVCHD 方式の動画が記録された DVD-RW / DVD-R ディスク	DVD (AVCHD)
SD (AVCHD) ※1	AVCHD 方式の動画が記録された SD カード	SD (AVCHD)

※1 SD カードから直接 AVCHD ファイルを再生することはできません。（くわしくは、(p.68) をご覧ください）

画面表示の見かた

■ 現在の本機の状態や情報を表示する

放送視聴中や再生中にリモコンの 画面表示 を押すたびに、次のように表示されます。

（例）

① **番組の放送日時**

② **番組名**

③ **放送の種類**
- 地上／ BS ／ CS デジタル放送

④ **リモコンの数字ボタンの割り当て番号**

⑤ **チャンネル番号/外部入力(L1)**

⑥ **現在時刻**

⑦ **番組の音声情報**

⑧ **現チャプター番号／総チャプター数**
- リジュームポイント（最後に停止した箇所）を記憶せずに停止している場合は、“－－－”表示となります。

⑨ **現タイトル番号／総タイトル数**
- リジュームポイント（最後に停止した箇所）を記憶せずに停止している場合は、現タイトル番号の箇所は“－－－”表示となります。（DISC モードのみの表示です。他のモードでは表示方法は変わります。）

⑩ **現在の残量表示**
- 現在設定されている録画モードの残量時間が表示されます。

⑪ **残量表示一覧／現時点までの録画時間**
- 停止中は各放送における残量を一覧表示します。（録画モードが TS 以外の場合や外部入力に切り換えている場合は表示されません。）
- 録画中はメディアの種類／チャンネル番号／録画時間を表示します。
- h：時間、m：分

⑫ **再生経過時間／総再生時間**
- h：時間、m：分、s：秒

⑬ **動作状態**

⑭ **メディアの種類**

⑮ スカパー！プレミアムサービス
- スカパー！プレミアムサービス録画中に表示します。

⑯ **タイムバー**
- 再生中の現在の位置を表示します。

4 操作をする前に

メモ

- 再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。
- 残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
  残量時間は、録画中、停止中の情報に表示されます。現在、本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。
  該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。

画面表示の見かた・つづき

■ 表示されるアイコンについて

電源

起動中・・・	電源が入ったとき

メディアの出し入れ

⏏	ディスクトレイ開
	ディスクトレイ閉
読み込み中	ディスク、SD カードの読み込み中
iVDR 読み込み中	カセット HDD の読み込み中

メディアの種類

DISC	ディスク
HDD	HDD
iVDR	カセット HDD
BD-RE / BD-R	BD-RE/-R
BD-Video	BD-Video
BDAV ORG	BDAV（オリジナル）
BDAV PL	BDAV（プレイリスト）
DVD-RW / DVD-R	DVD-RW/-R
DVD-Video	DVD-Video
VR ORG	VR モード（オリジナル）
VR PL	VR モード（プレイリスト）
Video	ビデオモード
AVCREC ORG	AVCREC™ モード（オリジナル）
AVCREC PL	AVCREC™ モード（プレイリスト）
SD DATA	SD カード
CD-DA	音楽用 CD
CD DATA	データ CD
AVCHD	AVCHD 方式のディスク
DISC ディスクなし	ディスクが入っていないとき
iVDR iVDR なし	カセット HDD が入っていないとき

主な動作

●	録画
しばらくお待ちください	録画停止処理中
□ 停止	停止
リジューム	つづき再生の停止（リジューム停止）
▷	再生
∥	再生一時停止
▷ × 1.3	早見再生（音声付き早送り）
▷▷ 早送り	早送り
◁◁ 早戻し	早戻し
∣▷	スロー再生
◁∣	逆スロー再生
▷▷∣	正方向のスキップ
∣◁◁	逆方向のスキップ
⇨ スキップ	可変スキップ
リプレイ	可変リプレイ
HDD ➡ DISC	ダビング 例：HDD からディスクへ ダビングするとき
iVDR ➡ HDD	ダビング 例：カセット HDD から HDD へ ダビングするとき

その他

TT	タイトル
CHP	チャプター
TR	トラック
◷	再生時間（タイム）

ご注意

- テレビ画面に“ ⃠ ”が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

スタートメニューについて

■ スタートメニュー画面

本機の一部の機能は、スタートメニュー画面を表示して操作するようになっています。

スタートメニュー画面は、リモコンの［スタート］を押すと表示されます。

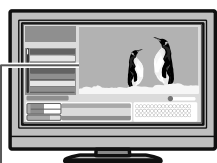
- スタートメニュー画面は録画、再生などの動作中でも表示できますが、再生中は再生を停止して表示します。
- 現在操作ができない項目はグレー表示となります。（選択できても、操作できません。）

<table>
<tr><th>項目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>見る（p.103）</td><td>● “見る”画面を表示します。
● “見る”画面のサブメニューから、さまざまな再生・編集操作ができます。</td></tr>
<tr><td>番組表から予約（p.89）</td><td>● 番組表（G ガイド）から簡単に、録画を予約できます。</td></tr>
<tr><td>放送中の番組へ</td><td>● 視聴したい放送や入力が選べます。</td></tr>
<tr><td>ダビング（p.129 ～ 138）</td><td>● ダビング方向を選んだり、ダビングリストへ登録してダビングできます。</td></tr>
<tr><td>予約一覧（p.86）</td><td>● 録画予約の一覧を表示します。
● サブメニューから、日時を指定して録画を予約することができます。</td></tr>
<tr><td>メディアの管理</td><td>● 各種メディアに関して以下の操作や設定ができます。
<table>
<tr><td rowspan="2">HDD メニュー</td><td>番組全消去（p.127）</td></tr>
<tr><td>番組全消去（保護番組以外）（p.127）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">BD/DVD メニュー</td><td>初期化（p.128）</td></tr>
<tr><td>ファイナライズ（p.127）</td></tr>
<tr><td>ディスク名変更（p.126）</td></tr>
<tr><td>ディスク保護 / ディスク保護解除（p.126）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">iVDR メニュー</td><td>初期化（p.128）</td></tr>
<tr><td>番組全消去（保護番組以外）（p.128）</td></tr>
<tr><td>iVDR 名変更（p.126）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>放送受信設定</td><td>● 放送関連の設定を行います。くわしくは、「放送関連の設定を変える」（p.43）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>本体設定</td><td>● さまざまな機能の設定などを行います。くわしくは、「いろいろな設定を変える（本体設定メニュー）」（p.140）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>お知らせメール</td><td>● 本機や放送局から送られてくるメールや、110 度 CS デジタル放送の情報や案内を確認できます。くわしくは、「本機や放送局からのお知らせを確認する」（p.139）をご覧ください。</td></tr>
</table>

本機で受信できる放送の種類

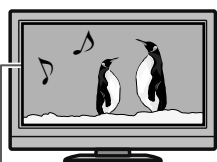
本機では以下の 3 種類の放送を受信できます。

放送の種類	特徴	本機で利用できる主なサービス
地上デジタル放送	● 地上波の UHF 放送の周波数帯域を使って行うデジタル放送です。また、本機は CATV パススルー方式に対応しています。 ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送も受信することができます。 ● 最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）5.1ch サラウンド・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 ● 本機ではワンセグは受信できません。	番組表 （G ガイド） データ放送 字幕放送
BS デジタル放送	● ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行われる放送のため、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。	番組表 （G ガイド） データ放送 字幕放送 ラジオ放送
110 度 CS デジタル放送	● 通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどの番組は有料です。「スカパー！」を視聴するには、加入申込みと契約が必要です。	番組表 （G ガイド） データ放送 字幕放送 ラジオ放送

■ デジタル放送の「データ放送」「ラジオ放送」「双方向サービス」について

小画面ではほとんどの場合、放送中の番組画面が表示されます。

● データ放送（設定：p.47 ）

データ放送には「番組連動データ放送」「独立データ放送」などがあり、番組連動データ放送は、例えば野球放送中の他球場の速報や、歌番組などでの勝敗投票といった、番組に関連したデータ放送です。（番組連動データ放送には、「双方向通信」機能を使う番組があります。接続や設定が必要です。）独立データ放送は、天気予報、ショッピング情報（オンライン通販）などの、番組とは無関係の内容です。

※ 本機はデータ放送やラジオ放送は記録できません。

静止画などが表示されます。

● ラジオ放送

ラジオ放送は、BS デジタルおよび 110 度 CS デジタル放送で行われています。放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽用 CD 並みの高音質を楽しむことができます。

※ 本機はデータ放送やラジオ放送は記録できません。

（例）青、赤、緑、黄ボタンを使って、投票などができます。

● 双方向通信（接続と設定：p.31、51）

デジタル放送では、「双方向通信」機能を使って、クイズ番組に参加したり、買い物をしたりすることができます。双方向通信をするには、ブロードバンド常時接続環境につなぎます。

※ 本機は、インターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応しています。
電話回線を使用する双方向通信サービスには、対応していません。

メモ

● 「WOWOW」や「スカパー！」などは加入申し込みと契約が必要です。受信契約については、各放送事業者にお問い合わせください。

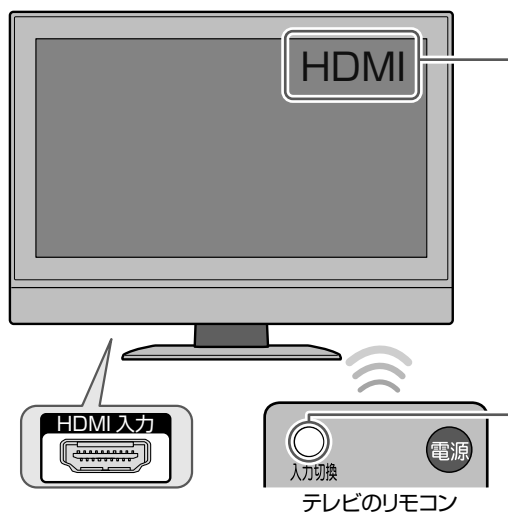
本機の映像をテレビで見られるようにする

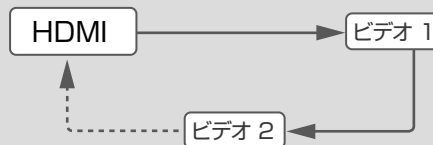
準備

- 本機とテレビをつないでおく

1 テレビの電源を入れる

2 テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

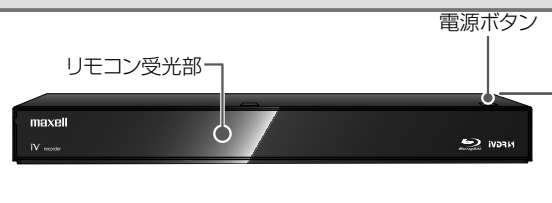
(テレビのリモコンで切り換えます)

テレビのリモコン

■本機をテレビの「HDMI入力」端子に接続しているときの例

テレビのリモコンの『入力切換』ボタンを繰り返し押して、画面に「HDMI」を表示させます。
(テレビごとに表示および操作方法は異なります)

3 本機の電源を入れる

(切るときも同じ操作です。)

電源ボタン

リモコン受光部

どちらかを **押す**

電源が入ると、本体前面の電源ランプ（赤）が点滅します。
使用可能になると電源ランプ（緑）が点灯します。

本機の準備が完了すると、通常は、本機の内蔵チューナーで受信している放送の映像がテレビに映ります。

ご注意 “かんたん設定”画面が表示された場合

電源を入れたあと、このような画面が表示された場合は、本機を使うための設定が終わっていません。
「本機の設定」(p.39) をご覧になり、“かんたん設定”を行ってください。

放送中の番組を楽しむ

地デジや BS/CS 放送、ラジオ放送やデータ放送を楽しむことができます。

チャンネルを選ぶ

1 地デジ、BS/CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

● BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります。

サブメニューから放送の種類を選ぶときは

① メニュー を押して、サブメニューを表示する

② ▲ / ▼で“放送・入力切換”を選び、決定 を押す

③ ▲ / ▼でお好みの放送の種類を選び、決定 を押す

2 チャンネルを選ぶ

順送り / 逆送りで選ぶときは

① ▲チャンネル▼ を使います。

リモコンの 1 ～ 12 ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは

① 1 ～ 12 を使います。

デジタル放送の 3 桁のチャンネルを選ぶときは

① Ch番号入力 を使います。

（例）021 チャンネルを選ぶときは

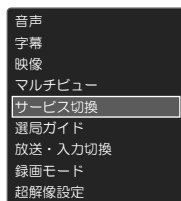
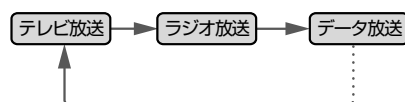
Ch番号入力 → 10/0 → 2 → 1

パスワードの入力画面が表示されたときは

① 「デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する」（p.65）をご覧ください。

ラジオ放送やデータ放送を選ぶには

① 番組視聴中に メニュー を押して、サブメニューを表示する

② ▲ / ▼で“サービス切換”を選び、決定 を押す

● この操作を繰り返すたびに下記の順でサービスが切り換わります。
（存在してないサービスはスキップされます。）

選局ガイドからチャンネルを選ぶ

1 地デジ、BS/CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

- BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります。

2 メニュー を押して、▲ / ▼で“選局ガイド”を選び、決定 を押す

3 1 〜 12 を押すか、または▲ / ▼ / ◀ / ▶でお好みのチャンネルを選び、決定 を押す

- 青 または 赤 で、ページを切り換えることができます。

番組表（G ガイド）からチャンネルを選ぶ

1 番組表 を押して、番組表(Gガイド)を表示する

（番組表（G ガイド）の表示については（p.55）をご覧ください）

2 地デジ、BS/CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

- BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で現在放送中の視聴したい番組を選び、決定 を押す

4 ◀ / ▶で“見る”を選び、決定 を押す

メモ

枝番号があるチャンネルを選局した場合

- 枝番号とは、将来多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。

(例) 入力した 3 桁チャンネルに枝番号がある場合、
“チャンネル枝番号の選局” 画面が表示されるので、◀ / ▶でお好みのチャンネルを選んでください。

番組の詳細内容を確認するには

番組内容の確認方法には以下の 2 つがあります。

- 番組表（G ガイド）で確認したい番組を選んだ状態で、番組説明 または 決定 を押す
- 番組視聴中に 番組説明 を押す

表示を消すには、“閉じる” を選んで 決定 を押すか、番組説明 または 戻る を押します。

ご注意

- 2 番組同時録画中は、録画中のチャンネルのみ切り換えることができます。
- 再生中は放送やチャンネルの切換はできません。

5 視聴する

放送中の番組を楽しむ・つづき

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画することはできません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

1 データ放送のある番組を視聴中に、d を押してテレビ放送に連動しているデータ放送を表示する

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶や色ボタン、または数字ボタンなどを使って、画面の案内に従い操作する

■ データ放送での文字入力について

「文字入力のしかた」(p.117) をご覧ください。文字入力画面が表示されないデータ放送の場合は、11 で "＊" を、12 で "#" を入力します。

3 データ放送を見終わったら、d を押してテレビ放送に戻す

■ 前の画面に戻るときは、画面の案内に従い操作するか 戻る を押す

視聴中の番組の音声を切り換える

複数の音声がある番組を見るときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

1 複数の音声がある番組を視聴中に、音声切換 を押して、音声情報を表示する

- 音声情報は、メニュー を押してサブメニューを表示し、そこから "音声" を選ぶことでも表示できます。

2 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定 を押す

視聴中の番組の字幕を切り換える

1 字幕情報がある番組を視聴中に、メニュー を押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼で "字幕" を選び、決定 を押す

- 字幕情報が表示されます。

3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定 を押す

- 選べる字幕言語は "日本語" と "英語" のみです。(番組によって異なります)

ご注意

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
  - ネットワークの接続と設定
  - B-CAS カードの登録
  - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。
- デジタル放送録画中のチャンネルは、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴することはできません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。

視聴中の番組の アングルを切り換える

1 アングル情報がある番組を視聴中に、メニューを押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼で“映像”を選び、決定を押す

- アングル情報が表示されます。

3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

マルチ番組の映像、音声などを切り換える

“マルチビュー”は、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある番組で、この項目を切り換えることでそれぞれの項目が一度に切り換わります。

1 番組を視聴中に、メニューを押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼で“マルチビュー”を選び、決定を押す

- 設定情報が表示されます。

3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

視聴中の番組の画質を切り換える（超解像設定）

HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質（480i/p）の映像を精細感の高い画質に補正します。

1 標準画質の番組を視聴中に、メニューを押してサブメニューを表示する

2 ▲ / ▼で“超解像設定”を選び、決定を押す

- 設定情報が表示されます。

3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する

番組の視聴中にパスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力すると、その番組を視聴できるようになります。

1 1あ ～ 10/0記号 で、「デジタル放送の視聴可能年齢を設定する」(p.50)で設定したパスワードを入力する

- 制限を解除するには、スタート →“放送受信設定”→“共通設定”→“視聴年齢制限”を“無制限”に設定してください。(p.45)

5 視聴する

他の機器の映像を見る

本機の外部入力端子にお手持ちの機器を接続して、本機を通して映像を見ることができます。

外部入力の映像に切り換える

本機の入力端子（L1）につないだ他の機器の映像を、本機を使って見るときは、本機を外部入力に切り換えます。
他の機器の操作については、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

1. メニュー を押して、サブメニューを表示する
2. ▲ / ▼で“放送・入力切換”を選び、決定 を押す
3. ▲ / ▼で“外部入力(L1)”を選び、決定 を押す

ご注意

- 以下の場合、外部入力（L1）に切り換えることはできません。
  - AF ～ AE で 2 番組同時録画中

ケーブルテレビチューナーで受信している番組を見る

ケーブルテレビ（CATV）の番組を視聴するためには、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナル / セットトップボックスでチャンネルを選局し、本機を外部入力に切り換えて視聴します。（ホームターミナル / セットトップボックスを介さない場合もあります。）
パススルー方式で送信されている場合は、地上デジタル放送、BS デジタル放送などは、本機のチャンネル選局で視聴できます。（外部入力に切り換えは不要です）。

- くわしくは、ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

準備

- 本機とケーブルテレビをつないでおく（p.28）

1. ケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスを見たいチャンネルに合わせる
2. 外部入力に切り換える
   - 本ページ「外部入力の映像に切り換える」の手順 1 ～ 3 を行ってください。

ご注意

- ケーブルテレビ（CATV）、スカパー！、WOWOW などで録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、ケーブルテレビのホームターミナル / セットトップボックス経由で「ダビング 10（コピー 9 回＋移動 1 回)」番組を録画する場合は、「1 回だけ録画可能」タイトルとして録画されます。
- 外部入力（L1）から HDD に録画したコピー制限のあるタイトルを DVD にダビングする場合は、CPRM 対応の DVD-RW（VR）/ DVD-R（VR）を使用してください。
- 外部入力（L1）からコピー制限のある番組をカセット HDD に録画する場合、または HDD に録画した、コピー制限のあるタイトルをカセット HDD にダビングする場合は、セキュア対応のカセット HDD(iVDR-S)を使用してください。なお、コピー制限の有無にかかわらず、外部入力（L1）から HDD やカセット HDD に録画されたタイトルを DVD-RW（AVCREC™）/DVD-R（AVCREC™）にダビングすることはできません。
- テレビやケーブルテレビのホームターミナル／セットトップボックスのＩｒシステムを使う場合、本機を操作できないことがあります。

本機で使えるメディアについて

本機で録画・再生ができるメディアについて

メディアの種類 ディスクのバージョン(Ver.)が違う場合、本機では使えないことがあります	HDD ハードディスク (本機に内蔵)	HDD(iVDR) カセットハードディスク セキュア対応カセットHDD(iVDR-S) セキュア非対応カセットHDD(iVDR)	BD-RE SL/DL(1層/2層) BDXL TL(3層) Ver. 2.1、3.0 高速記録: 2倍速ディスクまで	BD-R SL/DL(1層/2層) BDXL TL/QL (3層/4層※5) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0 高速記録: 6倍速ディスクまで	
録画(デジタル放送)	◎	◎	◎	◎	デジタル放送のHD放送を ... ◎:ハイビジョン画質で録画可 ○:標準画質で録画可
録画(外部入力)	○	○	○	○	
ダビング(デジタル放送)※1	◎	◎	◎	◎	
ダビング(外部入力)※1	○	○	○	○	
繰り返し録画	○	○	○	×	○:できる ×:できない
再生	○	○	○	○	
"見る"画面からの再生	○	○	○	○	
追っかけ再生	○	○	×	×	

メディアの種類 ディスクのバージョン(Ver.)が違う場合、本機では使えないことがあります	-RW DVD Ver. 1.1、Ver. 1.2 高速記録 6倍速ディスクまで			-R DVD SL/DL(1層/2層※2) Ver. 2.0、2.1:高速記録16倍速ディスクまで Ver. 3.0:高速記録8倍速ディスクまで			
	-RW (VR)	-RW (AVC)	-RW (Video)	-R (VR)	-R (AVC)	-R (Video)	
録画(デジタル放送)	×	×	×	×	×	×	デジタル放送のHD放送を ... ◎:ハイビジョン画質で録画可 ○:標準画質で録画可 △:コピー制限のないタイトルのみ可能 ×:できない
録画(外部入力)	×	×	×	×	×	×	
ダビング(デジタル放送)※1	○	◎	×	○	◎	×	
ダビング(外部入力)※1	○	×	△※3	○	×	△※3	
繰り返しダビング	○	○※4	○※4	×	×	×	○:できる ×:できない
再生	○	○	○	○	○	○	
"見る"画面からの再生	○	○	×	○	○	×	
追っかけ再生	×	×	×	×	×	×	

※1 デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「移動」のどちらになるかについては、(p.133)をご覧ください。
ケーブルテレビ(CATV)、スカパー!、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス経由で、外部入力(L1)から「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

※2 DVD-Rの2層ディスクの場合、AVCREC™方式でのみダビングすることができます。

※3 DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズが行われます。

※4 ファイナライズされたDVD-RW(AVCREC™) / -RW(Video)にダビングできるようにする場合は、初期化(再フォーマット)(p.128)を行ってください。(ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。)

※5 2013年2月現在、4層に対応したBD-R(BDXL)は市販されていません。なお、4層に対応したBD-RE(BDXL)は存在しません。

- 本機で対応しているDVD-RW/DVD-Rの録画方式は3種類(AVCREC™、VR、Video)です。(p.74)

ご注意

- デジタル放送をDVD-RW/-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。
- デジタル放送をカセットHDDに録画・ダビングする場合は、セキュア対応のカセットHDD(iVDR-S)をお使いください。
- カセットHDDには標準タイプ、Miniタイプ、EXタイプの3種類のカートリッジがありますが、標準タイプのカートリッジのみご使用になれます。
- 本機では弊社製のセキュア対応カセットHDD「iV」(アイヴィ)[M-VDRS500G.C/M-VDRS320G.D/M-VDRS1T.E](別売品)を推奨します。
- カセットHDDには、セキュア対応のiVDR-Secureとセキュア非対応のiVDRがあります。
- カセットHDDに録画モードTS以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

本機で使えるメディアについて・つづき

本機で再生だけができるメディアについて

メディアの種類 ディスクのバージョン（Ver.）が違う場合、本機では使えないことがあります	BD-Video	DVD-Video	音楽用CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO
	リージョンコードに「A」が含まれるディスク	リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク	音楽用 CD（CD-DA） 音楽用 CD 形式で記録され、ファイナライズ済みの CD-RW/CD-R
再生	○	○	○
“見る”画面からの再生	×	×	○ （音楽用 CD 専用）

メディアの種類	JPEG（デジタルカメラで撮影された写真など）が記録されたもの		AVCHD 方式（デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画）で記録されたもの	
	BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG)	SD (JPEG)	DVD (AVCHD) ※6	SD (AVCHD)
再生	○	○	○	×※7
“見る”画面からの再生	○ （JPEG 専用）	○ （JPEG 専用）	×※7	

○：できる
×：できない

※6 ファイナライズ済みの DVD-RW / DVD-R（2 層ディスクを含む）

※7 ディスクの場合： ディスクから直接再生することができます。
SD カードの場合： 本機の HDD に取り込んで（ダビングして）、HDD の“見る”画面から再生することができます。

ご注意

- ＋ RW / ＋ R については、本機では対応していません。
- VCD / SVCD の再生については、本機では対応していません。

HDD について

大容量データ記録装置の 1 つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、この HDD を内蔵しています。
次のようなことは行わないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源コードを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2 分以上経過してから行ってください。)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDD は、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDD が故障すると、HDD の録画（録音）内容が失われることがあります。

HDD は、録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画（録音）内容は、複数の違う媒体に保存しておくことをおすすめします。
- HDD は機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。

その他

- 内蔵の HDD をはずして、お客さま自身で HDD を交換することはできません。(正常に動作しません。また、保証が無効となります。)
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDD は、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

ご注意

- **HDD に異常が発生した場合、再生が不能になったり、録画（録音）内容が消えてしまう事があります。**

カセット HDD (iVDR) について

■ カセット HDD (iVDR) とは

カセット HDD は、iVDR (Information Versatile Device for Removable usage) 規格に準拠したカセット式のハードディスクです。別売のカセット HDD を接続することにより、HDD の高速 / 大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。
デジタル放送はほとんどの番組はコピー制限付きです。
コピー制限付き番組はセキュア対応のカセット HDD「iVDR-S」で録画することが出来ます。また、カセット HDD には標準タイプ、Mini タイプ、EX タイプの 3 種類のカートリッジがありますが、標準タイプのカートリッジのみご使用になれます。本機では弊社製のセキュア対応カセット HDD「iV」（アイヴィ）[M-VDRS500G.C/M-VDRS320G.D/M-VDRS1T.E]（別売品）を推奨します。
本機にカセット HDD を挿入しているときは、カセット HDD に録画したり、カセット HDD のタイトルを、HDD に移動することができます。

準備

- カセット HDD を挿入する（p.72）
- iVDR を押して、カセット HDD (iVDR) 操作モードに切り換える

■ カセット HDD (iVDR) で使える機能

以下の点を除けば HDD と同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

HDD との相違点

- カセット HDD にデジタル放送を直接録画するときの録画モードは TS のみになります。
- “かんたんダビング”はできません。
- カセット HDD の“録画モード変換”はできません。
- デジタル放送のダビング 10 番組を録画しても、移動のみ可能タイトルとして記録されます。

ご注意

- **アクセス☀(動作中) ランプが点灯しているときはカセット HDD を抜かないでくだだい。**

本機で使えるメディアについて・つづき

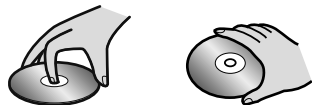
ディスクについて

■ ブルーレイディスク / DVD / CD 全般

次のような場合は、正常に録画・再生できません。

- 記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画／再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
- 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「ディスクトレイの開閉ができない。」（p.167）をご覧になり、対処してください。
- PAL 方式など、NTSC 方式以外で記録された DVD ディスク。
- 無許諾（海賊版など）のディスク。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）の録画・再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。

- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーニングディスクをご使用になる場合は、日立マクセル製ブルーレイレンズクリーナー「型番 BDRO-CL(S)/BDRO-CW(S)/BDRP-DW-WP(S)」をお使いください。

ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くと、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください！

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク。
  - ラベルやシールが貼られているディスク。
  - ラベルがはがれているディスク。
  - のりがはみ出しているディスク。
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
  - 六角形など、特殊な形状のディスク。

8cm 盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集はできません。
- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cm アダプターなしで使用できます。

■ BD-RE / BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ（クローズ）していない BD-R は、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE / BD-R は、お買い上げ時には初期化（フォーマット）されていません。使用する前に初期化してください。（p.73）
- BD-RE Ver1.0（カートリッジタイプ）は、本機では使用できません。

■ DVD-RW / DVD-R

- DVD には直接録画できません。
- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW / DVD-R は、お買い上げ時には初期化（フォーマット）されていません。使用する前に初期化してください。（p.74）
- DVD-RW（AVCREC™）/ DVD-R（AVCREC™） は、AVCREC™ 方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（VR）/ DVD-R（VR）は、VR 方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM 対応のディスクは、CPRM 対応のレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。（CPRM については、（p.176）をご覧ください）
- DVD-RW（Video）/ DVD-R（Video）は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機では DVD-Video と同様の扱いとなります。
- 1 倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。

■ BD / DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。くわしくは、ディスクの説明書をご覧ください。

■ 音楽用 CD

- 音楽用 CD は、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- MP3 ファイル形式で録音されたディスクには対応しておりません。
- CD 規格外の音楽用 CD（コピーコントロール付き CD など）は、まったく再生できないか、正常に再生できません。
- データファイルが混在している音楽用 CD は再生できません。

ご注意

- 次のような場合は、正常に録画できない場合があります。
  - ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき
  - 映りの悪い（電波状態が悪い、弱い）番組など、画質が良くない映像を録画したとき
- 高速記録対応のディスクを使用してダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。
- すべての再生を保証するものではありません。

SDカードについて

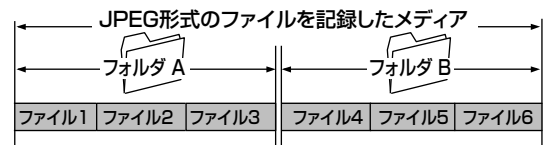
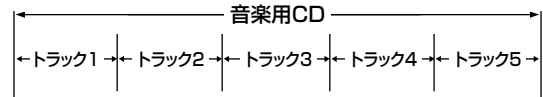
- 本機は、SD規格に準拠した以下のSDカードに対応しています。
  - exFAT形式でフォーマットされたSDXCカード
  - FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード
  - FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカード
- 4GB以上のSDカードは、SDXCカードまたはSDHCカードのみ使用できます。

ご注意

- すべてのSDXCカードおよびSDHC カードを保証するものではありません。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

HDDやディスクの構成区分について

- 一般に、HDDやディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
- 音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。
- JPEG形式のファイルが記録された、CD-RW、CD-Rの場合、データは「フォルダ」という大きな区切りと、「ファイル」という小さな区切りで構成されます。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

(例)

タイトル：　HDDやディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター：　タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

トラック：　音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

ファイル：　ひとつひとつのデータのことです。

フォルダ：　ファイルやフォルダなどの集合を内包する階層のことです。

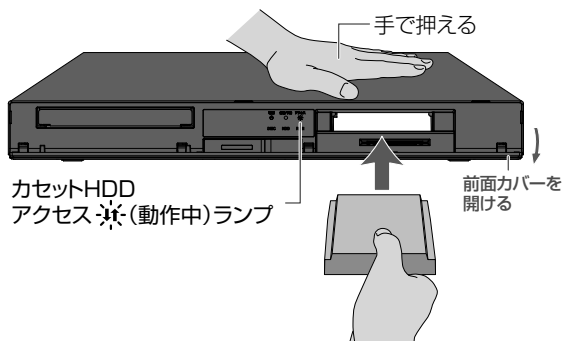
■ 本機で利用できるSDカードについては (p.68、71)

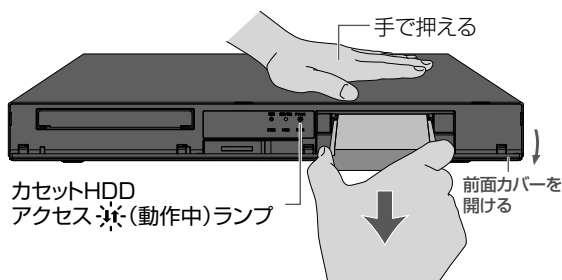
メモ

- 本機で再生できるJPEG形式については、「本機で再生できるJPEGファイルについて」(p.114)をご覧ください。

ディスクの準備

カセットHDD(iVDR)を挿入口に入れる

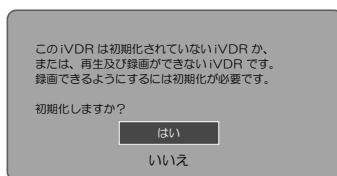
カセットHDDを挿入するときは、本体が動かないように、本体を手で押さえ、カセットHDDのiVDR または iVDR-S ロゴ面を上にして、止まるまでゆっくりと押し込んでください。フォーマットされていないカセットHDDを挿入した場合は、画面の指示に従ってカセットHDDの初期化を実行してください。

カセットHDD(iVDR)を取り出す

カセットHDDアクセス(動作中)ランプが消灯していることを確認してください。本体が動かないように本体を手で押さえ、カセットHDD本体をつまみ、ゆっくり引き抜いてください。

新品のカセットHDD(iVDR)を初期化(フォーマット)する

HDD(iVDR)

カセットHDDは初期化（フォーマット）しないと、録画することができません。

1 カセットHDDを挿入する

2 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定を押す

- 初期化が終わるまで、数分がかかります。

3 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”または“いいえ”を選び、決定を押す

■ **iVDR名の設定を行う場合は**
“はい”を選んでください。くわしくは「メディアの名前を変更する」(p.126)をご覧ください。

■ **iVDR名の設定を行わない場合は**
“いいえ”を選んで終了してください。

- カセットHDDを引き抜くときは、本体前面のアクセス(動作中)ランプが消灯していることを確認し、本体上部を手で押さえゆっくりと引き抜いてください。

ご注意

- 次の動作中に、カセットHDDを取り外したり、AC電源プラグを抜かないでください。
カセットHDDの記録内容が損傷し、録画や再生が出来なくなる可能性があります。
  - 録画・再生・編集・ダビング中
  - カセットHDD認識中
  - 初期化中
  - アクセス(動作中)ランプ点灯中
- カセットHDD挿入口には、カセットHDD以外のものを挿入しないでください。
- カセットHDD挿入の前に、カセットHDDのコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。
- 頻繁にカセットHDDを抜き差ししないでください。
コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。
- 初期化中は、初期化が完了するまで中止できません。

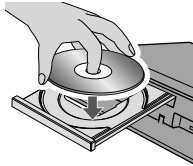
メモ

- カセットHDDは精密機器です。無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- カセットHDDには、セキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」、セキュア非対応のカセットHDD「iVDR」があります。
- セキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」は、コピーワンス（1回録画可能）やダビング10のデジタル放送を録画することができます。セキュア非対応のカセットHDD「iVDR」は、コピーワンス（1回録画可能）やダビング10のデジタル放送は録画できません。
- パソコンでカセットHDDのフォーマットやファイル操作を行った場合、正常に使用できなくなる場合があります。

ディスクを入れる

フォーマットされていないディスクを入れた場合は、画面の指示に従ってディスクの初期化を実行してください。

1 トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを開く

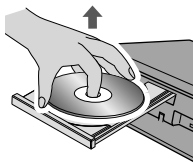
2 録画可能で残量のあるディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く

☞ 両面ディスクを再生するときは
再生する面を下にしてください。

3 トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。

ディスクを取り出す

1 トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを開く

2 ディスクを取り出す

3 トレイ開/閉 を押して、ディスクトレイを閉める

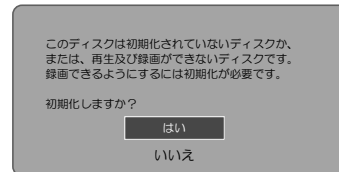
新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する

BD-RE BD-R

新品(未使用)のディスクを入れると、初期化(フォーマット)画面が表示されますので、ディスクを初期化(フォーマット)してからお使いください。初期化(フォーマット)しないと、録画・ダビングができません。

BD-RE	● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。 ● あとで初期化しなおすことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。(p.128))
BD-R	● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。 ● 一度初期化すると初期化しなおすことはできません。

1 ディスクを入れる

2 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定 を押す

- 初期化が終わるまで、数分がかかります。
- "初期化中"の表示が消えたら、初期化完了となりますので、録画・ダビングが可能です。

6 使えるメディア

ご注意

- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。ディスクの破損や本体の故障の原因となります。
- 初期化中は、初期化が完了するまで中止できません。

ディスクの準備・つづき

新品の DVD を初期化（フォーマット）する

-RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)

DVD は初期化（フォーマット）するときに、録画方式を選びます。初期化（フォーマット）しないと、ダビングすることができません。（DVD には直接録画できません）

DVD-RW	● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。 ● あとで初期化しなおすことができます。（初期化すると録画内容は消去されます（p.128））
DVD-R	● お買い上げ時には初期化されていません。 初期化していない場合は Video 方式のみで使用できます。 他の方式で使用する場合は、使用前に録画方式を選んで初期化してください。 ● 一度初期化すると初期化しなおすことはできません。

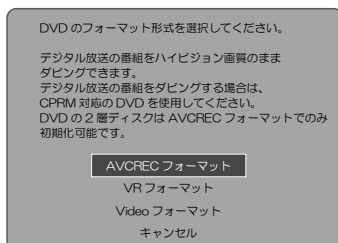
1 ディスクを入れる

2 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定を押す

3 ▲ / ▼でお好みの録画方式を選び、決定を押す

DVD のフォーマット形式を選択してください。

デジタル放送の番組をハイビジョン画質のまま
ダビングできます。
デジタル放送の番組をダビングする場合は、
CPRM 対応の DVD を使用してください。
DVD の２層ディスクは AVCREC フォーマットでのみ
初期化可能です。

AVCREC フォーマット
VR フォーマット
Video フォーマット
キャンセル

☞ **デジタル放送をダビングするときは**
CPRM 対応ディスクを使って、VR または AVCREC™ 方式で初期化してください。

☞ **本機で２層ディスク（DVD-R DL）を使う場合は**
AVCREC™ 方式でのみ、初期化できます。

☞ **初期化を中止するときは**
“キャンセル”を選び、決定を押してください。

● “初期化中”の表示が消えたら、初期化完了となりますので、録画・ダビングが可能です。

DVD の録画方式（AVCREC™、VR、Video）について

ディスクを初めて使うときに、録画方式（AVCREC™、VR、Video）を選んでから使用します。

AVCREC™ 方式 -RW (AVC) -R (AVC)	● デジタル放送をハイビジョン画質で記録できる方式です。 ● CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10」（コピー９回＋移動１回）番組のダビングができます。 ● ファイナライズ後は AVCREC™ 方式対応のプレーヤー / レコーダーで再生できます。
VR 方式 （DVD ビデオレコーディング規格） -RW (VR) -R (VR)	● DVD レコーダーの基本記録方式です。 ● CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10」（コピー９回＋移動１回）番組のダビングができます。 ● ファイナライズ後は VR 方式対応のプレーヤー / レコーダーで再生できます。
Video 方式 （DVD ビデオ規格） -RW (Video) -R (Video)	● 市販の DVD-Video と同じ記録方式で、他の機器との再生互換性が高い方式です。 ● 「制限なしに録画可能」番組のみダビングでき、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機では DVD-Video と同様の扱いとなり、一般の DVD 機器で再生できます。 ● デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10」（コピー９回＋移動１回）番組のダビングはできません。

SD カードの準備

SD カードを入れる

本機では SD カードに記録された JPEG ファイルを再生できます。また、AVCHD 方式の動画を HDD へダビングできます。

SD カードを取り出す

SD カードの中央部分を押してロックをはずし、まっすぐに引き出してください。

SD カード内のフォルダ構造について

- 表示可能な「JPEG 形式静止画ファイル」のフォルダ階層は、最大 9 階層ですが、フルパス名（ファイルの所在を示すフォルダ名とファイル名をあわせたもの）の文字数は、最大 245 文字 (半角) です。
- ファイル名やフォルダ名を変更すると、静止画／動画の再生ができなくなることがあります。

SD カードについて

- ＳＤカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵した、ほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

表面

裏面

- マルチメディアカードは使用できません。
- メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。
- SD メモリーカードによっては、本機で動作しない場合があります。
- 本機は 2GB までの SD メモリーカードおよび 32GB までの SDHC メモリーカード、64GB 以上の SDXC メモリーカードの動作を確認しています。
- micro ＳＤメモリカードをご利用の場合は、ＳＤメモリーカード変換アダプターに装着してご使用ください。

ご注意

- SD カードは精密機器です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- SD カードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。SD カードを加工したり、分解したりしないでください。
- SD カードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。
- SD カードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。
- SD カードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。SD カードのデータが破壊されることがあります。

録画の前に

録画するメディアを選ぶ

下記の表を参照のうえ、目的に合ったメディアを選んでください。

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

- ブルーレイディスクに録画するときは、内蔵 HDD に録画してから、ブルーレイディスクにダビングすることをおすすめします。

番組の録画制限	HDD	HDD(iVDR) ※1	BD-RE / BD-R ※2	-RW (VR) / -R (VR)	-RW (AVC) / -R (AVC)	-RW (Video) / -R (Video)
制限なしに録画可能	○	○	○	×	×	×
1 回だけ録画可能	○	○	○			
ダビング 10	○	○※3	○※3			
録画禁止	×	×	×			

○：できる

×：できない

※ 1　以下の場合は、カセット HDD に予約しても、HDD に代理録画されます。

- 録画可能なカセット HDD を挿入していない
- カセット HDD に十分な残量がない

※ 2　以下の場合は、BD-RE / -R に予約しても、HDD に代理録画されます。

- 録画可能なディスクが入っていない
- ディスクに十分な残量がない

※ 3　ダビング 10 の番組をカセット HDD、BD-RE / -R に直接録画すると、コピーワンスタイトルになります。（移動はできます）

ご注意

- DVD には直接録画できません。
- ケーブルテレビ（CATV）、スカパー！、WOWOW などで録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、ケーブルテレビのホームターミナル／セットトップボックス経由で「ダビング 10（コピー 9 回＋移動 1 回）」番組を録画する場合は、「1 回だけ録画可能」番組として録画されます。
  外部入力（L1）から HDD に録画したコピー制限のあるタイトルを DVD にダビングする場合は、CPRM 対応の DVD-RW（VR）/ DVD-R（VR）を使用してください。
  外部入力（L1）からコピー制限のある番組をカセット HDD に録画する場合、または HDD に録画したコピー制限のあるタイトルをカセット HDD にダビングする場合は、セキュア対応のカセット HDD（iVDR-S）を使用してください。
  なお、コピー制限の有無にかかわらず、外部入力（L1）から HDD やカセット HDD に録画されたタイトルを DVD-RW（AVCREC™）/ DVD-R（AVCREC™）にダビングすることはできません。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- HDD またはカセット HDD に録画中、「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を停止します。
- BD-RE または BD-R に録画中、「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画可能な状態となると、録画を再開します。
- 録画モードと録画時間については、（p.77）をご覧ください。
- 音声、字幕による録画の制限については、（p.79）をご覧ください。
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画モード（画質）とおよその録画時間について

録画モードとは画質のことで、画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けます。

HDD

録画モード		BIV-R521 (500GB)	BIV-R1021 (1TB)	記録される画質
TS	地上デジタル (HD 放送：17Mbps)	約 65 時間	約 130 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル (HD 放送：24Mbps)	約 46 時間	約 92 時間	
	地上 / BS / CS デジタル (SD 放送：12Mbps)	約 92 時間	約 184 時間	
スカパー！プレミアムサービス録画	スカパー！プレミアム 放送	約 120 時間 (約 65 ～ 150 時間)	約 240 時間 (約 130 ～ 300 時間)	
	スカパー！プレミアム放送 (3D コンテンツ)	約 75 時間	約 150 時間	
	スカパー！ SD 放送	約 205 時間 (約 130 ～ 390 時間)	約 410 時間 (約 260 ～ 780 時間)	
AF	2 倍モード	約 85 時間	約 171 時間	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質
AN	3 倍モード	約 128 時間	約 257 時間	
AS	4 倍モード	約 183 時間	約 367 時間	
AL	5.5 倍モード	約 251 時間	約 504 時間	
AE	12 倍モード	約 543 時間	約 1089 時間	
XP	1 時間モード	約 115 時間	約 231 時間	標準画質
SP	2 時間モード	約 230 時間	約 461 時間	
LP	4 時間モード	約 462 時間	約 925 時間	
EP	6 時間モード	約 680 時間	約 1363 時間	
	8 時間モード	約 910 時間	約 1823 時間	

HDD(iVDR)

録画モード		iVDR (320GB)	iVDR (500GB)	iVDR (1TB)	記録される画質
TS	地上デジタル (HD 放送：17Mbps)	約 41 時間	約 65 時間	約 130 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル (HD 放送：24Mbps)	約 29 時間	約 46 時間	約 92 時間	
	地上 / BS / CS デジタル (SD 放送：12Mbps)	約 59 時間	約 92 時間	約 184 時間	
XP	1 時間モード	約 74 時間	約 116 時間	約 232 時間	標準画質
SP	2 時間モード	約 147 時間	約 231 時間	約 462 時間	
LP	4 時間モード	約 296 時間	約 463 時間	約 927 時間	
EP	6 時間モード	約 436 時間	約 682 時間	約 1365 時間	
	8 時間モード	約 584 時間	約 912 時間	約 1825 時間	

メモ

- HDD に録画モードを AF ～ AE にして録画する場合、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。その場合、録画モードを TS に切り換えて録画されます。（録画終了後、HDD に空き容量があるときの電源「切」時に設定した録画モードに変換されます。(p.125)）
- カセット HDD へデジタル放送を直接録画する場合の録画モードは TS のみになります。AF ～ AE はダビング時のみ選択可能です。
- HDD、カセット HDD、BD-RE / -R へ外部入力(L1)を直接録画する場合の録画モードは、XP ～ EP のみとなります。
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画の前に・つづき

BD-RE BD-R

録画モード		1 層（25 GB）	片面 2 層（50 GB）	BDXL 片面 3 層（100GB）	記録される画質
TS	地上デジタル（HD 放送：17Mbps）	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル（HD 放送：24Mbps）	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	
	地上 / BS / CS デジタル（SD 放送：12Mbps）	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 17 時間 20 分	
AF	2 倍モード	約 4 時間	約 8 時間	約 16 時間	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質
AN	3 倍モード	約 6 時間	約 12 時間	約 24 時間	
AS	4 倍モード	約 9 時間	約 18 時間	約 36 時間	
AL	5.5 倍モード	約 12 時間	約 24 時間	約 49 時間	
AE	12 倍モード	約 26 時間	約 53 時間	約 107 時間	
XP	1 時間モード	約 5 時間 15 分	約 11 時間	約 22 時間	標準画質
SP	2 時間モード	約 10 時間 30 分	約 22 時間	約 44 時間	
LP	4 時間モード	約 21 時間	約 44 時間	約 88 時間	
EP	6 時間モード	約 32 時間	約 66 時間	約 132 時間	
	8 時間モード	約 43 時間	約 88 時間	約 176 時間	

-RW (VR) -RW (Video) -RW (AVC) -R (VR) -R (Video) -R (AVC) ※

録画モード		1 層（4.7 GB）	片面 2 層（8.5 GB）	記録される画質
AF	2 倍モード	約 42 分	約 1 時間 20 分	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質
AN	3 倍モード	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
AS	4 倍モード	約 1 時間 40 分	約 3 時間 5 分	
AL	5.5 倍モード	約 2 時間 10 分	約 4 時間 10 分	
AE	12 倍モード	約 5 時間	約 9 時間	
XP	1 時間モード	約 1 時間	—	標準画質
SP	2 時間モード	約 2 時間		
LP	4 時間モード	約 4 時間		
EP	6 時間モード	約 6 時間		
	8 時間モード	約 8 時間		

※ ディスクにより選べる録画モードが異なります。
-RW (AVC) / -R (AVC) の場合：　AF ～ AE
-RW (VR) / -R (VR) または -RW (Video) / -R (Video) の場合：　XP ～ EP

メモ

- 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しております。
- 録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。
- 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の SD 放送は、録画モード TS、AF ～ AE で録画しても標準画質で録画されます。
- 番組によって転送容量が異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- スポーツ、音楽ライブ番組などの動きや明るさの変化が激しい番組の場合、録画モードを AE などにして録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- EP は、“本体設定” 画面の “録画設定” → “EP モード” の設定によって録画できる時間が変わります。（p.77、143）
- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングするタイトルの合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- １番組あたりの連続録画可能時間は、最大８時間です。（連続録画時間が８時間になると、録画が自動的に停止します。）
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

二カ国語（二重音声）、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について

録画メディア （ ）はダビング	HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R （HDD(iVDR) -RW (AVC) -R (AVC)）	HDD BD-RE BD-R （HDD(iVDR) -RW (VR) -R (VR)）
録画モード	TS	AF ～ AE	XP ～ EP
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生時に音声切換で音声が選べます。		
マルチ番組の映像・音声	複数の映像・音声が記録されます。（再生時にカメラアングル切換や音声切換で映像・音声が選べます。）	1 つの映像・音声だけが記録されます。 **現在放送中の番組を録画するとき** 視聴中の映像・音声が記録されます。 **番組表（G ガイド）から録画予約で録画するとき、かんたんダビングするとき** “詳細設定”画面、“かんたんダビング”で選んだ映像・音声が記録されます。 **日時指定予約で録画するとき、ダビングリストからダビングするとき** 映像 1・音声 1 が記録されます。 （再生時に映像や音声の切り換えはできません。）	
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。		ステレオ音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録されます。※2 （再生時に字幕切換で字幕表示の入／切ができます。）	HDD 字幕の情報が記録されます※2、3 BD-RE BD-R 字幕の情報は記録されません。※3	字幕の情報は記録されません。

■ 外部入力の二重音声を録画すると・・・

録画メディア （ ）はダビング	HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R （-RW (VR) -R (VR)）	（-RW (Video) -R (Video)）
録画モード	XP ～ EP	XP ～ EP
二重音声※4	主音声／副音声の両方が記録されます。※1 （再生時に音声切換で音声が選べます。）	“二カ国語音声”で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。

※1 “録画設定” − “録画音声（XP）”の設定を“PCM”にして録画モード XP でディスクに録画、またはダビングするときは、“録画設定” − “二カ国語音声”で選択している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）
また、-RW (Video)、-R (Video) へのダビング時も“二カ国語音声”で選択している音声だけが記録されます。

※2 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※3 録画中は字幕の表示ができません。

※4 外部入力の音声を二重音声として記録する場合は、必ず“録画設定” − “外部入力音声”の設定を“二カ国語”にしてください。設定が“ステレオ”になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

録画の前に・つづき

同時操作について

■ 再生中に、録画予約を実行できるかどうか

再生しているメディアの種類	録画予約しているメディア	
	HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R
HDD HDD(iVDR)	◎※1	○※1
BD-RE BD-R	◎※1	○
-RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR)	◎	×※2
BD-Video	○※3	×※2
-RW (Video) -R (Video) DVD-Video 音楽用CD	◎	×※2
BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG)	○	×※2
SD (JPEG)	○	○
DVD (AVCHD)	○※3	×※2

◎：できる

○：できる（再生は録画開始２分前に停止します）

×：できない

※１　外部入力の録画予約の場合、3D 再生のみ録画開始２分前に停止します。

※２　録画予約は HDD へ代理録画されます。

※３　外部入力の録画予約の場合のみ、再生は録画開始２分前に停止します。

■ 番組の録画中に再生できるメディア

録画しているメディアと録画モードの種類（1 番組）		再生するメディアの種類			
		HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video 音楽用CD	BD-Video DVD (AVCHD)	BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG) SD (JPEG)
HDD	TS	◎	○	○	×
	AF ～ AE	◎	○	○※4	×
	XP ～ EP	◎	○	×	×
HDD(iVDR)	TS	◎	○	○	×
	XP ～ EP※5	◎	○	×	×
BD-RE BD-R	TS、AF ～ AE、XP ～ EP	○	×	×	×

録画しているメディアと録画モードの種類（2 番組）				再生するメディアの種類			
1 番組目		2 番組目		HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video 音楽用CD	BD-Video DVD (AVCHD)	BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG) SD (JPEG)
HDD	TS	HDD	TS	◎	○	○	×
			AF ～ AE	◎	○	○※4	×
			XP ～ EP	◎	○	×	×
		HDD(iVDR)	TS	◎	○	○	×
			XP ～ EP※5	◎	○	×	×
		BD-RE BD-R	TS、AF ～ AE、XP ～ EP	◎	×	×	×
	AF ～ AE	HDD	AF ～ AE	◎※4	○※4	○※4	×
		HDD(iVDR)	TS	◎	○	○※4	×
		BD-RE	TS	◎	×	×	×
		BD-R	AF ～ AE	◎※4	×	×	×
	XP ～ EP	HDD(iVDR)	TS	◎	○	×	×
		BD-RE BD-R	TS	◎	×	×	×
HDD(iVDR)	TS	HDD(iVDR)	TS	◎	○	○	×
			XP ～ EP※5	◎	○	×	×
		BD-RE BD-R	TS、AF ～ AE、XP ～ EP	◎	×	×	×
	XP ～ EP※5	BD-RE BD-R	TS	◎	×	×	×

◎：できる（追っかけ再生も可能）
○：できる（追っかけ再生は不可）
×：できない
※４　HDD に録画モードを AF ～ AE に設定していても一時的に TS で録画されます。電源「切」時に設定された録画モードに変換します。（２番組同時録画中の場合は、１番組または２番組が一時的に録画モード TS で録画されます。）
※５　カセット HDD への録画モード XP ～ EP での録画は、外部入力のみ可能です。

ご注意

- 録画中はダビングできません。
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

メモ

録画モードを AF ～ AE で録画中に、再生などを行うとメッセージが表示される場合があります。
- メッセージが表示された場合、録画モードを TS に切り換えて録画されます。録画が終わると、電源「切」時に設定された録画モードに変換します。(録画モード XP ～ EP で録画中の場合、3D 再生は 2D で再生されます)

☞ **録画モードの変換が終了しているか確認するには**
(p.125)

録画の前に・つづき

■ タイトルのダビング中に再生できるメディアと実行できる録画予約

ダビング方向とダビング速度		再生			録画予約の実行	
		HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) BD-Video -RW (Video) -R (Video) DVD-Video DVD (AVCHD) 音楽用CD	BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG) SD (JPEG)	HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R
HDD ➡ HDD(iVDR)	高速	○※5	○	×	○	×※6
HDD(iVDR) ➡ HDD	等速	×	×	×	×	×
HDD HDD(iVDR) ➡ BD-RE BD-R	高速	○※5	×	×	○	×※6
HDD HDD(iVDR) ➡ -RW (AVC) -R (AVC)	等速	×	×	×	×	×
HDD HDD(iVDR) ➡ -RW (VR) -R (VR)	等速	×	×	×	×	×
HDD ➡ -RW (Video) -R (Video)	等速	×	×	×	×	×
BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) ➡ HDD	高速	○	×	×	○	×※6
BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) ➡ HDD	等速	×	×	×	×	×
-RW (VR) -R (VR) ➡ HDD	等速	×	×	×	×	×
DVD (AVCHD) SD (AVCHD) ➡ HDD	高速	○	×	×	○	×※6

○：できる
×：できない
※５ 「移動」の場合は、ダビング元の再生はできません。
※６ 録画予約は HDD へ代理録画されます。

録画する

視聴中の番組を録画する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R

準備

- カセットHDDに録画するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

1 HDD、DISC または iVDR を押して、録画するメディアを選ぶ

2 地デジ、BS/CS を押して、録画したい放送を選ぶ

3 ▲チャンネル▼、1 ～ 12 または Ch番号入力 で録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画 を押して、録画を始める

- 2回以上押すと、ワンタッチタイマー録画になります。（本ページ「指定した時間で録画を終了するには（ワンタッチタイマー録画）」）

録画を停止するときは

① ■停止 を押します。

- 確認メッセージが表示されますので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押します。
- 確認メッセージ表示中に ■停止 を押しても、録画を停止することができます。

2番組同時録画中／同時録画再生中に録画を停止するときは

① ■停止 を押します。

- 録画中のチャンネル一覧が表示されます。

② ▲ / ▼で録画停止したいチャンネルを選び、決定 を押します。

③ 確認画面で“はい”を選び、決定 を押します。

- 確認メッセージ表示中に ■停止 を押しても、録画を停止することができます。

ご注意

- 新品（未使用）のディスクやカセットHDDを挿入すると、初期化（フォーマット）画面が表示されますので、初期化してからお使いください。初期化しないと、録画・ダビングができません。（DVDには直接録画できません。DVDについては「■ DVD-RW / DVD-R」（p.70）をご覧ください）
- カセットHDDに録画モードTS以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

メモ

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、画面表示 を押して画面表示を表示すると確認できます。

録画モード（画質）を変更するには

HDD BD-RE BD-R

録画を始める前に、あらかじめ録画モード（画質）を設定してください。録画している番組の録画モードを変更することはできません。

1 メニュー を押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼で“録画モード”を選び、決定 を押す

3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定 を押す

ご注意

- 外部入力（L1）の画質は、標準画質のみ設定可能です。
- カセットHDDにデジタル放送を録画する場合は、録画モードは変更できません。
- 2番組同時録画中の録画モードについては（p.84）をご覧ください。

指定した時間で録画を終了するには（ワンタッチタイマー録画）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。本ページ「視聴中の番組を録画する」の手順 4 で、録画 を2回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。（2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します）

- 最大4時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻したいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か 録画 を押してください。
- 録画終了後は、確認メッセージが表示されます。確認画面を表示してから1分経過すると自動的に電源が切れます。
- 録画時間を設定しない場合は、番組の終了時刻になると自動的に録画を停止します。

ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- 1番組だけ録画中の場合（本ページ「録画を停止するときは」をご覧ください）
- 2番組同時録画中／同時録画再生中の場合（本ページ「2番組同時録画中／同時録画再生中に録画を停止するときは」）をご覧ください）

7 録画する

録画する・つづき

2番組を同時に録画する

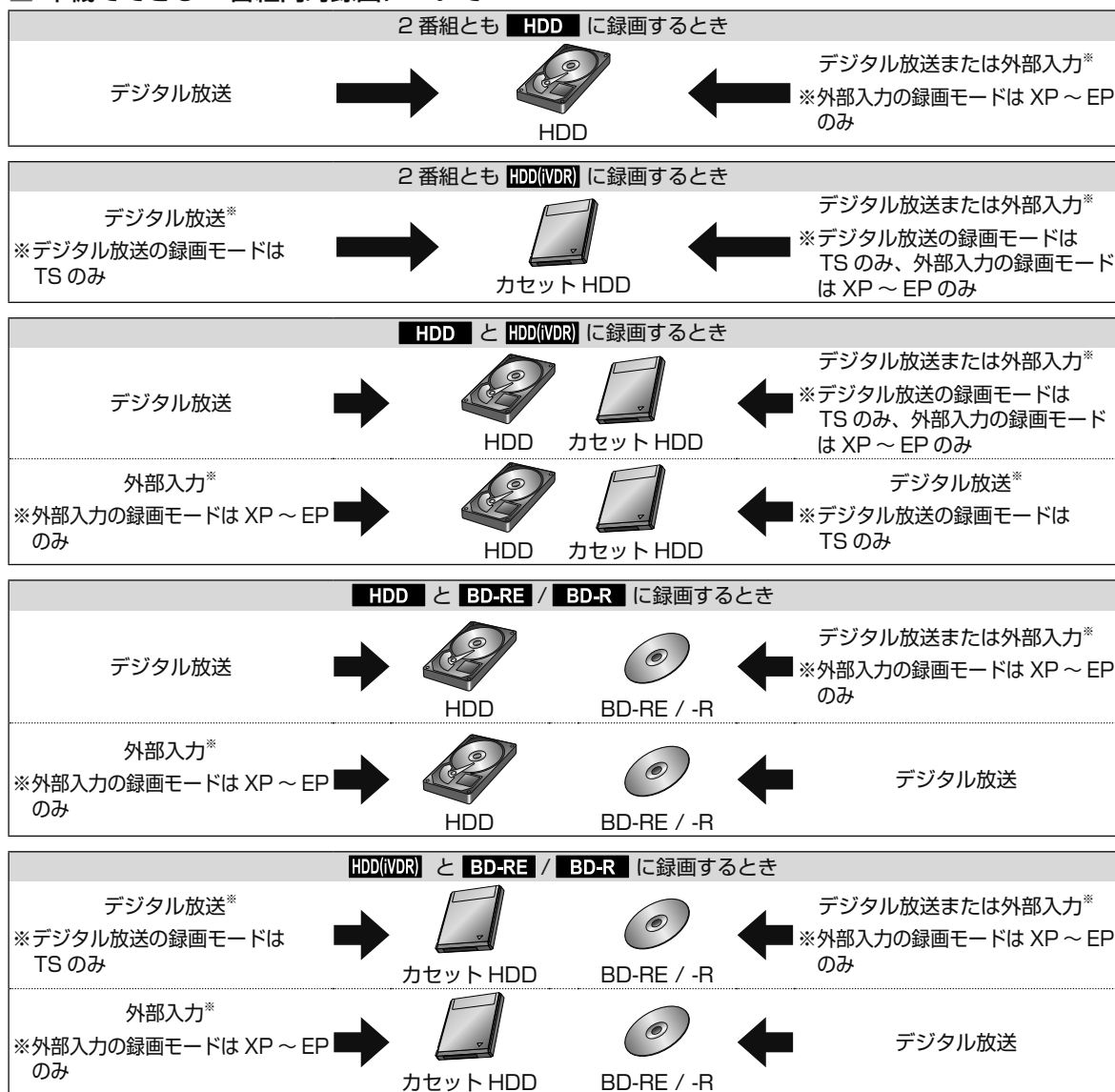
本機では、デジタル放送をハイビジョン画質で2番組同時に録画、またはデジタル放送と外部入力と合わせて2番組同時に録画することができます。

準備
- 1番組目を録画しておく

1 さらに追加する番組を録画する

- 視聴中の番組を録画するときは（p.83）
- 番組表(Gガイド)から録画予約するときは（p.89～93）
- 日時を指定して録画予約するときは（p.95）

■ **同時録画を停止するには…**
「2番組同時録画中／同時録画再生中に録画を停止するときは」（p.83）をご覧ください。

■ 本機でできる2番組同時録画について

ご注意

- 2番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることができません。
- 再生中は放送やチャンネル切換はできません。
- 録画モードXP～EPで、デジタル放送2番組をHDDに予約し、2番組の録画が重なった場合は、後の予約をTSモードで録画します。そして電源が「切」のときに、予約時に設定したXP～EPモードに変換します。なお、外部入力の録画予約の場合は、2番組とも録画モードXP～EPでの同時録画はできません。
- 2番組を同時に録画する場合、番組表（Gガイド）や日時指定予約または 録画 を押して、同じチャンネルを録画することはできません。
- カセットHDDに録画モードTS以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

メモ

- 本機では、デジタル放送2番組、またはデジタル放送と外部入力の各1番組を同時録画することができます。（外部入力をHDDまたはカセットHDDとBD-RE / BD-Rに同時に録画することはできません）
- デジタル放送は、録画モードTS、AF～AEで同時録画ができます。ただし、カセットHDDへは録画モードTSでのみ録画ができます。
- 外部入力またはデジタル放送を録画モードXP～EPで録画する場合、デジタル放送の1番組は録画モードTSで録画してください。
- HDDに、デジタル放送を2番組、録画モードAF～AEで同時録画中にBD-Videoを再生すると、2番組とも録画モードTSで保存されます。それ以外の再生では1番組が録画モードTSで保存されます。（電源「切」時に設定されたAF～AEモードに変換します）
- 高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかにHDD/カセットHDDに2番組まで同時に録画予約することができます。ただし、HDDへの予約が録画モードAF～AE、XP～EPで、一方がXP～EPを含む場合、あとから始まる番組は録画モードTSで保存されます。（電源「切」時に設定された録画モードに変換します）」
- カセットHDDを使うダビング中にカセットHDDへ2番組同時録画すると、2番組目はHDDへ代理録画されます。

他の機器の映像を録画する

本機の入力端子（L1）につないだ他の機器の映像を、本機を経由して録画するときは、本機を外部入力に切り換えます。
他の機器の操作については、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

準備

- 本機とケーブルテレビをつないでおく（p.29）
- “外部入力音声”を設定しておく（p.143）
- ケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスを録画したいチャンネルに合わせておく

1 外部入力に切り換える（p.66）

2 録画する

■ 録画のしかた（p.83）

■ 録画予約のしかた（p.95）

ご注意

- 予約開始時間までにケーブルテレビのホームターミナルまたはセットトップボックスの電源を入れ、録画したいチャンネルに合わせておいてください。電源が入っていないと録画できません。
- 2番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。

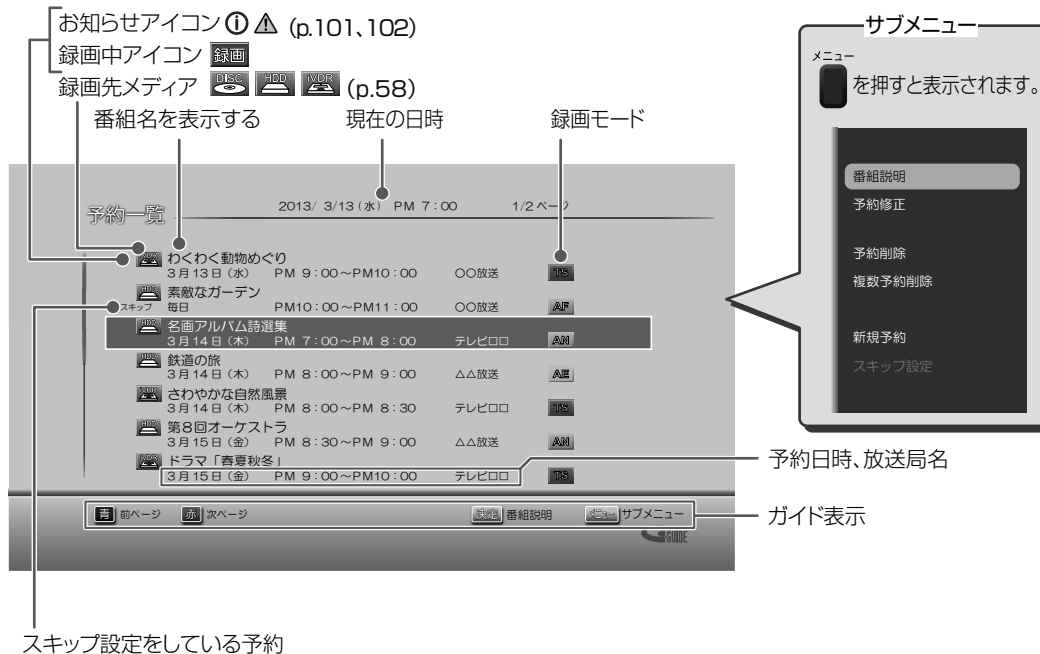
録画を予約する前に

予約一覧の見かた

予約一覧の見かた

- “予約一覧”画面を表示するには、

1 予約一覧 を押す

- スタートメニューから " 予約一覧 " を選ぶこともできます。

- 録画モードが TS の残量時間の表示は、BS デジタル放送（HD 放送）の場合の時間で表示されます。

番組表（G ガイド）の見かた

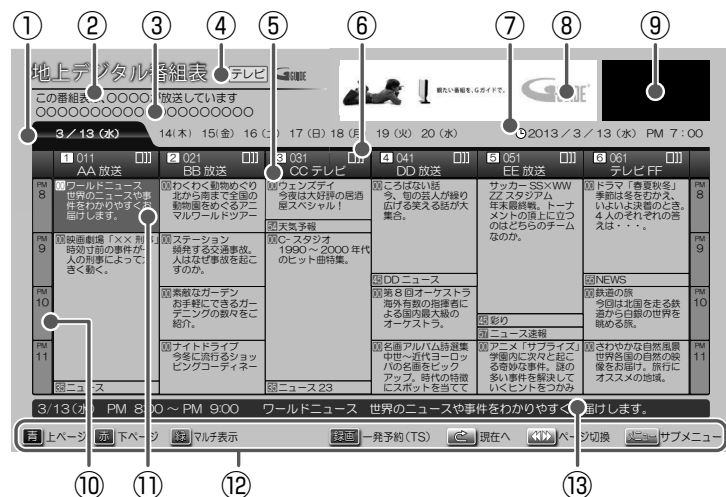
番組表（G ガイド）の受信については (p.55) をご覧ください。

番組表（G ガイド）の見かた

- 番組表（G ガイド）を表示するには、

1 番組表 を押す

2 地デジ または BS/CS を押して、お好みの放送の種類（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）を選ぶ

- BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります。

① 現在の日付から８日分の日付表示
② 放送局からのお知らせ
③ 広告詳細表示方法（広告詳細が表示可能な場合に表示されます）
④ 放送の種類／番組表（G ガイド）の表示対象
⑤ 放送局の３桁チャンネル番号／放送局のロゴ／放送局名
⑥ 折りたたみ表示（マルチチャンネルを非表示の場合に表示されます）
⑦ 現在の日時
⑧ 広告
⑨ 現在視聴中の放送局の映像
⑩ 時間
⑪ 選択中の番組
⑫ ガイド表示
⑬ 選択中の番組の放送日時、簡単な情報

- デジタル放送の中には、1 つの放送局で複数の番組を放送できる、マルチチャンネル放送があります。 緑 で、マルチチャンネルの表示 (マルチ表示) ／非表示 (1 CH 表示) を切り換えることができます。（マルチチャンネル放送を行なっていない放送局や、“チャンネルスキップ設定”で“スキップ”に設定することでマルチチャンネル表示でなくなっている放送局は、 緑 で切り換えることはできません）
- サブメニューから、日付の切り換え、番組検索、注目番組表示、番組表（G ガイド）表示サイズ (チャンネルサイズ) の切り換え、文字サイズの切り換え、表示対象となる放送の種類の切り換え、録画モード設定、予約一覧表示ができます。サブメニューを表示するには メニュー を押します。
- 別の日の番組表（G ガイド）に切り換えるには、 メニュー を押して“日付切り換え”を選ぶか、ご希望の日付けに切り換わるまで 青 または 赤 を長押ししてください。
- 番組表（G ガイド）から録画予約した番組には“ 🕒 ”が表示されます。(p.89)（番組表（G ガイド）に“ 🕒 ”を表示するスペースが無い場合は、代わりに赤い線 (｜) が表示されます。毎週／毎日録画の番組の場合は、1 回目の予約にだけ表示されます）
- 番組表（G ガイド）の表示対象は、テレビ／ラジオ／データの中から選べます。（ラジオ／データ放送が存在しない場合は選ぶことはできません）
- d を押すと広告の詳細が表示されます。広告詳細表示画面では、左右キーで広告の切換（広告が複数ある場合のみ）、▲ / ▼で広告内容のスクロール (広告内容が 1 ページに収まっていない場合のみ) を行なえます。 戻る を押すと広告詳細表示を終了します。

番組の詳細内容を確認するには

番組表（G ガイド）で確認したい番組を選んだ状態で、 決定 または 番組説明 を押します。
表示を消すには、“閉じる”を選んで 決定 を押します。

現在の番組を表示するには

番組表を再度表示すると、前回選んでいた番組を選んだ状態で番組表が表示されます。

- 可変リプレイ を押すと、現在の番組表に切り換えます。

8
録画予約する

録画を予約する前に・つづき

番組のジャンルアイコン一覧

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
(例) 1080i 16:9	番組の映像信号情報 上：信号方式 下：画面の縦横比	D 出力	デジタル出力禁止	4才〜 〜 20才〜	4 歳から視聴可能 〜 20 歳から視聴可能	●●● 信号	マルチ番組 (映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)
¥ 有料	有料放送 未契約	コピー 制限	ダビング 10 または 1 回だけ録画可能番組	モノラル	モノラル音声	ステレオ	ステレオ音声
¥ 済	有料放送 契約済み	A コピー	アナログコピー 禁止	主+副	主＋副 音声	サラウンド	マルチチャンネル音声
D コピー	デジタルコピー 禁止	A 出力	アナログ 出力 禁止			字幕	字幕有り

メモ

- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表（G ガイド）を開いてください。
- 番組表（G ガイド）を表示したとき、番組情報が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合、実際の放送と番組表（G ガイド）の内容が異なることがあります。
- 本機の電源が「切」（通電状態）のとき、番組データを受信すると、本体前面の電源ランプが点灯します。このとき動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
- 番組表（G ガイド）の表示チャンネル数を 9 局以上にしたときは、HDMI ケーブルでつないだ高精細テレビでご覧ください。

録画予約する

ワンタッチで録画を予約する（一発予約）

HDD

1 番組表を押す

2 地デジまたはBS/CSを押して、お好みの放送の種類

（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）を選ぶ

- BS/CSは押すたびに放送の種類が切り換わります。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約したい番組を選び、録画を押す

- HDD への録画予約が確定し、選んだ番組に“ ”が表示されます。
  （番組表（G ガイド）に“ ”を表示するスペースが無い場合は、代わりに赤い線 (｜) が表示されます）
- 録画を使った一発予約では、録画先は自動的に HDD に、また録画モードは番組表（G ガイド）のサブメニューの " 録画モード設定 " で設定されているモードに設定されます。
- 放送中の番組を選んだ場合、ただちに録画が始まり、予約も登録されます。

通常画面に戻るときは戻るを何回か押す

パスワードの入力画面が表示されたときは「デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する」（p.65）をご覧ください。

- 他の番組も予約したいときはこの手順を繰り返します。

録画モードを変更したいときは

① 番組表（G ガイド）を表示中にメニューを押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲ / ▼で“録画モード設定”を選び、決定を押す
③ ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

■ さらに詳細な設定をしたいときは
「好みの設定で予約する」（p.92）の手順 3 以降をご覧ください。
■ 予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは
（p.96 ～ 98）

4 予約の設定が終わったら、戻るを押して通常画面に戻す

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約の録画は実行されます）

8 録画予約する

メモ

- スタートメニュー画面の“番組表から予約”からも同じ操作が行えます。

予約が重なったときは
「予約が重なったときは」（p.101）をご覧ください。

録画予約する・つづき

番組を検索して予約する

ジャンル、出演者、フリーワードから番組表（G ガイド）のデータを検索して、お好みの番組を探すことができます。

1 番組表 を押して、番組表(Gガイド)を表示する

（番組表(Gガイド)の見かたは（p.87）をご覧ください）

2 メニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

3 ▲ / ▼で“番組検索”を選び、決定 を押す

4 下記の手順で検索条件を設定する

検索条件　選択項目

① 検索方法を決める

- “検索方法”の欄が選択されている状態で 決定 を押すと、検索方法リストが表示されます。▲ / ▼でお好みの検索方法（ジャンル、出演者、またはフリーワード）を選び、決定 を押してください。

② 検索方法を絞り込む

ジャンルから番組を検索するとき

“ジャンル”の欄を選び 決定 を押すと、ジャンルリストが表示されます。“ジャンル項目”でジャンルを選んで 決定 を押し、“詳細ジャンル項目”でさらに条件を絞り込んで、決定 を押してください。

出演者から番組を検索するとき

“出演者”の欄を選び 決定 を押すと、頭文字リストが表示されます。頭文字を選んで 決定 を押すと、出演者名リストが表示されます。出演者名を選んで、決定 を押してください。

フリーワードから番組を検索するとき

“フリーワード”の欄を選び 決定 を押すと、文字入力画面が表示されます。キーワードを入力し、決定 を押してください。（文字入力の方法は「文字入力のしかた」（p.117）をご覧ください）

③ 日付を絞り込む

- ▼で“日付”の欄に移動し、決定 を押すと日付リストが表示されます。▲ / ▼でお好みの日付を選び、決定 を押してください。

④ 放送の種類を絞り込む

- ▼で“放送種別”の欄に移動し 決定 を押すと放送の種類（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）が表示されます。▲ / ▼でお好みの放送の種類を選び、決定 を押してください。

5 条件を設定し終えたら、▼で“検索開始”を選び、決定 を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

6 ▲ / ▼で予約したい番組を選ぶ

番組の詳細内容を確認するには

決定 または 番組説明 を押して、“番組説明”画面を表示してください。

今すぐ番組を見たいときは

検索結果の番組が放送中の場合は、決定 または 番組説明 を押して、番組説明”画面を表示してから◀ / ▶で“見る”を選び、決定 を押してください。

“一発予約”をするには

録画 を押してください。

- 選んだ番組に“ ”が表示されます。

お好みの設定で予約するには

決定 または 番組説明 を押して、“番組説明”画面を表示してから、「好みの設定で予約する」（p.92）の手順 4 以降を行ってください。

メモ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- 「ジャンル検索」、「出演者検索」で検索した場合と「フリーワード検索」で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。
- フリーワードには、スペースをはさんで、複数のワードを設定することもできます。この場合、入力した全ワードを含む番組を検索します。（例：お笑い　新人）
- 検索結果は最大 300 件までしか表示できません。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。

注目番組一覧から予約する

放送局おすすめの番組一覧から番組を選んで予約できます。

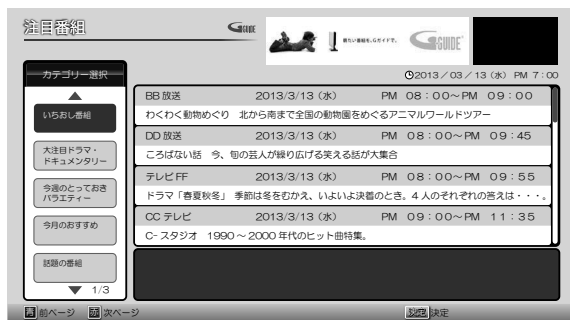
1 番組表 を押して、番組表(Gガイド)を表示する

（番組表（G ガイド）の見かたは （p.87）をご覧ください）

2 メニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

3 ▲ / ▼で“注目番組”を選び、 決定 を押す

- 注目番組一覧が表示されます。

4 ▲ / ▼でお好みのカテゴリーを選び、決定 を押す

5 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約したい番組を選ぶ

お好みの設定で予約するには

① 決定 または 番組説明 を押して、注目番組詳細画面を表示してから、◀ / ▶で“録画予約”を選び、決定 を押します。

- 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、“はい”を選び、決定 を押します。

② 「好みの設定で予約する」（p.92）の手順 5 ～ 10 を参照し、必要な設定を行なってください。
選んだ番組に“ 🕒 ”が表示されます。

“一発予約”をするには

① 録画 を押す

- 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、“はい”を選び、決定 を押します。
選んだ番組に“ 🕒 ”が表示されます。

録画予約する・つづき

好みの設定で予約する

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R**

番組表（G ガイド）から予約したい番組を選んで、8 日先までの番組を好みの設定で予約できます。

準備

- カセット HDD に録画するときは、カセット HDD を挿入しておく。
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

録画日を選ぶ

1 番組表 を押して、番組表(Gガイド)を表示する

- 番組表（G ガイド）の見かたは（p.87）をご覧ください

2 地デジ または BS/CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

- BS/CS は押すたびに放送の種類が切り換わります。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約したい番組を選び、 番組説明 または 決定 を押す

4 “録画予約”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

5 ▲ / ▼で“録画日”を選び、 決定 を押すと選択可能な録画日のリストが表示されるので、▲ / ▼でお好みの録画日を選び、 決定 を押す

録画先を選ぶ

6 ▲ / ▼で“録画先”を選び、 決定 を押すと、録画先のリストが表示されるので、▲ / ▼でお好みの録画先メディアを選び、 決定 を押す

フォルダを指定する

録画先が HDD または iVDR の場合、録画先のフォルダを指定することができます。

録画先が BD のときは、手順 **9** に進んでください。

7 ▲ / ▼で“フォルダ指定”を選び、 決定 を押す

8 ▲ / ▼でご希望のフォルダを選び、 決定 を押す

- “この番組名”を選ぶと、その番組名のフォルダを作成します。

メモ

- “この番組名”で作成されたフォルダは、次回“フォルダ指定”を選んだときにフォルダ一覧で表示されます。

録画モードを選ぶ

録画先が HDD または BD の場合、録画モードを選ぶことができます。

録画先が iVDR のときは、手順 10 に進んでください。

9 ▼で"録画モード"を選び、決定を押すと録画モードのリストが表示されるので、▲ / ▼でお好みの録画モードを選び、決定を押す

録画モードを TS 以外に設定したときは

記録する音声、字幕、映像を設定してください。

① ▼で"詳細設定"を選び、決定を押す

② ▲ / ▼で変更する項目を選び、決定を押す

③ ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

④ すべて設定し終えたら、▲ / ▼で"確定して前の画面へ"を選び、決定を押す

- 録画モードによって選べる項目は異なります。(p.79)

ディスクの容量に合わせて録画するときは

「ディスクの容量に合わせて録画する(ぴったり録画)」(p.94)をご覧ください。

10 すべて設定し終えたら、▲ / ▼で"予約する"に移動し、決定を押す

- 番組表（G ガイド）画面に戻ると、選んだ番組に" 🕒 "が表示されています。

予約が重なったときは

① 「予約が重なったときは」(p.101) をご覧ください。

他の番組を続けて予約するときは

① このあと、手順 3 ～ 10 を繰り返します。

予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは

① 「予約の確認・変更・削除や録画停止をする」(p.96 ～ 98) をご覧ください。

11 戻る を押して、通常画面に戻る

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約の録画は実行されます)

録画予約する・つづき

ディスクの容量に合わせて録画する（ぴったり録画）

HDD BD-RE BD-R

“録画モード”を“自動”に設定すると、ディスクの容量ぴったりに収まるように、自動的に画質を調節して録画します。

■ 録画先メディアがブルーレイディスクの場合

本機でディスクの容量を自動的に計算し、その容量に合わせて録画します。

■ 録画先メディアが HDD の場合

“録画モード”で“自動”を選んだあと、“録画モード自動設定”画面が表示されます。ダビングするときのブルーレイディスクや DVD の容量を選んでください。

1 ▲ / ▼で“自動”を選ぶ

2 ▶を押して、決定を押す

● “録画モード自動設定”画面が表示されます。

3 ▲ / ▼でディスクの容量を選び、決定を押す

● ダビングするときのディスクに合わせて、ディスク容量を選んでください。

HD画質	4.7GB	DVD-R（1 層）/DVD-RW（AVCREC フォーマット）
	8.5GB	DVD-R（2 層）（AVCREC フォーマット）
	25GB	BD-R（1 層）/BD-RE（1 層）
	50GB	BD-R（2 層 /3 層 /4 層）/ BD-RE（2 層 /3 層）
標準画質	4.7GB	DVD-R（1 層）/DVD-RW（VR フォーマット）

デジタル放送の番組を番組表（G ガイド）から予約した場合の自動追跡について

デジタル放送の番組を番組表（G ガイド）から予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。

（例）

- 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
- 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
- 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

● 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1 回だけの録画の場合は 3 時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各 3 時間までとなります。

野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。（イベントリレー）

（例）

● 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表（G ガイド）から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK E テレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。

● 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」（p.101）の例に従って録画されます。

● 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表（G ガイド）から予約した場合だけ有効となります。

日時を指定して予約する（日時指定予約）

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R

番組表（G ガイド）が利用できない番組を予約したいときに、手動で約 1 カ月先までの番組を予約できます。

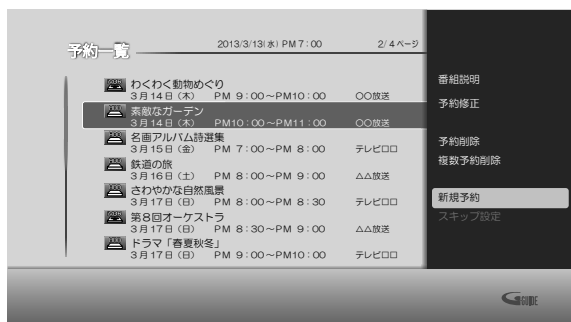
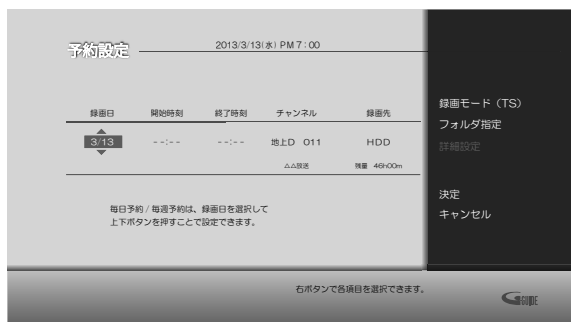
準備
- カセット HDD に録画するときは、カセット HDD を挿入しておく
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

1 予約一覧 を押して、“予約一覧”画面を表示する

（予約一覧の見かたは（p.86）をご覧ください）

2 メニュー を押して、“予約一覧”のサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で“新規予約”を選び、決定 を押す

- “予約設定” 画面が表示されます。

4 ◀ / ▶で“録画日”、“開始時刻”、“終了時刻”、“チャンネル”または“録画先”を選び、▲ / ▼で設定する

- 昼の 12 時は “PM0:00” に、夜の 12 時は “AM0:00” に合わせます。

毎週／毎日録画をするときは

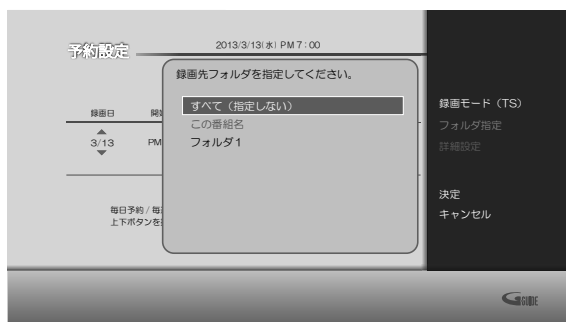
① “録画日” で “毎日”、“月～土”、“毎週水” などが表示されるまで▼を繰り返し押します。

5 ▶でサブメニューに移動する

6 ▲ / ▼で“録画モード”を選び、決定 を押すと、録画モードのリストが表示されるので、▲ / ▼でお好みの録画モードを選び、決定 を押す

- 録画モードは、録画先が HDD または BD の場合のみ設定できます。
（外部入力から録画するときのみ、カセット HDD でも録画モードを設定できます。）

7 ▲ / ▼で“フォルダ指定”を選び、決定 を押すとフォルダリストが表示されるので、▲ / ▼で希望のフォルダを選び、決定 を押す

- フォルダ指定は、録画先が HDD またはカセット HDD の場合のみ設定できます。（p.92）
- 日時指定予約のときは、“この番組名” は選べません。

8 ▲ / ▼で“決定”に移動し、決定 を押す

- 予約が確定し、“予約一覧” 画面に戻ります。

予約が重なったときは

① 「予約が重なったときは」（p.101）をご覧ください。

他の番組を続けて予約するときは

① 手順 3 ～ 8 を繰り返します。

9 戻る を押して通常画面に戻す

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約の録画は実行されます）

メモ
- 録画可能時間は、最大8時間です。

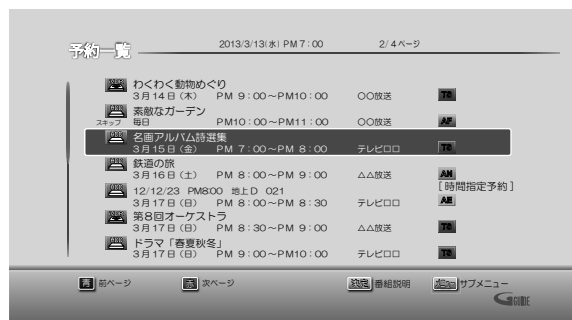
8 録画予約する

予約の確認・変更・削除や録画停止をする

設定済みの予約を確認する

1 予約一覧 を押して、“予約一覧”画面を表示する

（予約一覧の見かたは（p.86）をご覧ください）

（予約一覧の見かたは（p.86）をご覧ください）

別のページを表示するときは

① 青（前ページ）、赤（次ページ）を押します。

- 番組表(G ガイド)から設定した予約については、予約したタイトルを選び 決定 を押す、またはサブメニューから“番組説明”を選ぶことで、予約した番組の内容を確認することができます。（手動で入力した予約や、スキップ設定されている予約は確認できません）

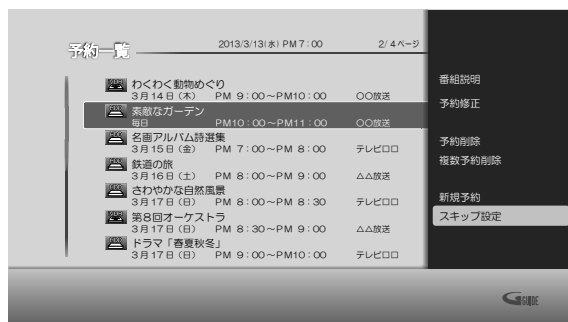
2 確認が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

一時的に毎週／毎日録画をやめる（予約スキップ）

毎週／毎日などの周期予約で、周期予約の設定はそのままに次回の録画予約だけスキップするよう設定できます。
すでにスキップ設定された予約のスキップ設定を解除する場合も手順は同じです。

1 予約一覧 を押して、“予約一覧”画面を表示する

2 ▲ / ▼でスキップの設定をしたい、または設定を解除したい予約を選び、メニュー を押す

3 ▲ / ▼で“スキップ設定”を選び、決定 を押す

- スキップを設定した予約に“スキップ”と表示され、次回の予約がスキップされます。
- スキップを解除した予約からは“スキップ”表示が消え、次回からは周期予約が再開されます。

4 戻る を押して通常画面に戻す

ご注意

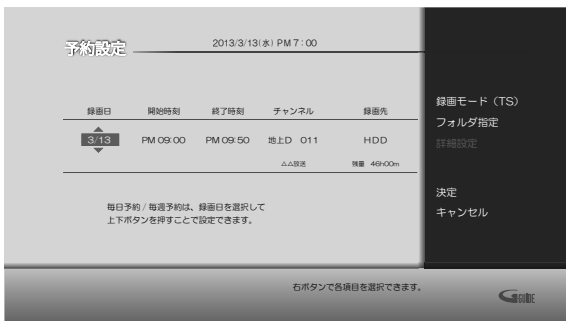
- 予約のスキップ設定は、1 回スキップされると自動的にスキップ解除されます。

予約一覧から予約の内容を変更する

1 予約一覧 を押して、"予約一覧"画面を表示する

2 ▲ / ▼で変更したい予約を選び、メニュー を押す

3 ▲ / ▼で "予約修正"を選び、 決定 を押す

4 ◀ / ▶で変更したい項目へ移動し、▲ / ▼で内容を変更する

5 ▶ / ▲で"録画モード"へ移動し、決定 を押す

- 録画モードは、録画先が HDD または BD の場合のみ設定できます。

録画モードを TS 以外に設定したときは

記録する音声、字幕、映像を設定してください。

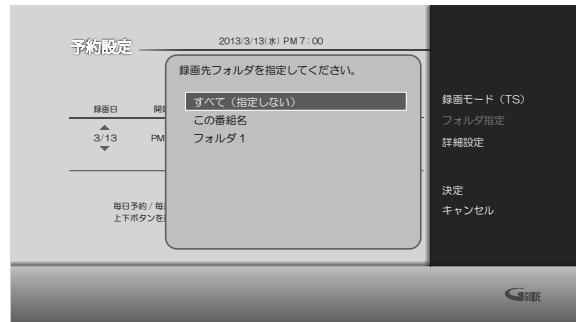
① ▲ / ▼で "詳細設定" を選び、決定 を押す

② ▲ / ▼で変更する項目を選び、◀ / ▶で選ぶ

③ すべて設定し終えたら、決定 を押す

- 録画モードによって選べる項目は異なります。(p.79)

6 ▲ / ▼で"フォルダ指定"を選び、決定 を押すとフォルダリストが表示されるので、▲ / ▼で希望のフォルダを選び、決定 を押す

- フォルダ指定は、録画先が HDD またはカセット HDD の場合のみ設定できます。(p.92)
- 番組表(G ガイド)からの予約のとき、"この番組名" を選ぶと、その番組名のフォルダを作成します。

7 ▼で"決定"へ移動し、決定 を押す

- 予約が確定し、"予約一覧" 画面に戻ります。

予約が重なったときは

①「予約が重なったときは」(p.101) をご覧ください。

8 戻る を押して通常画面に戻す

番組表（G ガイド）から予約の内容を変更する

1 番組表 を押して、番組表(Gガイド)を表示する

- 番組表（G ガイド）の見かたは(p.87)をご覧ください。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約内容を変更したい番組を選び、番組説明 または 決定 を押す

3 ◀ / ▶で"予約修正"を選び、決定 を押す

4 「好みの設定で予約する」の手順 5 〜 8 (p.92)、9 、10 (p.93)を参照し、予約の内容を変更する

5 戻る を押して通常画面に戻す

ご注意

番組表（G ガイド）から予約した番組は "録画日" または "録画先" のみ変更できます。

録画が実行中の録画予約に関しては・・・

- 日時指定予約したものに関しては、終了時刻のみ変更可能です。
- 番組表（G ガイド）から予約したものに関しては、開始時刻、終了時刻、チャンネルを変更することはできません。

8 録画予約する

予約の確認・変更・削除や録画停止をする・つづき

番組表(G ガイド)から予約を取り消す(一発キャンセル)

● 予約の取り消しは 1 予約ずつとなります。

1 [番組表]を押して、番組表(Gガイド)を表示する

● 番組表(G ガイド)の見かたは(p.87)をご覧ください。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約を取り消したい番組を選び、[録画]を押す

● [録画]の代わりに[決定]または[番組説明]を押して"番組説明"画面を表示させ、▶で"予約消去"を選んで[決定]を押しても、予約を取り消すことができます。

3 ▲ / ▼で確認メッセージの"はい"を選び、[決定]を押す

● 録画予約が取り消されて、選んだ番組から" 🕒 "が消えます。

4 [戻る]を押して通常画面に戻す

"予約一覧"画面から予約を取り消す

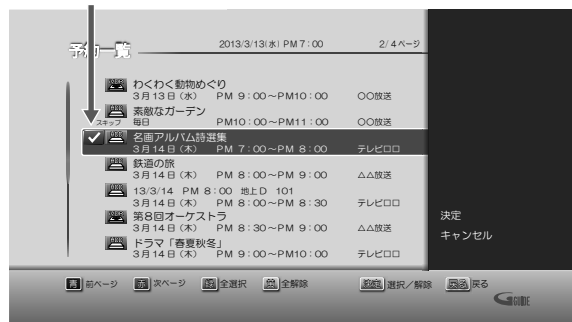
1 [予約一覧]を押して、"予約一覧"画面を表示する

予約を 1 つ取り消す場合

① ▲ / ▼で予約を取り消したい番組を選び、[メニュー]を押す
② ▲ / ▼で"予約削除"を選び、[決定]を押す
③ ▲ / ▼で確認メッセージの"はい"を選び、[決定]を押す

複数の予約を取り消す場合

① [メニュー]を押して、サブメニューを表示する
② ▲ / ▼で"複数予約削除"を選び、[決定]を押す
③ ▲ / ▼で予約を取り消したい番組を選び、[決定]を押す
● この手順を繰り返し、すべての取り消したい番組を選ぶ

選ばれた予約に ☑ が付きます

④ ▶で"決定"へ移動し、[決定]を押す
⑤ ▲ / ▼で確認メッセージの"はい"を選び、[決定]を押す

すべての予約を取り消す場合

① [メニュー]を押して、サブメニューを表示する
② ▲ / ▼で"複数予約削除"を選び、[決定]を押す
③ [緑]を押して、すべての予約を選ぶ
● [黄]を押すと、☑ がすべて解除されます。
④ ▶で"決定"へ移動し、[決定]を押す

2 ▲ / ▼で確認メッセージの"はい"を選び、[決定]を押す

● 予約が取り消されます。

3 予約の取り消しが終わったら、[戻る]を押して通常画面に戻す

録画実行中の録画予約を停止する

準備
● 同時録画中に追っかけ再生をしている場合は、[■停止]を押して、まずは再生を停止しておく

1 [■停止]を押す

2 ▲ / ▼で確認メッセージの"はい"を選び、[決定]を押す

● 確認メッセージ表示中に[■停止]を押しても、録画を停止することができます。
● 停止した位置までが、1 タイトルとなります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります)
● 録画中に[■停止]を 2 回押しても録画を停止できます。

2 番組同時録画中に停止するときは

① [■停止]を押します。
● 録画中のチャンネル一覧が表示されます。
② ▲ / ▼で録画停止したいチャンネルを選び、[決定]を押します。
③ 確認画面で"はい"を選び、[決定]を押します。
● 確認メッセージ表示中に[■停止]を押しても、録画を停止することができます。

スカパー！プレミアムサービス Link

「 スカパー！プレミアムサービス 」機能を使うことで、ネットワークに接続した スカパー！ プレミアムサービス対応チューナーからの映像をハイビジョン画質で録画することができます。

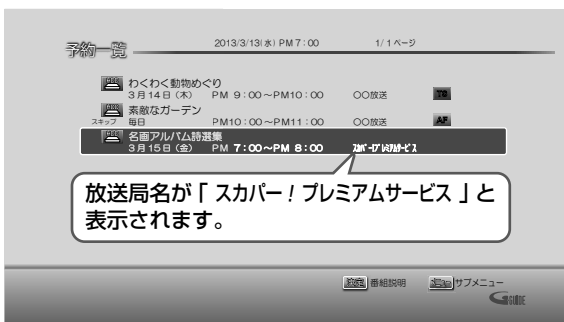
準備

- 本機と スカパー！プレミアムサービス対応チューナーをつないでおく（p.32）
- “本体設定”→“ネットワーク設定”→“スカパー！プレミアムサービス設定”→“スカパー！プレミアムサービス設定”を“使用する”に設定しておく（p.144）

1 スカパー！ プレミアムサービス対応チューナー側で、録画予約する

- テレビ画面には、録画している映像は表示されません。
- 録画が開始されると、他の録画同様、“見る”画面にタイトルは表示されます。

■ 録画予約できているか確認するには

“予約一覧”画面で確認することができます。

■ 録画されているか確認するには

画面表示 を押してください。

ご注意

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでのみ、録画予約の変更と削除ができます。（スカパー！プレミアムサービス対応チューナーで録画予約を削除しても本機の予約一覧から削除されないときは、本機の予約一覧画面から録画予約を削除してください）
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。（録画予約は削除されます）また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから、このレコーダーを選択することは可能ですが、本機は DMS 配信機能に非対応なため、リスト表示はされません。
- スカパー！プレミアムサービス 録画中は、以下の操作ができません。
  - 市販の BD-Video の再生
  - AVCHD ディスクの再生
  - iVDR モードの “見る” 画面の表示
  - 3D の再生（2D の再生になります）
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！ の録画番組は本機の“見る”画面に表示されません。（p.50）

メモ

- ご使用のスカパー！プレミアムサービス対応チューナーによっては、番組予約をした際の番組名が“＊＊＊”と表示される場合があります。
- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- スカパー！プレミアムサービス 対応チューナーから記録したタイトルは、字幕とデータ放送の表示ができない場合や、本機以外で再生できない場合があります。
- 録画したタイトルは、タイトルの始まりと終わりが数秒間欠けることがあります。
- スカパー！プレミアムサービス の 8 時間番組の予約は、タイトルの終わりが数秒間欠けることがあります。
- 録画が終了しても、本機の電源は「入」のままになっています。（スカパー！プレミアムサービス対応チューナーの操作によって本機の電源が自動的に切れる場合もあります）くわしくは、スカパー！プレミアムサービス 対応チューナーの取扱説明書をお読みください。

録画予約についての補足説明

録画全般

- 録画中に録画メディアの残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画予約全般

■ 録画予約があるときの本機の動き

- 録画／予約ランプが橙色で点灯します。(ただし、録画またはダビング中は、赤色で点灯します)

予約開始時刻の直前になると
- 本機の電源が「入」のときは、電源が「入」のまま予約の録画が実行されます。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま予約の録画が実行されます。

本体前面のランプについて

予約開始準備中 … 録画/予約ランプが赤色で点滅し、電源ランプは点灯します。
録画中 …………… 録画/予約ランプと電源ランプが点灯します。

予約終了時刻になると
- 自動的に録画が終わります。

電源「入」時に録画予約が終了すると
- 電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。
“はい”を選択すると、電源が切れます。
“いいえ”を選択すると電源は切らず起動状態を維持します。
また確認画面表示後 1 分間放置していると自動的に電源が切れます。

■ 番組表（G ガイド）を使った予約（番組検索、注目番組）

- 番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報（日によって変わることがあります）をもとに行うため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。

代理録画

BD-RE / BD-R やカセット HDD で次のような理由で録画予約が実行できない場合、HDD が録画可能な状態であれば HDD に録画し、“予約一覧”画面でお知らせします。

- 録画不可のディスク（ソフトなど）が入っているときや、ディスクが入っていないとき。
- BD-RE / BD-R や、カセット HDD の残量時間が不足しているとき。
- 録画可能なカセット HDD が挿入されていないとき。
- カセット HDD へ 2 番組同時録画を実行するときに、ダビング元またはダビング先のいずれかが、カセット HDD でダビングを実行している場合

通常録画／ワンタッチタイマー録画／等速ダビングと、録画予約が重なったときは

以下の場合、通常録画やワンタッチタイマー録画は予約開始 2 分前に取り消されます。
（2 番組同時録画できる場合は、1 番組のみ取り消されます）
- すでに 2 番組同時録画中の場合
- 2 番組同時録画できない条件の場合（p.84、85）

等速ダビングは、予約開始 2 分前に取り消されます。

予約が重なったときは

■ 予約を決定するときに、確認メッセージが表示されます。

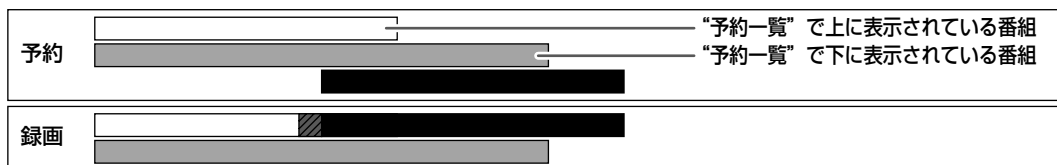
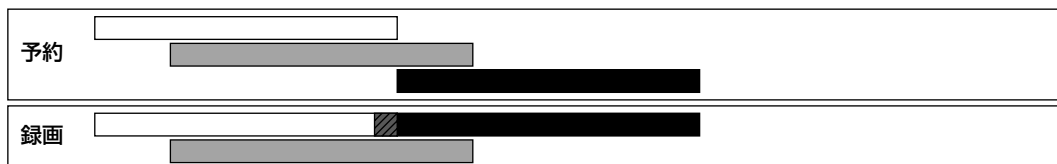
- メッセージを確認し（番組表（G ガイド）予約の場合は確認メッセージで“はい”を選び）決定を押すと、“予約一覧”画面が表示されます。重なりのため 、一部または全ての録画ができなくなっている予約には“ ⚠ ”が付き、水色の文字色で表示されています。

■ 重なっている予約を確認するときは

- 予約一覧を押し、“予約一覧”画面を表示してください。重なりのため 、一部または全ての録画ができなくなっている予約には“ ⚠ ”が付き、水色の文字色で表示されています。

■ 3 つ以上の予約が重なった場合は

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約の終了時刻の手前約 15 秒ほどは録画されません。

※ ▨ の部分（約 15 秒ほど）は録画されません。

☞ **予約が重なったときは**
“3 つ以上の予約が重なった場合は”の動作を参考に、「予約の確認・変更・削除や録画停止をする」(p.96)を参照し、ご希望通りの録画が行われるよう、録画予約の設定を変更して下さい。

■ 2 番組同時録画できない条件（p.84、85）で 2 つ以上の予約が重なった場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約は、後の予約と重なる部分の手前約 15 秒以降は録画されません。
（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む）

録画予約についての補足説明・つづき

停電があったときは

■ 全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入ってシステム設定を行います。
  （システム設定中は、電源ランプ (赤) が点滅します）
- 停電によって録画予約が中断したときは、“予約一覧”画面でお知らせします。（p.86）

■ 録画の種類別では

通常録画中やワンタッチタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- システム設定後は、電源が切れます。

録画予約の録画開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されると予約内容が復活します。

録画予約の録画実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻（時間）前に復帰したときは、システム設定後に録画終了時刻（時間）まで録画されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了し、システム設定後に電源が切れます。

■ ディスク別では

HDD、カセット HDD

- 停電前後の番組は分割されて“見る”画面に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要となることがあります。
- カセット HDD への録画予約中に停電があった場合、停電復帰後の録画予約の続きは HDD へ代理録画します。

BD-RE / BD-R

- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。
- 停電復帰後に予約した番組をディスクへ録画できない場合は、HDD に代理録画されます。HDD に代理録画された場合は、HDD の“見る”画面に登録されます。

録画予約が正常に行われなかったときは

- “予約一覧”画面で、重なりや停電などの要因で録画予約が正常に行われなかった予約に、“ ⓘ ”が付き、灰色の文字色で表示されます。番組を選んで 決定 を押すとお知らせ内容が表示されます。“戻る”を選ぶと、そのまま“予約一覧”画面に戻り、“お知らせ消去”を選ぶと番組が一覧から消去されます。
  （“予約一覧”画面の表示方法については、「予約一覧の見かた」（p.86）をご覧ください）

メモ

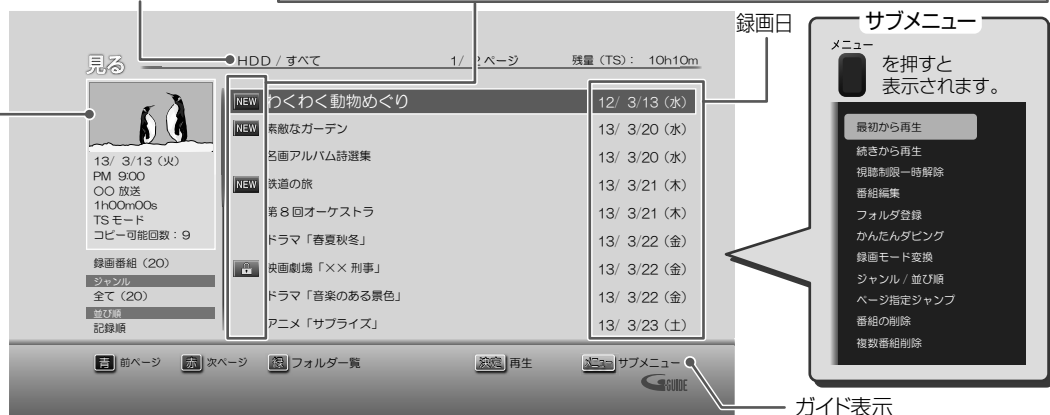
- **最大録画可能数／登録数については（p.160）をご覧ください。**

再生の前に

録画した番組（タイトル）の一覧（“見る”画面）について

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

録画やダビングした番組を見るときは、“見る”画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。
- 本書では、録画およびダビングして本機に取り込んだ番組のことを“タイトル”と呼びます。

“見る”画面の見かた（例：HDD）

- 本機の録画モードが TS の場合、残量時間は BS デジタル放送（HD 放送）の場合の時間で表示されます。

☞ 別のページを表示するときは… 青（前ページ）、赤（次ページ）を押します。

“見る”画面を表示するには

① HDD、DISC または iVDR を押して、操作するメディアに切り換える

② 見る を押す
- スタートメニューから“見る”を選ぶこともできます。(p.59)
- タイトル一覧が表示されないときは、フォルダを選び、緑 または 決定 を押してください。

☞ “見る”画面を消すには… “見る”画面表示中に 見る を押します。

表示するタイトルのジャンルを絞り込んだり、並び順を変えたいときは

① タイトル一覧を表示中に メニュー を押して、サブメニューを表示する

② ディスクの場合は、手順④へすすむ
HDD または カセット HDD の場合は、“ジャンル / 並び順”を選び、決定 を押す

③ ジャンルを絞りこみたいときは、▲ / ▼で、“ジャンル”を選び、決定 を押す
- ジャンルリストが表示されるので、ご希望のジャンルを選び、決定 を押してください。

④ 並び順を変えたいときは、▲ / ▼で“並び順”を選び、決定 を押す
- 並び順の種類が表示されるので、ご希望の並び順を選び、決定 を押してください。ディスクの場合は、これで並び替えがはじまります。HDD とカセット HDD の場合は、手順⑤へ進んでください。

記録順： 記録した順（ディスクの場合は記録された順）に並び替えます。
- カセット HDD では“記録順”を選べません。

番組名順： 番組名（タイトル名）順に並び替えます。

新しい順： 録画日が新しい順に並び替えます。
- 録画日が記録されていない場合は、並び順の最後になります

古い順： 録画日が古い順に並び替えます。
- 録画日が記録されていない場合は、並び順の最初になります

⑤ 最後に、▲ / ▼で“決定”を選び、決定 を押す

ご注意
- iVDR モードでは、記録順の並び替えはできません。
- DISC モードでは、ジャンルの絞り込みはできません。
- 本機では、SD カードから直接 AVCHD ファイルを再生することはできません。（くわしくは (p.68) をご覧ください）

再生の前に・つづき

再生開始位置について

- 再生中に ■停止 を 1 回押して再生を停止すると、再生停止位置（リジュームポイント）が記憶されます。
- リジュームポイントを解除するには、停止中にもう一度 ■停止 を押してください。

準備

- DISC 、 HDD または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく
- カセット HDD を再生するときは、カセット HDD を挿入しておく
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく

1 見る を押して、“見る”画面を表示する(p.103)

- HDD / カセット HDD で、タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼で選び、 緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼で再生するタイトルを選び、記録メディアに合わせて下記の操作をする

HDD **HDD(iVDR)**

- タイトルごとにリジュームポイントが記憶されます。

再生、決定	リジュームポイントの続きから再生します。
メニュー	“続きから再生”または“最初から再生”を選べます。

BD-RE **BD-R** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)**

- ディスクにつき一箇所だけリジュームポイントが記憶されます。

再生、決定	最後に再生していたタイトルを選んだ場合のみ、リジュームポイントから再生します。それ以外は、タイトルの頭から再生します。
メニュー	“最初から再生”のみ。

音楽用CD

- ディスクにつき一箇所だけリジュームポイントが記憶されます。 再生 を使うか 決定 を使うかで再生が始まる位置が変わります。

再生	リジュームポイントから再生します。
決定	トラックの頭から再生します。
メニュー	サブメニュー画面から再生できません。

☞ “見る”画面を表示せずに 再生 を押すと

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R** **BD-Video** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (Video)** **-R (Video)** **DVD-Video** **-RW (AVC)** **-R (AVC)** **音楽用CD** **BD (JPEG)** **DVD (JPEG)** **CD (JPEG)**

最後に視聴していたタイトル／トラックのリジュームポイントから再生が始まります。

ご注意

- ディスクによっては、リジューム機能に対応していないものがあります。

メモ

次のような場合、記憶したリジュームポイントが解除されます。

- 停止中に、 ■停止 を押したとき（HDD とカセット HDD の場合は、そのとき選ばれているタイトルのリジュームポイントが解除されます）
- フォルダやタイトルの削除、ディスクの編集をしたとき
- 初期化をしたとき

以下は ディスクのみ

- ディスクトレイを開けたとき
- ファイナライズをしたとき

以下は カセット HDD のみ

- カセット HDD を取り出したとき
- 本体の電源を切ったとき

など

再生する

録画した番組（タイトル）を再生する

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

HDD、カセットHDDやディスクに記録したタイトルや本機に取り込んだAVCHD方式の動画を再生することができます。

準備

- カセットHDDを再生するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく
- DISC、HDD または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく

1 見る を押して、"見る"画面を表示する（p.103）

- HDD / カセットHDDで、タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼で再生するタイトルを選ぶ

3 再生 または 決定 を押して、再生を始める

- HDD / カセットHDDのときは、メニュー を押して、サブメニューから再生開始位置を選んで再生することもできます。
- 再生位置に関しては「再生開始位置について」（p.104）をご覧ください。

再生を停止するときは

① ■停止 を押します。
- 再生が停止します。（リジュームポイントが記憶されます）

番組説明を表示する

HDD　HDD(iVDR)

HDDまたはカセットHDDに録画したタイトルの番組説明を表示することができます。

ご注意

- ダビングしたタイトルの場合は、番組説明が表示されない場合があります。

■ "見る"画面で表示するには

① ▲ / ▼で番組説明を表示したいタイトルを選び、番組説明 を押します。

■ 再生中に表示するには

① タイトルを再生中に、番組説明 を押します。

ご注意

- 本機を使ってDVDに直接録画することはできませんが、本機でダビングしたDVDや他機で録画してファイナライズしたDVDは再生できます。

メモ

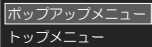
- 再生中にメディア（DISC、HDD、iVDR）を切り換えると、再生が停止します。
- タイトルの消去・編集をするときは（p.117）をご覧ください。
- 本機では、カセットHDDのタイトル数2,000タイトルまで再生できます。

市販のディスクを再生する

準備
- DISC を押して、DISC モードに切り換えておく

ブルーレイディスクや DVD を再生する

BD-Video DVD-Video

1 再生したいディスクを入れる
- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。

2 再生 を押して、再生を始める

■ ディスクのメニューや ポップアップメニューから操作するときは

(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

再生中に ディスクメニュー	ディスクのメニュー選択画面を表示します。 ▲ / ▼で表示したいメニューを選びます。 BD-Video の場合：ポップアップメニュー / トップメニュー DVD-Video の場合：トップメニュー / メニュー
見る	ディスクのトップメニューを表示します。
▲ / ▼ / ◀ / ▶	希望のタイトルや項目を選び、決定します。

ブルーレイ 3D™ ディスクを再生する

BD-Video

本機でブルーレイ 3D™ ディスクを楽しむことができます。

準備
- 本機と 3D 対応テレビを市販の High Speed HDMI ケーブルでつないでおく（p.27）
- 3D 対応テレビの設定を 3D に切り換えておく（必要な場合のみ）

1 再生したいディスクを入れる

2 再生 を押して、再生を始める

3D の再生設定を変更するときは

① スタート →“本体設定” → “3D 設定”から希望の設定を変更してください。

2D 映像で再生するときは

① スタート →“本体設定” → “3D 設定”→ “3D ディスク再生設定”を“2D”に設定してください。

音楽用 CD を再生する

音楽用CD

1 再生したいディスクを入れる
- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、見る を押してください。

2 ▲ / ▼で、お好みのトラックを選び、再生 または 決定 を押す

再生を停止するときは

① ■停止 を押します。
- 再生が停止します。
（リジュームポイントが記憶されます）

メモ
- 再生開始位置やリジュームポイントについては、「再生開始位置について」（p.104）をご覧ください。

ご注意
- 市販のソフトの再生中は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。再生中にテレビの音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。

いろいろな再生

早く見る／聞く（早送り／早戻し）

● 一部を除き、音声は出ません。

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD) 音楽用CD

再生中に、早戻し、早送りを押す

● 押すたびに、再生速度が 4 段階で切り換わります。（音楽用CD は 3 段階）
● 音楽用CD の早送り／早戻し中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
● 再生を押すと通常再生に戻ります。

音声付きで早く見る（早見再生）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

再生中に、再生または早送りを 1 回押す

● 再生を押すと、音声付きの約 1.3 倍速の早見再生になります。
● 早送りを 1 回押すと、音声付きの早送りになります。

再生を一時的に止める（再生一時停止）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD) 音楽用CD BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG)

再生中に、一時停止を押す

● 再生が一時停止します。
● 再生を押すと再生に戻ります。

ゆっくり見る（スロー／逆スロー再生）

HDD HDD(iVDR)※ BD-RE BD-R BD-Video※ -RW (VR) -R (VR) -RW (Video)※ -R (Video)※ DVD-Video※ -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)※

再生一時停止中に、早戻し、早送り を押す

● ※ のあるメディアでは、逆スロー再生はできません。
● 押すたびに、再生速度が 3 段階で切り換わります。
● 再生を押すと通常再生に、一時停止を押すと再生一時停止に戻ります。
● 長押しすると、早送り／早戻し動作となります。

コマを進める／戻す（コマ送り／コマ戻し）

HDD HDD(iVDR)※ BD-RE BD-R BD-Video※ -RW (VR) -R (VR) -RW (Video)※ -R (Video)※ DVD-Video※ -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)※

再生一時停止中に、⏮、⏭を押す

● ※ のあるメディアでは、コマ戻しはできません。
● 押すたびに、コマが進み／戻ります。

見たい／聞きたいところまでとばす（スキップ）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD) 音楽用CD BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG)

再生中に、⏮、⏭を押す

● 押すたびに、前の、または次のチャプターやトラックなどにとびます。
● ⏮の場合、1 回目だけは、現在再生中のチャプターやトラックの頭にとびます。

可変スキップ／可変リプレイ

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

再生中に、可変リプレイ、可変スキップ を押す

● 押すたびに、“再生設定” の “可変スキップ”、“可変リプレイ” で設定した分だけ再生がとびます。（p.143）

ご注意

● 以下のメディアでは、逆スロー再生とコマ戻しはできません。
- カセット HDD、BD-Video、DVD-RW（Video）、DVD-R（Video）、DVD-Video、DVD-RW（AVCHD）／DVD-R（AVCHD）、録画モード「AVC 3D」のタイトル（3D 再生中）、録画モード「AVC PRO」のタイトル

● 以下のタイトルや映像の場合、逆スロー再生は 2 段階切り換えになります。
- 録画モードが AF ～ AE で録画されたタイトルや MPEG-4 AVC / H.264 で記録された映像

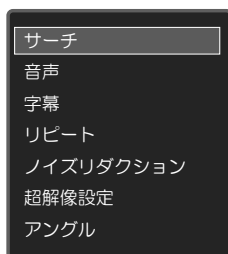
● 以下の場合、早見再生はできません。（早送り／早戻し中は 2D となります）
- BD-Video を 3D で再生中
- 録画モード「AVC 3D」のタイトルを 3D で再生中
- 録画モード「AVC PRO」のタイトルを再生中

● 飛び越すチャプターやトラックがないときは、該当の頭出しはできません。

いろいろな再生・つづき

番号や時間を指定してとばす(サーチ)

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　BD-Video　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (Video)　-R (Video)　DVD-Video　-RW (AVC)　-R (AVC)　DVD (AVCHD)　音楽用CD　BD (JPEG)　DVD (JPEG)　CD (JPEG)　SD (JPEG)

1 再生中に、メニューを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“サーチ”を選び、決定を押す

2 ▲ / ▼で希望のサーチを選ぶ

- 押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- 再生中の HDD やディスクの種類によって、選べるサーチの種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	サーチの種類
HDD　HDD(iVDR)	チャプターサーチ → タイムサーチ → チャプターサーチ → …
BD-RE　BD-R　BD-Video　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (Video)　-R (Video)　DVD-Video　-RW (AVC)　-R (AVC)　DVD (AVCHD)	チャプターサーチ → タイムサーチ → タイトルサーチ → チャプターサーチ → …
音楽用CD	トラックサーチ → タイムサーチ → トラックサーチ → …
BD (JPEG)　DVD (JPEG)　CD (JPEG)　SD (JPEG)	トラックサーチのみ

3 ▶で、変更したい数値へ移動し、▲ / ▼または 1 ～ 10/0 で数値を変更し、決定を押す

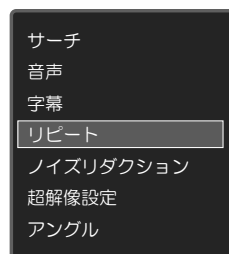
- 指定した番号または時間まで再生がとびます。

入力を間違えたときは

① ◀を押します。

繰り返して見る(リピート再生)

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　BD-Video　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (Video)　-R (Video)　DVD-Video　-RW (AVC)　-R (AVC)　DVD (AVCHD)　音楽用CD　BD (JPEG)　DVD (JPEG)　CD (JPEG)

1 再生中に、メニューを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“リピート”を選び、決定を押す

2 ▲ / ▼で希望のリピート再生を選ぶ

- 再生中の HDD やディスクの種類によって、選べるリピート再生の種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	リピート再生の種類
HDD　HDD(iVDR)　BD-Video　-RW (Video)　-R (Video)　DVD-Video　DVD (AVCHD)	オフ → タイトル → チャプター → オフ →…
BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)	オフ → オール → タイトル → チャプター → オフ →…
音楽用CD　BD (JPEG)　DVD (JPEG)　CD (JPEG)	オフ → オール → トラック → オフ →…

リピート再生をやめるときは

① 手順 **2** のときに、“オフ”を選ぶ

- リピート再生をやめて、再生も停止するときは ■停止 を押します。

ご注意

- リピート設定中に以下の操作を行ったとき、リピート範囲を超えた場合はリピートが解除されます。
  - スキップ
  - チャプター／タイトル／トラック／タイムサーチ
  - 可変スキップ
  - 可変リプレイ

録画中の番組を最初から見る（追っかけ再生）

HDD　HDD(iVDR)

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

1 HDD または iVDR を押して、録画中メディアに切り換える

2 見る を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

3 ▲ / ▼で録画中の番組 録画 / 録画1 / 録画2 を選ぶ

4 ▶再生 または 決定 を押して、追っかけ再生を始める

追っかけ再生をやめるときは

① ■停止 を押します。

- 再生が停止します。（録画は続きます）

録画も停止させるときは

① ■停止 を押して、確認メッセージで“はい”を選び、決定 を押します。

- 確認メッセージ表示中に ■停止 を押しても、録画を停止することができます。

ご注意

- HDD の場合は録画開始から３～５秒後、カセットHDD の場合は 10 ～ 15 秒後に追っかけ再生が可能となります。
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、通常再生に移行します。（録画は続きます）
- 追っかけ再生中にスキップで次のチャプターに飛び越す前に録画に追いつくときは、スキップは実行できません。
- 追っかけ再生中に操作先（ DISC 、 HDD 、 iVDR ）を切り換えると、再生が停止します。

他の機器で作成したプレイリストを再生する

BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

1 “見る”画面表示中に、黄 を押す

ご注意

- 本機では、プレイリストの作成や編集はできません。

9 再生する

再生中の各種設定切り換え

再生中に、音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り換えることができます。

音声（言語）を切り換える

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

再生中のタイトルに複数の音声（主音声 / 副音声など）や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

1 再生中に、［音声切換］を押して、音声情報を表示する

- 音声情報は［メニュー］を押して、サブメニューから“音声”を選ぶことでも表示できます。

2 希望の音声を選ぶ

BD-Video 以外の場合

◀ / ▶ / ▲ / ▼で音声を切り換える

- 選択している音声がステレオで、右側に選択項目が表示される場合、▶で右側の項目に移動してから▲ / ▼で“ステレオ”→“R-ch”→“L-ch”を切り換える。
- 選択している音声が二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合、▶で右側の項目に移動してから▲ / ▼で“主 / 副”→“主音声”→“副音声”を切り換える。

BD-Video の場合

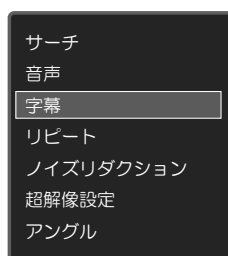
▲ / ▼で“プライマリ”か“セカンダリ”を選んだあとに、［決定］で音声切り換えエリアへ移動し、▲ / ▼で音声を切り換える。

- “音声設定”の“BD-HD 音声設定”が“HD 音声”のときにはセカンダリ音声は出力されません。（p.141）

字幕（言語）を切り換える

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

再生中のタイトルに複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入／切を選んだりすることができます。（本機で録画したタイトルの場合は、録画モードが TS、AF ～ AE で録画したタイトルだけ切り換えできます）

1 再生中に、［メニュー］を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“字幕”を選び、［決定］を押す

2 ▲ / ▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀ / ▶で最後に選んだ字幕設定を入／切できます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

BD-Video 特有の字幕などを切り換える

BD-Video

- BD-Video の場合、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定することができます。

1 再生中に、［メニュー］を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“字幕”を選び、［決定］を押す

2 ▲ / ▼で“プライマリ”、“セカンダリ”または“スタイル”を選んだあとに、［決定］で字幕へ移動し、▲ / ▼で設定を切り換える

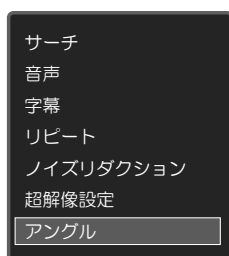
- ◀ / ▶で最後に選んだ設定を入／切できます。

カメラアングル（見る角度）や映像を切り換える

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video DVD-Video -RW (Video) -R (Video) -RW (AVC) -R (AVC)

再生中のタイトルに複数のカメラアングルや映像が記録または収録されているときは、映像を選んだり、見る角度を選ぶことができます。

1 再生中に、メニュー を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“アングル”を選び、決定 を押す

サーチ
音声
字幕
リピート
ノイズリダクション
超解像設定
アングル

2 ▲ / ▼で希望の映像やカメラアングルを選ぶ

- 押すたびに、カメラアングルや映像が切り換わります。

メモ

- カメラアングルが選べる場面では、画面に“ ”が表示されます。（表示されないようにすることもできます。(p.143)）
- BD / DVD-Video の場合、音声／字幕／カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクの説明書もご覧ください。

再生映像のノイズを低減する（ノイズリダクション）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

1 再生中に、メニュー を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“ノイズリダクション”を選び、決定 を押す

2 ▲ / ▼で希望の設定を選び、決定 を押す

ノイズリダクション　オン

“オフ”： 本機能を無効にします。
“オン”： ノイズが軽減されます

再生映像の標準画質を鮮明な画質に補正する（超解像設定）

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) DVD (AVCHD)

HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質（480i/p）の映像を精細感の高い画質に補正します。

1 再生中に、メニュー を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“超解像設定”を選び、決定 を押す

2 ▲ / ▼で希望の設定を選び、決定 を押す

超解像設定　オン

“オフ”： 本機能を無効にします。
“オン”： 精細感が強調されます。

メモ

- テレビ放送の標準画質に対しても使えます。(p.65)
- ハイビジョン画質の映像に対しては効果がありません。

9 再生する

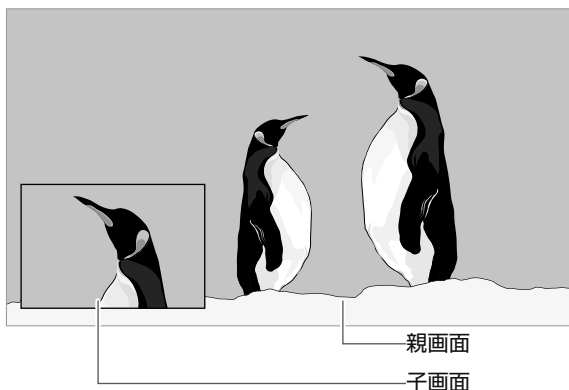
再生中の各種設定切り換え・つづき

BD-Videoの子画面の切り換えをする

BD-Video

（ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ）

子画面（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BD-Videoの取扱説明書をご覧ください。

1 BD-Videoの再生中に、[メニュー]を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で"セカンダリビデオ"を選び、[決定]を押す

- 子画面の設定は、親画面／子画面の同時再生中にだけ設定できます。

2 ▲ / ▼で希望の設定を選び、[決定]を押す

BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する

BD-Video

（バーチャル・パッケージ対応のみ）

バーチャル・パッケージに対応しているBD-Videoでは、他のメディア（ローカルストレージ）にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。

本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。

準備

- SDカードを入れておく（p.75）

- 他のデータが入ったSDカードや、他機でフォーマットされたSDカードを使うと、BD-Videoが正しく再生されないときがあります。その場合、[スタート]を押し、"本体設定" ➡ "かんたん設定 / その他" ➡ "初期化"の順に選び、"SDカード初期化"を行ってください。（p.145）
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からSDカードを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。
- BD-Videoの再生中に、映像や音声が停止することがあります。
- SDカードに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、[スタート]を押し、"本体設定" ➡ "かんたん設定 / その他" ➡ "初期化" ➡ "BDビデオデータ消去"の順に選び、"バーチャルパッケージ消去"を行ってください。（p.145）

PINコードの入力画面が表示されたときは

BD-RE　BD-R　-RW (AVC)　-R (AVC)

他社のブルーレイディスクレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されますので、設定されたPINコードを入力してください。（本機では、PINコードの設定や変更はできません）

1 [1 あ] ～ [10/0 記号] でPINコードを入力する

ご注意

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。
- PINコードとは、ディスクの視聴を制限するための4桁のパスワードです。

JPEG 形式の写真や絵を再生する

BD (JPEG) DVD (JPEG) CD (JPEG) SD (JPEG)

パソコンやデジタルカメラなどで JPEG 形式の写真や絵を記録したディスクや SD カードを本機で再生することができます。
拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1 準拠の JPEG 圧縮データだけが再生できます。

写真や絵を連続して再生する（スライドショー）

JPEG 用“写真”画面の見かた

（例）

準備

● ディスクを使用する場合、 DISC を押して、DISC モードに切り換えておく

1 ディスクやSDカードを入れる

2 ファイルタイプ選択画面が表示されるので、▲ / ▼で“写真”または“写真を見る”を選び、 決定 を押す

- “写真”画面が表示されます
- ディスクの場合、JPEG ファイルしか入っていなければ、ファイルタイプ選択画面は表示されず、自動的に“写真”画面が表示されます。

ファイルタイプ選択画面が表示されないときは

① スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“見る”を選び、 決定 を押す

③ ▲ / ▼で“ディスク”または“SD カード”を選び、 決定 を押す

④ ▲ / ▼で“写真”を選び 決定 を押す、

フォルダ内を見たいときは

① ▲ / ▼ / ◀ / ▶で見たいフォルダを選び、 決定 を押します。

別のページを表示するときは

① 青（前ページ）、赤（次ページ）を押します。

9 再生する

次ページへつづく

JPEG 形式の写真や絵を再生する・つづき

4 ▲ / ▼ /◀ / ▶で見たい写真／絵（ファイル）を選び、決定 または 再生 を押して再生を始める

- 選んだ写真／絵（ファイル）と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。（再生のスピードは、スタートメニュー画面から“本体設定”→“再生設定”→“JPEG スライドショー”で設定できます。(p.143)）

再生中の写真／絵を回転させたいときは

① 再生中に、◀ / ▶で画像を 90°ずつ回転します。（回転させた情報は記憶されません）

再生を一時停止、停止するときは

- 一時停止 を押すと再生が一時停止します。
  （再生 または 一時停止 を押すと、再生に戻ります）
- ■停止 を押すと再生が停止します。
  - 再生が停止し、“見る”画面に戻り、停止したファイルが選ばれています。
  - 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して“見る”画面に戻ります。
  - SD カードの JPEG 再生の場合、通常画面に戻るとリジュームポイントは消去されます。

メモ

- 1 つあたりのファイルの再生時間（表示間隔）は 5 秒です。10 秒に変更することもできます。(p.143)
- JPEG 用の“見る”画面には、JPEG 形式のファイルだけが表示されます。
- JPEG 再生中に再生できないファイルがあった場合は、“⊘”を表示して次ファイルにスキップします。
- 写真や絵の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG 再生中に録画予約開始 2 分前になると、JPEG 再生は自動的に停止します。
- 録画中やダビング中は、JPEG 再生はできません。

本機で再生できる JPEG ファイルについて

■ 最大認識可能フォルダ／ファイル数

CD-RW / -R	255 フォルダ、999 ファイル
その他のメディア	999 フォルダ、9999 ファイル

■ 画素数

サブサンプリング（4：4：4 の場合）	32 × 32 ～ 4096 × 4096
サブサンプリング（4：2：2 または 4：2：0 の場合）	32 × 32 ～ 5120 × 5120

- 1 ファイルの再生可能容量は 12MB までです。
- 一覧のフォルダ名は、表示幅を超える場合スクロール表示します。
- 次のメディアに記録された JPEG に対応しています。
  BD-RE / -R、DVD-RW / -R、CD-RW / -R、SD カード

ご注意

- JPEG 形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式の JPEG ファイルは再生できません。
- Motion JPEG には対応していません。
- 記録状態などによっては、リストに表示される。ファイルでも再生できないことがあります。

AVCHD 方式のハイビジョン動画が記録されたディスクを再生する

DVD (AVCHD)

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに記録された AVCHD 方式のハイビジョン画質の動画を、本機で再生することができます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクのみ再生可能です)

準備

- DISC を押して、DISC モードに切り換えておく

1 ディスクを入れる

- ディスクに AVCHD 方式の動画が入っている場合は、自動的に再生が始まります。

自動的に再生が始まらないときは

① 再生 を押します。

- ディスクを入れると、ディスクのメニュー画面が表示されることがあります。
  この場合は、ディスクによってメニューの内容が異なります。
  操作のしかたは、ディスクを録画した機器の説明書をお読みください。
  ここでは、一般的な操作の例を示します。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で希望のタイトルや項目を選び、決定 を押す

再生を停止するときは

① ■停止 を押します。

- 再生が停止します。
  (リジュームポイントが記憶されます)

ご注意

- 再生開始位置やリジュームポイントについては、「再生開始位置について」(p.104) をご覧ください。
- AVCHD 方式準拠でない動画は、再生できません。
- SD カードに記録された AVCHD 方式の動画は、本機で直接再生することはできません。あらかじめ本機の HDD に取り込んでから(ダビングしてから)再生してください。
- HDD にダビングした AVCHD 動画の再生方法は、通常のタイトルの再生方法と同じです。
  「録画した番組(タイトル)を再生する」(p.105) をご覧ください。

再生についての補足説明

再生全般

- ブルーレイディスク／ DVD の 2 層ディスクの再生中は、1 層目と 2 層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。
- 録画したタイトルを再生しているときは、タイトルの変わり目で画面が静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 再生開始時や再生停止時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- タイトルの変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、タイトルのつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクのメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますので、ご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。
- ファイナライズ中や初期化中は、再生できません。
- Cinavia™
  Cinavia の通告
  この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。 無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。 Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。 Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。 この製品は Verance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。 リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

“見る”画面

- ファイナライズされた DVD-RW / -R（Video）は“見る”画面を表示できません。ディスクのメニューから再生してください。
- リピート再生中に“見る”画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 他社機で作成したディスクから本機の HDD にダビングする場合、ディスクにチャンネル情報が記録されていなければ、“見る”画面でのチャンネル番号表示箇所は空白になります。

つづき再生（リジューム停止）

つづき再生が始まる位置は、リジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声／字幕／カメラアングルの切り換え

音声／字幕

- ビデオソフトによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が“本体設定”メニューの“再生設定”－“音声言語設定”の設定に戻ります。（ビデオソフトによっては、そのディスクで決められている言語になります）
- “本体設定”メニューの“音声設定”で Dolby や DTS® の設定を“自動”に設定して二重音声を光デジタル音声出力端子から出力しているときは、再生時に本機で音声を切り換えることはできません。この場合は、設定を“PCM”にするか、アンプ側で切り換えてください。
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- BD-Video、DVD-Video の早見再生（約 1.3 倍速）を除き、早送り／早戻し再生中の字幕表示はできません。

カメラアングル

- 変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、設定が“1”に戻ります。

編集の前に

本機でできる編集について

できること（メニュー項目）			HDD	HDD(iVDR)	BD-RE / BD-R	-RW (VR) / -R (VR)	-RW (AVC) / -R (AVC)
フォルダの追加／名称変更／削除（フォルダ追加／フォルダ名変更／フォルダ削除）			○	○	—	—	—
1 タイトルの削除（番組の削除）			○	○	○	○	○
複数タイトルの一括削除（複数番組削除）			○	○	○	○	○
番組編集	タイトル名の変更（番組名変更）		○	○	○	○	○
番組編集	チャプター編集	チャプター分割／結合（チャプター分割／チャプター結合）	○	○	○	○	○
番組編集	チャプター編集	タイトルの不要部分の削除（チャプター削除）	○	—	—	—	—
番組編集	タイトルの分割（番組分割）		○※1	—	—	—	—
番組編集	タイトルの保護／保護解除（番組保護／保護解除）		○※1	○	○	○	○

※１　録画モード変換予定のタイトルは編集できません。

ご注意

- ダビング中は、“番組編集” はできません。
- HDD やカセット HDD の録画中は、“番組編集” はできません。
- BDAV の録画中は、HDD やカセット HDD の “番組削除”、“複数番組削除” 以外の編集はできません。
- **一部の BD-R では、本機で編集できない場合があります。**

文字入力のしかた

■ 入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類 全角かな	全角カナ	半角カナ	英字／記号	数字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ		1
2	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	abcABC	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	defDEF	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghiGHI	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jklJKL	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mnoMNO	6
7	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrsPQRS	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuvTUV	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyzWXYZ	9
10	濁音／半濁音※1 全角記号※2	濁音／半濁音※1	濁音／半濁音※1	半角記号※3	0
11	わをんゎー、。全角スペース	ワヲンヮー、。全角スペース	ﾜｦﾝ -､｡ 半角スペース	半角スペース	半角スペース
青	全角カナに切り換え	半角カナに切り換え	英字／記号に切り換え	数字に切り換え	全角かなに切り換え
赤	漢字変換			全角／半角切り換え	全角／半角切り換え
緑					
黄	削除	削除	削除	削除	削除

※１　押すたびに、濁音（゛）、半濁音（゜）が切り換わります。
　（例）か→が→か→・・・、は→ば→ぱ→は→・・・

※２　押すたびに、以下の順で切り換わります。（文字を入力していない場合のみ）
　●○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇒⇔→←（）〈〉［］｛｝￥＄＋－＊／＝♂♀℃※

※３　押すたびに、以下の順で切り換わります。
　. @ - _ / : ! " # ＄ % & ' ( ) * + , ; ＜＝＞ ? [￥] ^ ` { | } ˜

10 編集する

編集の前に・つづき

入力可能な最大文字数について

- 全角文字／半角カナで最大 40 文字（半角英数／記号は最大 80 文字）まで入力できます。（メディアごとの制限については（p.160）をご覧ください）
- 未確定文字は最大 9 文字まで入力できます。

- 表示される画面によっては、全ての文字が表示されないことがあります。

■ 文字入力に使うボタン

ボタン	説明
青	● 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。
1 ～ 11	● 押すたびに入力文字が切り換わります。(文字の割り当ては前ページの表を参照)
赤	● “全角かな” で入力した文字を漢字に変換します。押すたびに次候補を表示します。 ● “英字 / 記号” および “数字” で入力中は、押すたびに全角／半角が切り換わります。
◀ / ▶	● カーソルを左右に移動します。 ● 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに ▶ を押すと、半角スペースが入ります。
緑	● “全角かな” で入力した文字を漢字に変換中、押すたびに前候補を表示します。
黄	● 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。 ● 確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、左横の文字を削除します。
決定	● “全角かな” で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。 ● それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。
戻る	● 文字入力を途中でやめます。

漢字の変換について

（例）「 かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 ひらがなで“かよう”と入力する

① 2 か ABC を 1 回押す

か

② 8 や TUV を 3 回押す

か よ

③ 1 あ を 3 回押す

か よ う

2 漢字に変換する

① 赤 を押す

火 曜

- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。

② 決定 を押す

火 曜

- 漢字の変換が確定します。

同じ文字の入力について

▶ を押すと、カーソルが 1 文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

- 数字の場合（同じ番号を続けて入力する場合）は、この操作は不要です。

記号の入力について

1 希望の記号が表示されるまで 10/0 記号 を押す

（文字の割り当ては前ページの表をご覧ください）

入力を中止するときは

① 黄 を押します。

ご注意

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

タイトルをフォルダで管理する

HDD　HDD(iVDR)

タイトルをフォルダに入れて管理したり、不要になったタイトルやフォルダを削除することができます。

準備
- HDD または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく

フォルダを作る

1 見る を押して、"見る"画面を表示する
- フォルダ一覧が表示されていない場合は、緑 を押して､フォルダ一覧を表示してください。

2 メニュー を押して、サブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"フォルダ追加"を選び、決定 を押す
- フォルダが作成されます。

メモ
- フォルダは､最大 99 個まで作成することができます。

フォルダの名前を変更する

作成したフォルダの名前を変更することができます。

1 見る を押して、"見る"画面を表示する
- フォルダ一覧が表示されていない場合は、緑 を押して､フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼でフォルダを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"フォルダ名変更"を選び、決定 を押す

4 フォルダ名を入力して、決定 を押す

「文字入力のしかた」（p.117）をご覧ください。

フォルダにタイトルを追加(登録)する

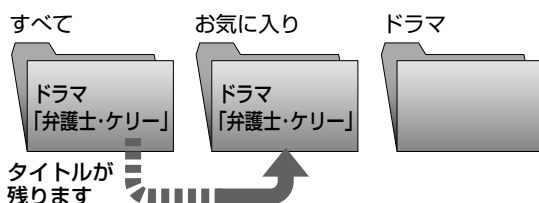
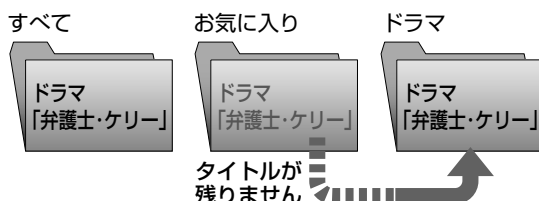
1 見る を押して、"見る"画面を表示する
- タイトル一覧が表示されていない場合は、追加したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼でタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"フォルダ登録"を選び、決定 を押す
- 登録先のフォルダ一覧が表示されます。

4 ▲ / ▼で登録先のフォルダを選んで、決定 を押す
- 選んだタイトルに ✓ が付きます。
- 他のタイトルも同時に登録したいときは、▲ / ▼で選び 決定 を押してください。
- 緑 を押すと、フォルダ登録が可能なすべてのタイトルに ✓ が付きます。
- 黄 を押すと、✓ がすべて解除されます。

5 ▶で"決定"を選び、決定 を押す
- 確認メッセージが表示されるので、"はい"を選び、決定 を押してください。

メモ
- "すべて" フォルダの名前は変更できません。
- "すべて" フォルダから、作成したフォルダにタイトルを追加（登録）しても、"すべて" フォルダのタイトルは削除されません。

- 作成したフォルダから、作成した別のフォルダにタイトルを追加（登録）すると､元のフォルダからタイトルが削除されます。

タイトルをフォルダで管理する・つづき

“すべて”フォルダからタイトルを削除する

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダ一覧が表示されていない場合は、緑 を押して、フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼で“すべて”フォルダを選び、決定 を押す

3 ▲ / ▼で削除したいタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

4 ▲ / ▼で“番組の削除”または“複数番組削除”を選び、決定 を押す

☞ “複数番組削除” を選んだときは

① ▲ / ▼で削除したいタイトルをすべて選ぶ

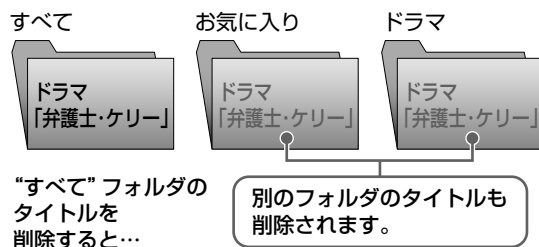
- 選んだタイトルに ✓ が付きます。
- 緑 を押すと、すべてのタイトルに ✓ が付きます。
- 黄 を押すと、✓ がすべて解除されます。

② ▶を押し、“決定” を選び 決定 を押す

5 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

- タイトルが削除されます

メモ

- “すべて”フォルダのタイトルを削除すると、別のフォルダ内に入っているタイトルもまとめて削除します。

作成したフォルダからタイトルを削除する

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダ一覧が表示されていない場合は、緑 を押して、フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼で削除するタイトルが入っているフォルダを選び、決定 を押す

- 「“すべて” フォルダからタイトルを削除する」の手順 3 に進んでください。

■ “このフォルダから番組を削除”を選んだときは
選んでいるタイトルを現在のフォルダから削除します。

■ “全てのフォルダから番組を削除”を選んだときは
別のフォルダ（“すべて” フォルダを含む）内に入っているタイトルもまとめて削除します。

フォルダを削除する

作成したフォルダを削除することができます。

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダ一覧が表示されていない場合は、緑 を押して、フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼で削除したいフォルダを選び、メニュー を押して、サブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で“フォルダ削除”を選び、決定 を押す

- 確認メッセージが表示されるので、“はい” を選び、決定 を押してください。

メモ

- フォルダを削除しても、“すべて” フォルダにあるタイトルは削除されません。
- “すべて” フォルダは削除できません。

フォルダに入っているタイトルについて

■ タイトルを編集すると

別のフォルダに登録されているすべてのタイトルに同じ編集が反映されます。
反映される編集は下記になります。

- チャプター編集
- 番組分割
- 番組名変更
- 番組保護
- 録画モード変換

■ HDD やカセット HDD の録画内容を全消去すると

HDD メニューの “番組全削除” および iVDR メニューの “初期化” を実行すると、すべてのタイトル および フォルダが削除されます。
ただし、“すべて” フォルダは削除できません。

“番組全消去（保護番組以外）” を実行すると、保護タイトルと、保護タイトルが登録されているフォルダを除く、すべてのタイトルとフォルダが削除されます。

くわしくは「HDD の録画内容をすべて消去する」(p.127)、「カセットHDDの録画内容をすべて消去する（初期化する）」（p.128）をご覧ください。

ご注意

- HDD またはカセット HDD の “すべて” フォルダ内のタイトルは、削除すると元に戻せません。
- カセット HDD のタイトルを削除する場合、メッセージが消えたあとも、しばらく削除処理が継続しますので、アクセス☀（動作中）ランプが点灯しているときに、カセット HDD を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

不要なタイトルを削除する

BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

見終わったタイトルをディスクから削除します。

- HDD HDD(iVDR) のタイトル削除は、「"すべて" フォルダからタイトルを削除する」、「フォルダを削除する」(p.120)をご覧ください。

ご注意
- ディスク内のタイトルは、削除すると元に戻せません。

準備
- 削除したいタイトルが入っているディスクを入れておく
- DISC を押して、操作するメディアに切り換えておく

1 タイトルだけ削除する

1 見る を押して、"見る"画面を表示する

2 ▲ / ▼で削除したいタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"番組の削除"を選び、決定 を押す

4 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定 を押す

- タイトルが削除されます。

5 削除が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

複数のタイトルを一括削除する

1 見る を押して、"見る"画面を表示する

2 メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"複数番組削除"を選び、決定 を押す

4 タイトル一覧で、削除したいタイトルを選び、決定 を押す

- ▲ / ▼で削除したいタイトルをすべて選んでください。
- 選んだタイトルに ✔ が付きます。
- 緑 を押すと、すべてのタイトルに ✔ が付きます。
- 黄 を押すと、✔ がすべて解除されます。

5 タイトルを選び終わったら、▶ を押して"決定"を選び、決定 を押す

6 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定 を押す

- 選択したタイトルが一括削除されます。

7 削除が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

メモ
- 録画中のタイトルは削除できません。
- BD-RE と BD-R は、他の機器で作成されたプレイリストのタイトルを削除することはできません。（本機ではプレイリストの作成や編集はできません。）

タイトルを削除したときの残量時間について

- HDD HDD(iVDR) BD-RE -RW (VR) …タイトルを削除すると、残量時間が増えます。
- BD-R -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC) …タイトルを削除しても、残量時間は増えません。
- DVD-RW(AVCREC™) の残量時間を増やしたいときは、初期化（フォーマット）してください。（初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。 録画内容をよく確認してから初期化してください）(p.128)

10 編集する

チャプターを手動で分割・結合する

準備

- カセットHDDを編集するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく
- DISC、HDD、または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく

チャプターを分割する

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

1 見る を押して、"見る"画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼で編集したいタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で"番組編集"を選び、決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲ / ▼で"チャプター編集"を選び、決定 を押す

5 ▲ / ▼で"チャプター分割/結合"を選び、決定 を押す

6 チャプター分割したいところまで再生し、一時停止 を押す

7 青 を押す

- チャプターが分割されます。(チャプター境界ができます。)
- 分割できるチャプター数については (p.160) をご覧ください。

メモ

- チャプター境界の近く(0.5秒以内)で、チャプターを分割することはできません。

チャプターを結合する

HDD　HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

すべてのチャプターを結合するには

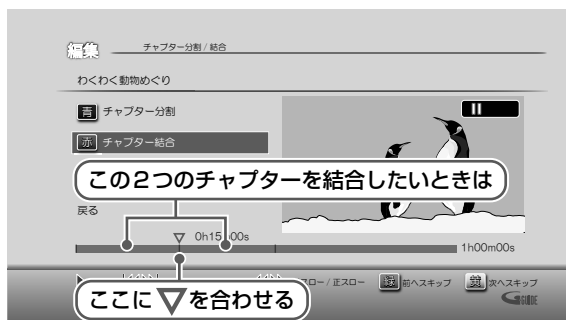
① 「チャプターを分割する」の手順 5 で"全チャプター結合"を選ぶ

② 確認メッセージが表示されるので、で"はい"を選び、決定 を押す

- すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

2つのチャプターを結合するには

① 「チャプターを分割する」の手順 6 で結合したいチャプターまで再生し、一時停止 を押す

- 一時停止 を押したあと、緑 または 黄 を押して、チャプターの境界に位置を合わせてください。

② 赤 を押す

- チャプターが結合されます。

チャプターを削除する

HDD

1 「チャプターを分割する」の手順 5 で"チャプター削除"を選ぶ

2 チャプター削除したいところまで再生し、一時停止 を押し、決定 を押す

- メッセージを確認し、決定 を押します。
- 削除するチャプター部分の色が変わります。
- 一時停止 を押したあと、緑 または 黄 で削除するチャプターを選べます。

3 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定 を押す

- チャプターが削除されます。

ご注意

- チャプターを削除したタイトルは、カセットHDDへ高速ダビングができなくなります。

タイトル名を変更する・タイトルを保護する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

準備

- カセットHDDを編集するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく
- DISC、HDD、または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく

タイトル名を変更する

1 見る を押して、"見る"画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲／▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲／▼でタイトル名を変更するタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲／▼で"番組編集"を選び、決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲／▼で"番組名変更"を選び、決定 を押す

5 タイトル名を入力して、決定 を押す

(「文字入力のしかた」(p.117) をご覧ください)

6 確認メッセージが表示されるので、▲／▼で"はい"を選び、決定 を押す

- タイトル名が変更されます。

7 変更が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

タイトルを保護する／保護を解除する

1 見る を押して、"見る"画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲／▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲／▼で保護(または保護を解除)するタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲／▼で"番組編集"を選び、決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲／▼で"番組保護"(または"番組保護解除")を選び、決定 を押す

5 確認メッセージが表示されるので、▲／▼で"はい"を選び、決定 を押す

- タイトルが保護(または保護が解除)されます。
- 保護されたタイトルには、"見る" 画面で 🔒 が付きます。

6 変更が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

保護されたタイトルは、以下の操作ができません

機能
フォルダ登録
番組の削除
番組名変更
チャプター編集
番組分割(HDDのみ)
コピーワンスタイトルのダビング(ダビング10の10回目のダビング)

タイトルを分割する

HDD

ご注意

- 分割されたタイトルは、元に戻せません。録画内容をよく確認してから分割してください。

準備

- HDD を押して、操作するメディアに切り換えておく

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、編集したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼で編集したいタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で“番組編集”を選び、決定 を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲ / ▼で“番組分割”を選び、決定 を押す

5 分割したいところまで再生し、一時停止 を押す

あらかじめあるチャプター境界（例①）で分割したい場合は、緑 または 黄 で ① の位置まで再生（▽）を進め、決定 を押す

6 決定 を押すと、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

- 設定したポイントでタイトルが分割されます。
- 続けて分割したい場合は、手順 2 ～ 6 を繰り返してください。

7 分割が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

ご注意

- 分割で指定した分割位置と、実際に編集される箇所とは、1 秒程度ずれることがあります。
- 分割位置を設定する場合、チャプター境界の手前の数秒間および先の数秒間は分割位置を設定できないことがあります。この部分を分割位置に設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプター境界を削除（境界前後のチャプターを結合）してください。
  ① 通常画面に戻るまで、戻る を何回か押し、いったん分割の操作を中止する
  （確認メッセージが表示されるときは、▲ / ▼で “はい” を選び、決定 を押します）
  ② 手動で該当のチャプター境界を削除（境界前後のチャプターを結合）する （p.122）
  ③ もう一度、タイトル分割の操作を行う

録画モード（画質）を変換する

HDD

録画モード（画質）を変換して HDD の空き容量を増やすことができます。
（録画モードが TS のタイトルを AF ～ AE に変換します）

準備

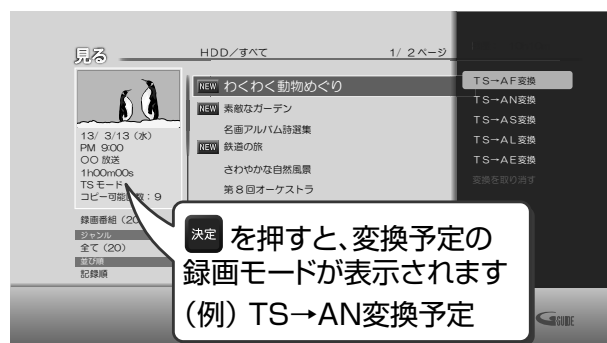
● HDD を押して、操作するメディアに切り換えておく

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

● タイトル一覧が表示されていないときは、編集したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼で選び、緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼で編集したいタイトルを選び、メニュー を押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼で“録画モード変換”を選び、決定 を押す

4 希望の録画モードを選び、決定 を押す

● 電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。
(電源を「切」にした約 5 分後に変換が始まります)

● 録画モードの変換には、タイトルの再生時間と同じ時間がかかります。

録画モードの変換が終了しているか確認するには

① “見る” 画面上で「○○→○○変換予定」が表示されていなければ、
録画モード変換は終了しています。

ご注意

- 録画モードを変換すると、変換する前と比べて画質が劣ります。
- HDD の空き容量が少ないと、録画モードを変換できないことがあります。容量が少ないときは不要なタイトルを削除するなどして空き容量を増やしてください。（p.120）
- 保護されたタイトルや録画中のタイトルは変換することができません。
- 録画モード変換中に電源を「入」にすると変換が中止されます。もう一度電源を「切」にすると約 5 分後に変換が始まります。
- 以下の場合、本機の電源を「切」にしていても録画モードは変換されません。
  - “高速起動” の設定時間中
  - 録画予約準備中、および録画予約実行中
  - ダウンロードソフトウェア更新中

メディアを管理する

本機でできるメディア管理について

できること（メニュー項目）	HDD	HDD(iVDR)	BD-RE BD-R	-RW (VR) -R (VR)	-RW (AVC) -R (AVC)	-RW (Video) -R (Video)
ディスク名の変更（ディスク名変更）	—	—	○	○	○	○※3
カセット HDD 名の変更（iVDR 名変更）	—	○	—	—	—	—
ディスクの保護／保護解除（ディスク保護／保護解除）	—	—	○	○	○	—
番組全消去	○	—	—	—	—	—
保護されていない番組の全消去（番組全消去（保護番組以外））	○	○	—	—	—	—
フォーマット（初期化）	—	○	○(RE のみ)	○(RW のみ)	○(RW のみ)	○(RW のみ)
ディスクのファイナライズ（ファイナライズ）	—	—	○(R のみ)	○※1	○	○※2

※１　DVD-RW(VR) のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除することができます。
※２　ダビング後に、自動的にファイナライズされます。
※３　ダビング設定時にディスク名の変更ができます。

メディアの名前を変更する

HDD(iVDR)　BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

準備
- カセット HDD を管理するときは、カセット HDD を挿入しておく
- ディスクを管理するときは、ディスクを入れておく

1 スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“メディアの管理”を選び、決定 を押す

3 ▲ / ▼で“BD/DVDメニュー”または“iVDRメニュー”を選び、決定 を押す

4 ▲ / ▼で“ディスク名変更”または“ iVDR名変更”を選び、決定 を押す
- 編集画面が表示されます。
- “ iVDR 名の変更” を選ぶには、カセット HDD がフォーマットされている必要があります。

5 ディスク名またはカセットHDD名を入力する

（文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.117) をご覧ください）
- 入力を終えたら、決定 を押す

6 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

7 変更が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

メディアを保護する・保護を解除する

BD-RE　BD-R　-RW (VR)　-R (VR)　-RW (AVC)　-R (AVC)

準備
- 管理するディスクを入れておく

1 スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“メディアの管理”を選び、決定 を押す

3 ▲ / ▼で“BD/DVDメニュー”を選び、決定 を押す

4 ▲ / ▼で“ディスク保護”（ディスク保護解除）を選び、決定 を押す

5 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

6 変更が終わったら、戻る を押して通常画面に戻す

本機で記録したディスクをファイナライズする

BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

本機で録画したディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応した他のブルーレイディスクプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生することができます。

メモ
- BD-RE、DVD-RW (VR) のファイナライズは不要です。(DVD-RW (VR) については、ファイナライズすることもできます。)

ご注意
- ファイナライズ後は録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。(DVD-RW (VR) の場合のみ、ファイナライズを解除することができます)

準備
- ファイナライズするディスクを入れておく

1 「メディアの名前を変更する」(p.126) の手順 1 〜 2 を行う

2 ▲ / ▼で"BD/DVDメニュー"を選び、決定を押す

3 ▲ / ▼で"ファイナライズ"を選び、決定を押す

4 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定を押す
- ディスクのファイナライズが始まります。
- ファイナライズが始まると、中止できません。
- ファイナライズの進捗表示は目安です。ディスクによっては 90% 以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
- ファイナライズが終了すると通常画面に戻ります。
- ファイナライズは数分から数十分かかります。(録画時間が短い場合やタイトル数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります)

■ DVD-Video の場合

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。
手動でファイナライズすることはできません。

本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除する

-RW (VR)

本機でファイナライズした DVD-RW (VR) の場合のみ、本機でファイナライズを解除することができます。
解除すると、再びダビングや編集をすることができます。
本ページ「本機で記録したディスクをファイナライズする」の手順 3 のときに"ファイナライズ解除"を選んでください。

ご注意
- ファイナライズ中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。
- 他機で録画されたディスクは、本機でファイナライズができないことがあります。
- 録画予約開始2分前以降はファイナライズできません。
- DVD-RW / -R(VR) は、録画予約開始 90 分前以降はファイナライズまたはファイナライズ解除はできません。
- チャプターの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- プレーヤー／レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- BD-R や DVD-R のファイナライズ中に停電したときは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

HDD の録画内容をすべて消去する

HDD

1 「メディアの名前を変更する」(p.126) の手順 1 〜 2 を行う

2 ▲ / ▼で"HDDメニュー"を選び、決定を押す

3 保護されたタイトルも含めすべて消去したいときは、"番組全消去"を、保護されたタイトルは残して、それ以外を全て消去したいときは、"番組全消去(保護番組以外)"を▲ / ▼で選び、決定を押す

4 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定を押す
- タイトルの消去が実行されます。
- 削除が始まると、中止できません。
- 削除が終了すると通常画面に戻ります。

メディアを管理する・つづき

カセット HDD の録画内容をすべて消去する（初期化する）

HDD(iVDR)

1 「メディアの名前を変更する」（p.126）の手順 1 〜 2 を行う

2 ▲ / ▼で"iVDRメニュー"を選び、決定を押す

3 消去の種類を選ぶ

保護されたタイトル以外の、すべてのタイトルを消去するとき

① ▲ / ▼で"番組全消去（保護番組以外）"を選び、決定を押す

保護されたタイトルを含め、すべてのタイトルを消去するとき

① ▲ / ▼で"初期化"を選び、決定を押す

4 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定を押す

- タイトルの消去が実行されます。
- カセット HDD の"初期化"を選んだときはカセット HDD が初期化（フォーマット）されます。
- 削除または初期化が始まると、中止できません。
- 削除または初期化が終了すると通常画面に戻ります。

ご注意

- カセット HDD を"初期化"した場合、作成したフォルダも消去されます。

ディスクを初期化（フォーマット）しなおす

BD-RE　-RW (AVC)　-RW (Video)　-RW (VR)

準備

- フォーマットするディスクを入れておく

一度初期化されたディスクであっても、以下の手順で再初期化することができます。
ディスクを初期化するとデータは全て消去されます。

1 「メディアの名前を変更する」（p.126）の手順 1 〜 2 を行う

2 ▲ / ▼で"BD/DVDメニュー"を選び、決定を押す

3 ▲ / ▼で"初期化"選び、決定を押す

- DVD-RW の場合は、続けて初期化するフォーマットを選んでください。（p.74）

4 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で"はい"を選び、決定を押す

- ディスクの初期化が始まります。
- 初期化が始まると、中止できません。
- 初期化が終了すると通常画面に戻ります。
- BD-RE の初期化は BDAV 方式で行われます。

ご注意

- 初期化中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。
- 録画中は初期化できません。
- 録画予約開始 15 分前以降は初期化できません。
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

メモ

- 新品（未使用）で初期化されていない BD-RE / BD-R や DVD-RW / DVD-R を初期化（フォーマット）するときは（p.73、74）をご覧ください。

ダビングの前に

本機でできるダビングの種類

こんなとき	ダビングの方向		
● 複数のタイトルをまとめて一度にダビングしたい（ダビングリストからダビング）（p.135）	HDD	⟷	カセット HDD
	HDD	⟷	BD-RE / -R DVD-RW / -R ※
	カセット HDD	→	BD-RE / -R DVD-RW / -R ※
	DVD-RW / -R (AVCHD) ※	→	HDD
	SD カード (AVCHD)	→	HDD
● “見る”画面から簡単にダビングしたい（かんたんダビング）（p.134）	HDD	→	BD-RE / -R DVD-RW / -R ※
	BD-RE / -R DVD-RW / -R ※ (Video モード以外)	→	HDD

※ ファイナライズされた DVD-RW（Video）や DVD-R（Video）を HDD へダビングするときは、他の機器からダビングしてください。（p.137）

※ DVD-RW（AVCHD）/DVD-R（AVCHD）の 場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。

ダビングリストからダビング （p.135）	タイトルをダビングリストに登録してダビングする方法です。 ● 一括ダビング： 複数のタイトルをまとめてダビングすることができます。 ● レート変換ダビング： 録画モードを変更してダビングすることができます。 （ダビング元より高画質の録画モードに変換することはできません）
かんたんダビング （p.134）	“見る”画面から簡単にダビングする方法です。 ・“見る”画面で選んだ、1 タイトルだけをダビングします。

他の機器から本機にダビングするときは

「ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする」（p.137）をご覧ください。

● 市販のビデオソフトやレンタルディスクのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。

ダビングの前に・つづき

ダビングするときの録画モードについて

■ かんたんダビングするとき

ダビング元 メディア	ダビング元 録画モード		ダビング先 メディア	ダビング速度	ダビング時の録画モード（選択不可）
HDD	TS	➡	BD-RE BD-R	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE、XP ～ EP の間で自動調整
		➡	-RW (AVC) -R (AVC)	等速	AF ～ AE の間で自動調整
		➡	-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	XP ～ EP の間で自動調整
	AF ～ AE	➡	BD-RE BD-R	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE、XP ～ EP の間で自動調整
		➡	-RW (AVC) -R (AVC)	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE の間で自動調整
		➡	-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	XP ～ EP の間で自動調整
	XP ～ EP	➡	BD-RE BD-R	高速	ダビング元と同じ
				等速	XP ～ EP の間で自動調整
		➡	-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	XP ～ EP の間で自動調整
BD-RE BD-R	TS	➡	HDD	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE、XP ～ EP の間で自動調整
	AF ～ AE	➡	HDD	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE、XP ～ EP の間で自動調整
	XP ～ EP	➡	HDD	高速	ダビング元と同じ
				等速	XP ～ EP の間で自動調整
-RW (AVC) -R (AVC)	AF ～ AE	➡	HDD	高速	ダビング元と同じ
				等速	AF ～ AE、XP ～ EP の間で自動調整
-RW (VR) -R (VR)	XP ～ EP	➡	HDD	等速	XP ～ EP の間で自動調整
-RW (Video) -R (Video)	XP ～ EP	➡	HDD		ダビングできません

- カセット HDD は“かんたんダビング”できません。

■ ダビングリストからダビングするとき

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア	選べるダビング速度	選べる録画モード
HDD	TS	HDD(iVDR)	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 自動、AF～AE、XP～EP
		-RW (AVC) -R (AVC)	等速	自動、AF～AE
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
	AF～AE	HDD(iVDR)	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 自動、AF～AE、XP～EP
		-RW (AVC) -R (AVC)	高速 等速	高速 自動、AF～AE
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
	XP～EP	HDD(iVDR)	高速 等速	高速 XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 XP～EP
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
HDD(iVDR)	TS	HDD	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 自動、AF～AE、XP～EP
		-RW (AVC) -R (AVC)	等速	自動、AF～AE
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
	AF～AE	HDD	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 自動、AF～AE、XP～EP
		-RW (AVC) -R (AVC)	高速 等速	高速 自動、AF～AE
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
	XP～EP	HDD	高速 等速	高速 XP～EP
		BD-RE BD-R	高速 等速	高速 自動、XP～EP
		-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速	自動、XP～EP
BD-RE BD-R	TS AF～AE	HDD	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
	XP～EP	HDD	高速 等速	高速 XP～EP
-RW (AVC) -R (AVC)	AF～AE	HDD	高速 等速	高速 AF～AE、XP～EP
-RW (VR) -R (VR)	XP～EP	HDD	等速	XP～EP
-RW (Video) -R (Video)	XP～EP	HDD	ダビングできません	

メモ

- スカパー！プレミアムサービスを録画すると、番組に応じて録画モードが“標準”または“AVC”になります。
  その場合の画質は、録画モード“TS”または“AF”～“AE”に相当します。
- ディスクからHDDにダビングしたタイトルは、HDDからカセットHDDへの高速ダビングができない場合があります。
- DVD（AVCHD）→HDDのダビングは、高速ダビングとなります。
- カセットHDDに録画モードTS以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

ダビングの前に・つづき

“高速ダビング” と “等速ダビング” について

高速ダビング	● ダビング時に画質（録画モード）を「そのまま（高速）」にすると高速ダビングすることができます。 ● 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビングするタイトルの記録時間よりも短い時間でダビングされます。 ● ダビング元と同じ画質（録画モード）でダビングされます。 ● 本機の動作音が、通常よりも大きくなります。
等速ダビング （1 倍速ダビング）	● ダビング元のタイトルの記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）をかけてダビングされます。 ● 画質（録画モード）を変えてダビング（レート変換ダビング）した場合は、等速ダビングになります。（ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません）

ダビング制限について

ダビング制限	HDD(iVDR) → HDD	BD-R / -RW (VR) / -RW (AVC) / BD-RE / -R (VR) / -R (AVC) → HDD	HDD → HDD(iVDR)	HDD → BD-RE / BD-R	HDD → -RW (VR) / -R (VR)	HDD → -RW (AVC) / -R (AVC)	HDD → -RW (Video) / -R (Video)
制限なしに録画可能	コピー	コピー	コピー	コピー	コピー	コピー	コピー
1 回だけ録画可能	移動	移動※1	移動	移動	移動	移動	×
ダビング 10･･･9 回目まで	移動※2	移動※2	コピー	コピー	コピー	コピー	×
ダビング 10･･･10 回目			移動	移動	移動	移動	×

※ 1　ファイナライズ済みの DVD-RW / DVD-R、BD-R ディスクからのダビングはできません。
※ 2　ダビング 10 番組をカセット HDD やブルーレイディスクへ録画した場合は「1 回だけ録画可能番組」になり、ダビングする場合は、1 回目から「移動」になります。

■「制限なしに録画可能」番組について

ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も元のタイトルはそのまま残ります。
デジタル放送の場合は、一部の番組を除き、ほとんどの番組が「1 回だけ録画可能」番組または「ダビング 10」番組となります。

■ デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組について

ダビングする場合は「移動」となり、ダビング後に元のタイトルが削除されます。

■ デジタル放送の「ダビング 10（コピー 9 回＋移動 1 回）」番組について

ダビングする場合、9 回目までは「コピー」となり、ダビング後も HDD の元のタイトルはそのまま残ります。
10 回目は「移動」となり、ダビング後に HDD の元のタイトルが削除されます。

「コピー」と「移動」について

「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10（コピー 9 回+移動 1 回)」番組をダビングする場合は、ダビング後にダビング元の録画内容の扱い（コピーの場合：内容が残る、移動の場合：内容が残らない）が変わります。

ダビングすると「移動」になる部分を含んでいるタイトルについて

- 「移動」になる部分を一部でも含んでいるタイトルをダビングする場合は、「移動」でダビングされます。
- HDD のタイトルで、「移動」になる部分だけを部分削除した場合や、「移動」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後のタイトルは「移動」になります。(「コピー」にはなりません)

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕のダビングについて

「二カ国語（二重音声）、マルチ番組の映像・音声、
サラウンド音声、字幕の録画について」(p.79) をご覧ください。

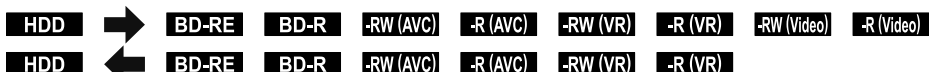
ご注意

- HDD は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
  大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいるタイトルは、ダビングできません。
- ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる（ダビング時間がかかる）ことがあります。
- **HDD → DVD-RW(Video) / -R(Video) へダビングすると、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。複数のタイトルをダビングするときは、ダビングリストからダビングしてください。**
  - HDD → DVD-RW（Video）/ -R（Video）へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、“本体設定” メニューの “録画設定” − “録画アスペクト（Video)” の設定を変更してダビングしてください。
    違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(テレビ側で画面サイズを変更できます)
- **本機で DVD → HDD にダビングする場合は、「制限なしに録画可能」番組のダビングだけが可能です。デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10」番組、ほとんどの市販のソフトはダビングできません。**
- 他の機器の AVCREC™ 方式で録画されたディスクを本機の HDD へダビングする場合は、ダビングできないことがあります。
- 他の機器で作成したディスクから本機の HDD にダビングする場合、ディスクにタイトル情報（チャンネル名、録画モード等）が記録されていなければ、ダビング画面でのタイトル情報表示箇所は空白になります。
- カセットＨＤＤに録画モード TS 以外でダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

ダビングする

“見る”画面から簡単にダビングする（“かんたんダビング”）

HDD → BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)

HDD ← BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR)

準備

- ディスクから HDD へダビングするときは、ディスクを入れて DISC を押しておく
- HDD からディスクへダビングするときは、記録用のディスクを入れて、 HDD を押しておく

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼で選び、 緑 または 決定 を押します。

2 ▲ / ▼でダビングしたいタイトルを選び、メニュー を押す

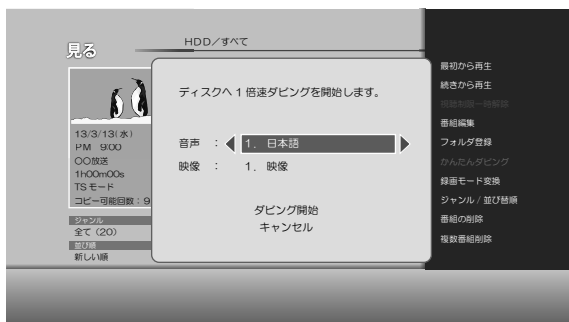
3 ▲ / ▼で“かんたんダビング”を選び、決定 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押してください。
- ダビングが始まります。（ダビング中は本体前面の録画／予約ランプが赤色で点灯します）

マルチ番組のタイトルをダビングするときは

ダビングする音声、映像を選んでください。

① ▲ / ▼で変更する項目を選ぶ

② ◀ / ▶でお好みの設定を選ぶ

③ 設定し終えたら、▲ / ▼で“ダビング開始”を選び、決定 を押す

実行中のダビングを中止するときは

① ■停止 を押して、確認メッセージで▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押します。
（「高速ダビング時のおよその所要時間 (目安) について」(p.138) もご覧ください）

- ダビングが終わると、本体前面の録画／予約ランプが消えます。（録画予約があるときは、ランプが赤色から橙色になります）

■ DVD-RW（Video）/ DVD-R（Video）へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

ご注意

- “見る”画面からのダビングでは、一度に 1 つのタイトルしかダビングできません。
- 保護されたタイトルはダビングできません。保護を解除するには、(p.123) をご覧ください。

複数のタイトルをまとめてダビングする

準備

● ダビングしたい方向に合わせて、それぞれ以下の準備をしておきます。

ダビング方向			準備	操作手順
HDD	➡	HDD(iVDR)	● ダビング先となるカセット HDD を挿入しておく	手順 2 へ
HDD	➡	BD-RE / BD-R / -RW (AVC) / -R (AVC) / -RW (VR) / -R (VR) / -RW (Video) / -R (Video)	● ダビング先（記録用）となるディスクを入れておく	手順 2 へ
HDD(iVDR)	➡	HDD	● ダビング元となるカセット HDD を挿入しておく	手順 2 へ
HDD(iVDR)	➡	BD-RE / BD-R / -RW (AVC) / -R (AVC) / -RW (VR) / -R (VR) / -RW (Video) / -R (Video)	● ダビング元となるカセット HDD を挿入しておく ● ダビング先（記録用）となるディスクを入れておく	手順 2 へ
BD-RE / BD-R / -RW (AVC) / -R (AVC) / -RW (VR) / -R (VR) / DVD (AVCHD)	➡	HDD	● ダビング元となるディスクを入れておく	手順 2 へ
SD (AVCHD)	➡	HDD	● ダビング元となる SD カードを入れておく 自動的に選択画面が表示されます。	手順 1 へ

1 ▲ / ▼で“AVCHDを取り込む”を選び、決定を押して、手順 6 に進む

2 スタートを押して、スタートメニュー画面を表示する

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“ダビング”を選び、決定を押す

4 ▲ / ▼でダビング元のメディアを選び、決定を押す

5 ▲ / ▼でダビング先のメディアを選び、決定を押す

6 ▲ / ▼でダビングするタイトルを選び、決定を押す

- 決定ボタンを押すと、ダビング順を表す数字が、タイトル名の前に表示されます。
- 他のタイトルを続けて選ぶときはこの手順を繰り返します。

タイトルの選択を解除したいときは

① 解除したいタイトルを選び、決定を押してください。

7 ダビングするタイトルを選び終えたら、▶を押す

8 ▲ / ▼で“画質選択”を選び、決定を押す

9 ▲ / ▼でお好みの録画モードを選び、決定を押す

- ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の録画モードなどによって、選べる録画モードは異なります。
- “そのまま（高速）”以外のモードを選んだときは、レート変換ダビングになるため、等速ダビングになります。（p.132）

10 画質を選び終えたら、▶で“決定”を選び、決定を押す

- ダビングリストが表示されます。確認後、決定を押してください。

ダビングリストを修正したいときは

① 「ダビングリスト画面の見かた」（p.136）をご覧ください。修正が終わったら、▶で“決定”を選び、決定を押してください。

ダビングリストを修正しないときは

① 手順 11 に進んでください。

メモ

- まとめてダビングできるタイトル数は、36 タイトルになります。

●● ▶ 次ページへつづく

ダビングする・つづき

11 **“ダビング開始”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す**

- ダビングが開始されます。（ダビング中は本体前面のランプが点灯します）

実行中のダビングを中止するときは

① ■停止 を押して、確認メッセージで“はい”を選び、決定 を押します。

■ DVD-RW（Video）/ DVD-R（Video）へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

メモ

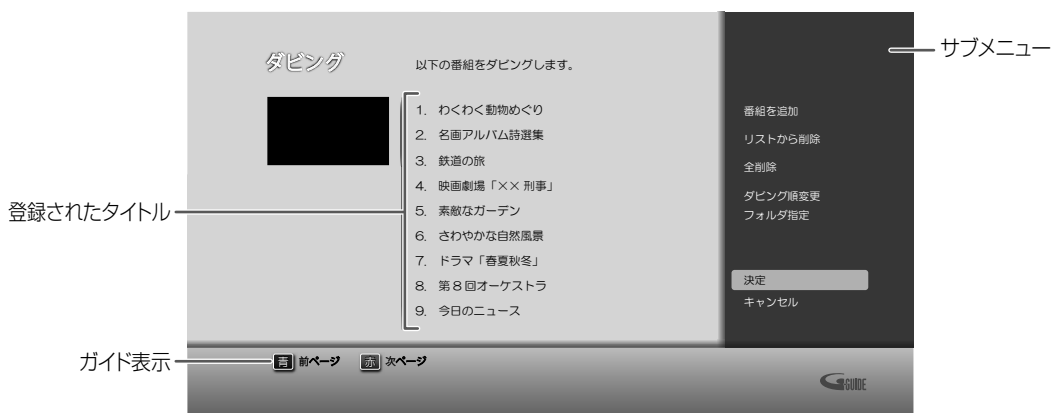
HDD → DVD-RW(Video) / DVD-R(Video) の場合、ディスク名を変更することができます。

① 手順 11 で“ディスク名設定”を選び、決定 を押す

- ディスク名設定画面が表示されます。

② ディスクの名前を入力し、決定 を押す

- 文字入力のしかたは（p.117）をご覧ください。

ダビングリスト画面の見かた

- 一覧の上から順に、登録された全タイトルがダビングされます。（一部のタイトルだけを選んでダビングすることはできません）

- 内容を修正したいときは、以下の手順で修正してください。

■ ダビングリストにタイトルを追加するときは

① ▲ / ▼で“番組を追加”を選び、決定 を押す

- タイトル選択画面に戻ります。

② ▲ / ▼で追加するタイトルを選び、決定 を押す

■ ダビングリストからタイトルを選んで削除するときは

① ▲ / ▼で“リストから削除”を選び、決定 を押す

② ▲ / ▼で削除するタイトルを選び、決定 を押す

③ 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

■ ダビングリストから全てのタイトルを削除するときは

① ▲ / ▼で“全削除”を選び、決定 を押す

② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押す

■ ダビングするタイトルの順番を変更するときは

① ▲ / ▼で“ダビング順変更”を選び、決定 を押す

② ▲ / ▼で変更したいタイトルを選び、決定 を押す

③ ▲ / ▼でタイトルを希望の位置へ移動させたあと、決定 を押す

■ フォルダを指定するには

① ▲ / ▼で“フォルダ指定”を選び、決定 を押す

② ▲ / ▼でダビング先に指定したいフォルダを選び、決定 を押す

ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R**

他の機器（ビデオデッキなど）から本機のHDDなどに動画をダビング（録画）することができます。
本機との接続は、「本機にお手持ちの機器をつなぐ」（p.35）をご覧ください。

接続した機器からダビングする

準備

- HDDにダビングするときは、 HDD を押しておく
- カセットHDDにダビングするときは、 iVDR を押しておく
- ディスクにダビングするときは、ディスクを入れて DISC を押しておく
- “本体設定”メニューの“外部入力音声”を設定しておく（p.143）

1 外部入力に切り換える

- 「外部入力の映像に切り換える」（p.66）の手順 1 ～ 3 を行ってください。

2 録画モードを選ぶ

- 「録画モード（画質）を変更するには」（p.83）をご覧ください。
- 選べる録画モードはXP～EPになります。

3 接続した機器を再生する

- デジタルビデオカメラの操作や設定については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 録画 を押す

- 録画が始まります。

録画を停止するときは

① ■停止 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押します。
  （停止後に次の操作ができるまでしばらく時間がかかることがあります）
  停止した位置までが、1タイトルになります。

ご注意

- 違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされている市販のソフトやレンタルディスク・ビデオテープなどは、ダビングできません。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したときは

-RW (Video) **-R (Video)** 以外の場合

- ダビング元
  - 内容はそのまま残ります。
- ダビング先
  - **HDD** **HDD(iVDR)** **BD-RE** **-RW (VR)**：
    ダビングされません。
  - **BD-R** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)**：
    ダビングを中止したところまで録画され、その分だけディスクの残量時間が減ります。
    （ダビングされた内容を再生することはできません）

-RW (Video) **-R (Video)** の場合

- **-RW (Video)**：初期化が必要になります。
- **-R (Video)**：ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

ダビングについての補足説明

ダビング全般

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画のダビング

- デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面(シーン)でも別々のタイトルになることがあります。くわしくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

ダビングするときのチャプター境界

- ダビングするときは、チャプター境界もいっしょにダビングされます。
- ダビング先のチャプター境界は、多少ずれる場合があります。

Cinavia™
Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。 無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。 Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。 Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。 この製品は Verance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。 Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。 リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

高速ダビング時のおよその所要時間(目安)について

■ HDD →カセット HDD ディスクへ高速ダビングするとき

ダビング方向	録画モード		所要時間	倍速
HDD に録画した 1 時間番組を カセット HDD(M-VDRS500G.C)に 高速ダビングした場合の最速所要時間の目安	TS	地デジ HD 放送	約 9 分 30 秒	約 6 倍
		BS / CS HD 放送	約 12 分 30 秒	約 5 倍
		BS / CS SD 放送	約 7 分 30 秒	約 8 倍
	AF	地デジ HD 放送	約 8 分 30 秒	約 7 倍
	AN	地デジ HD 放送	約 6 分	約 10 倍
	AS	地デジ HD 放送	約 4 分 30 秒	約 13 倍
	AL	地デジ HD 放送	約 3 分 30 秒	約 17 倍
	AE	地デジ HD 放送	約 2 分 30 秒	約 24 倍
	XP	地デジ HD 放送	約 7 分 30 秒	約 8 倍
	SP	地デジ HD 放送	約 4 分	約 15 倍
	LP	地デジ HD 放送	約 3 分 00 秒	約 20 倍
	EP	(6 時間)地デジ HD 放送	約 2 分 45 秒	約 21 倍
		(8 時間)地デジ HD 放送	約 2 分 40 秒	約 23 倍

■ HDD → ディスクへ高速ダビングするとき

ダビング方向	録画モード		所要時間	倍速
HDD に録画した 1 時間番組を BD-R(4 倍速対応)に高速ダビングした場合の 最速所要時間の目安	TS	地デジ HD 放送	約 7 分 30 秒	約 8 倍
		BS / CS HD 放送	約 8 分 30 秒	約 7 倍
		BS / CS SD 放送	約 5 分 30 秒	約 11 倍
	AF	地デジ HD 放送	約 6 分 30 秒	約 9 倍
	AN	地デジ HD 放送	約 5 分	約 12 倍
	AS	地デジ HD 放送	約 4 分	約 16 倍
	AL	地デジ HD 放送	約 3 分 10 秒	約 19 倍
	AE	地デジ HD 放送	約 2 分	約 30 倍
	XP	地デジ HD 放送	約 7 分	約 9 倍
	SP	地デジ HD 放送	約 3 分 30 秒	約 17 倍
	LP	地デジ HD 放送	約 2 分 30 秒	約 24 倍
	EP	(6 時間)地デジ HD 放送	約 2 分 25 秒	約 25 倍
		(8 時間)地デジ HD 放送	約 2 分 20 秒	約 26 倍

- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間や速度が変わります。
- ディスクの倍速表示は、実際の所要時間に対するダビング時間比ではありません。
- BD-RE(2 倍速対応)の場合は最大 2 倍速、BD-R(4 倍速、6 倍速対応)の場合は最大 4 倍速までとなります。
- 高速ダビング中に HDD の録画や再生をすると、所要時間が延びることがあります。

■ カセット HDD、またはディスク → HDD へ高速ダビングするとき

約 2 倍速相当のダビング速度となります。

本機や放送局からのお知らせを確認する

スタートメニュー画面の“お知らせメール”で、放送局から送られてくるメールや、110 度 CS デジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード（掲示板）を確認することができます。
未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信すると、テレビ画面上に“スタートメニューからメールを確認してください”というメッセージを約 20 秒間表示します。

お知らせメールについて

- 本機ではパソコンや携帯電話の電子メールは扱えません。

内部メール

- 本機から以下の情報や連絡が送られてきます：
  - 「送信状況変更のお知らせ」・・・地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
  - 「自動チャンネル再設定のお知らせ」・・・本機が自動チャンネル再設定を行ったとき
  - 「ダウンロードのお知らせ」・・・更新されたダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
  - 「ダウンロード成功のお知らせ」・・・ソフトウェアのダウンロードに成功したとき

外部メール

- 放送局からのお知らせなどが送られてきます。
- 1 放送局につき、最大 13 通まで保管可能。満杯の状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが削除されます。
- 保存期限は 14 日間です。
- 表示するメールは、B-CAS の ID に左右されません。

ボード

- 110 度 CS デジタル放送からの情報や案内が表示されます。

1 停止中に スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“お知らせメール”を選び、決定 を押す

- メールやボードの一覧が表示されます。

3 ▲ / ▼で“放送メール”または“CS1ボード”／“CS2ボード”を選び、決定 を押す

“放送メール”：
本機や放送局から送られてきたメールを確認できます。

“CS1 ボード”または“CS2 ボード”：
110 度 CS デジタル放送局の情報や案内をボード (掲示板) で確認できます。

- メッセージが表示されます。
- 未読のメールには“ ”が表示されます。

4 戻る を何回か押して通常画面に戻す

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)

“本体設定”メニューを使う

1 停止中に スタート を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“本体設定”を選び、 決定 を押す

3 ▲ / ▼で希望の項目または設定を選び、 決定 を押す

(" 本体設定 " メニューの項目と設定内容に関しては、(p.140 ~ 148) をご覧ください)
この操作を繰り返し、希望の設定に変更する

- 戻る を押すと、左側の設定項目に戻ります。

希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は

① ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“はい”を選び、 決定 を押してください。

4 設定が終わったら、 戻る を何回か押して通常画面に戻す

ご注意

- 録画中は、各種設定画面の設定ができないことがあります。(設定できない場合、その項目は選べません)
- 再生中に各種設定画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

“本体設定”メニューの項目と設定内容

設定のしかたについては、(p.140) をご覧ください。(はお買い上げ時の設定です)

項目		設定内容	説明
映像設定	TV 画面選択 ● TV 画面 (アスペクト比) については、(p.149) をご覧ください。	4:3 レターボックス	4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
		4:3 パンスキャン	4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のない DVD ビデオソフトはレターボックスで表示されます。
		16:9 ワイド	16:9 ワイドテレビで見るときに選びます。16:9 ワイド映像を画面いっぱいに映します。
		16:9 シュリンク	16:9 ワイドテレビで、4:3 映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ 4:3 映像を縮小して表示します。
	スチルモード	自動	表示する静止画の情報に応じて、“フィールド”または“フレーム”のどちらかで表示されます。
		フィールド	“自動”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。
		フレーム	動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“フレーム”を選択すると、画質は良くなりますが、2 枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

項目		設定内容	説明
音声設定	Dolby D / Dolby D+ / Dolby TrueHD	PCM	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD を LPCM に変換して出力します。(HDMI 出力端子から出力する場合は 2ch PCM で出力します)
		自動	HDMI 端子から： 接続する機器が Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。（対応していない場合は、LPCM(2ch PCM 固定) が出力されます） 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。（Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD 音源の場合は､Dolby Digital 部分のみがビットストリーム出力されます）
	DTS / DTS-HD	PCM	DTS®、DTS-HD® を LPCM に変換して出力します。
		自動	HDMI 端子から： 接続する機器が DTS®、DTS-HD® に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。（対応していない場合は、LPCM が出力されます） 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。（DTS-HD® の場合は、DTS 部分のみがビットストリーム出力されます）
	AAC	PCM	AAC 音声を LPCM に変換して出力します。
		自動	HDMI 端子から： 接続する機器が AAC に対応している場合は、ビットストリーム出力されます。（対応していない場合は､LPCM で出力されます） 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。
	BD-HD 音声設定 BD-Video	複合音声	インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。
		HD 音声	プライマリ音声のみを高音質で出力します。
	Dolby D レンジ （p.147）	自動	DolbyTrueHD の再生中に、本機がディスクのオーディオ D レンジ情報を認識し、自動でオーディオ D レンジ設定を“入”または“切”に設定します。DolbyTrueHD 以外を再生した場合では“切”と同じ動作をします。
		入	記録された音声の強弱の幅を調整します。
		切	記録されたオリジナル音源で出力します。
	ダウンサンプリング （p.147）	入	96kHz より大きなサンプリング周波数の入力に対応していない AV アンプ等にデジタル接続している場合に設定します。LPCM の信号を 48kHz に変換して出力します。
		切	著作権保護のない LPCM の信号が記録されたブルーレイディスク、または DVD の再生時、光デジタル音声出力端子から 96kHz までの 2ch 音声を出力します。
HDMI 接続設定	HDMI 解像度設定 （p.147）	自動	接続した HDMI 機器によって､HDMI 映像解像度を自動で設定します。
		480p	480 プログレッシブで出力します。
		720p	720 プログレッシブで出力します。
		1080i	1080 インターレースで出力します。
		1080p	1080 プログレッシブで出力します。
		1080p24	1080 プログレッシブ 24 フレームで出力します。
	HDMI ディープカラー	自動	接続した HDMI 機器がディープカラーに対応している場合、自動で HDMI 出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。
		切	HDMI 端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

●●▶次ページへつづく

いろいろな設定を変える（本体設定メニュー）・つづき

設定のしかたについては、（p.140）をご覧ください。（　　はお買い上げ時の設定です）

項目		設定内容	説明
HDMI 接続設定	プログレッシブモード	自動	HDMI 出力端子からプログレッシブで出力する際の最適な出力方法を設定します。 “自動”： 映画などの 1 秒間に 24 フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に最適な状態で出力します。 “ビデオ”： ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。“自動”設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。
		ビデオ	
	HDMI 音声出力	入	HDMI 出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。
		切	
	CEC リンク制御（p.54）	入	CEC リンク対応テレビで CEC リンク制御機能を使うかどうかの設定をします。 ● “入”にすると“待機設定”の設定も自動的に“通常待機”になります。 ● 本機と CEC リンク対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐと、本機が対応している CEC リンク連動機能を利用できます。（CEC リンク対応テレビの取扱説明書もご覧ください）
		切	
3D 設定	3D ディスク再生設定	自動（3D）	3D 映像で出力します。
		2D	3D 映像を 2D で出力します。 ● ディスクによっては、2D 出力できないものがあります。
	3D 奥行き設定	奥――――前（7 段階）	3D 映像を出力するときの奥行き感を設定します。
	3D 画面表示	入（サイドバイサイド）	メニューをサイドバイサイド方式で表示します。 ● サイドバイサイド方式で表示できないメニューがあります。
		切（通常）	メニューを通常通りに表示します。
再生設定	音声言語設定（p.147） BD-Video　DVD-Video	オリジナル	再生時の音声言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、（p.148）の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
		日本語	
		英語	
		その他の言語	
	字幕言語設定（p.147） BD-Video　DVD-Video	切	再生時の字幕言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、（p.148）の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
		日本語	
		英語	
		その他の言語	
	ディスクメニュー言語設定（p.147） BD-Video　DVD-Video	日本語	再生時のディスクのメニューで表示される言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、（p.148）の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。
		英語	
		その他の言語	
	BD 視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。（p.146）	無制限	制限なく、全てのディスクが視聴できます。
		視聴可能年齢設定	年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢制限を超えるタイトルは視聴することができなくなります。

項目		設定内容	説明
再生設定	DVD 視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.146)	無制限	制限なく、全てのディスクが視聴できます。
		レベル 8	年齢に関係なく視聴できます。
		レベル 7	18 歳未満の方は視聴できません。
		レベル 6	18 歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。
		レベル 5	保護者同伴での視聴を推奨します。
		レベル 4	13 歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。
		レベル 3	保護者の方の判断による視聴を推奨します。
		レベル 2	一般的に視聴できる内容です。
		レベル 1	お子様が視聴されても問題のない内容です。
	可変スキップ (p.107)	5 秒	[可変スキップ] を押したときに、何秒スキップさせるかを設定します。
		10 秒	
		30 秒	
		1 分	
		5 分	
	可変リプレイ (p.107)	5 秒	[可変リプレイ] を押したときに、何秒スキップバックさせるかを設定します。
		10 秒	
		30 秒	
		1 分	
		5 分	
	アングルアイコン (p.111)	入	“入”に設定しておくと、再生中に、カメラアングルが切り換え可能な場面で、画面に“ ”を表示します。
		切	
	JPEG スライドショー (p.114)	5 秒	JPEG ファイルの表示時間を設定します。
		10 秒	
録画設定	オートチャプター HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R	切	録画中に、自動的にチャプター境界をつけることができます。 何分間隔でチャプター境界をつけるかをここで設定します。 (最大設定可能数は (p.160) をご覧ください) “自動”設定は、下記の場合に有効になります。 ● 録画先が HDD で、録画モードが TS または AF ～ AE で記録するとき
		自動	
		5 分間隔	
		10 分間隔	
		15 分間隔	
		20 分間隔	
		30 分間隔	
		60 分間隔	
	EP モード	6 時間	録画モードを EP にして録画するときに、通常の EP で録画します。
		8 時間	通常の EP よりも長時間録画します。(画質は低下します)
	録画アスペクト (Video)	4:3	DVD-RW (Video) / -R (Video) に録画するときの画面の縦横比を 4：3 で録画します。
		16:9	DVD-RW (Video) / -R (Video) に録画するときの画面の縦横比を 16：9 で録画します。
	録画音声 (XP)	PCM	録画モード XP で録画するときの音声を、高音質 (リニア PCM) で録画します。(二重音声は、“二カ国語音声”で設定されている音声だけが記録されます)
		Dolby D	録画モード XP で録画するときの音声を、通常の音質 (ドルビーデジタル) で録画します。(二重音声は、主／副音声の両方が記録されます)
	二カ国語音声	主音声	二重音声 (二カ国語) を録画するときの音声を主音声で録画します。
		副音声	二重音声 (二カ国語) を録画するときの音声を副音声で録画します。
	外部入力音声	ステレオ	外部入力 (L1) から録画するときの音声をステレオで録画します。
		二カ国語	外部入力 (L1) から二カ国語音声放送を録画するときに、設定します。(設定によって記録される音声については、(p.79) をご覧ください)

便利な機能 13

●● ▶ 次ページへつづく

いろいろな設定を変える（本体設定メニュー）・つづき

設定のしかたについては、（p.140）をご覧ください。（ はお買い上げ時の設定です）

項目		設定内容	説明	
ネットワーク設定	ネットワーク接続設定 （p.51）	自動設定	自動で設定を行います。	
		手動設定	IP アドレス取得方法	自動 (DHCP)
				手動
			IP アドレス	IP アドレスを手動で入力します。
			サブネットマスク	サブネットマスクを手動で入力します。
			ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレスを手動で入力します。
			DNS-IP 取得方法	自動 (DHCP)
				手動
			プライマリ DNS	プライマリ DNS アドレスを手動で入力します。
			セカンダリ DNS	セカンダリ DNS アドレスを手動で入力します。
			プロキシ設定	有効
				無効
			接続テスト	“ネットワーク接続設定” の確認テストを行います。 “ネットワーク接続設定” の内容を変更したあとには、必ずこのテストを行ってください。
	スカパー！プレミアムサービス設定	スカパー！プレミアムサービス設定	使用する	スカパー！プレミアムサービス対応チューナーを使用して、スカパー！プレミアムサービス放送をハイビジョン画質で録画するかしないかを設定します。 ● “使用する” の場合、待機設定が “通常待機” になります。
			使用しない	
		デバイスネーム	ネットワーク上のスカパー！プレミアムサービス対応チューナーにて表示される本機の名前を設定します。	
	インターネット接続制限 ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。	制限する	インターネットアクセスの制限をするかしないかを設定します。	
		制限しない		
	BD-Live 接続設定 BD-Video ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。	有効	BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。	
		有効 (制限つき)	証明書を持つ BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。	
		無効	BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。	
	ネットワークステータス表示		現在のネットワークの設定を表示します。	
かんたん設定 / その他	かんたん設定		かんたん設定をやり直すことができます。	
	未使用時自動電源オフ	利用しない	2 時間	電源入状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかの設定をします。
		30 分	3 時間	
		1 時間	6 時間	
	テレビ画面保護	入	スタートメニュー画面などを表示中に、操作をしない状態が約 15 分つづいた場合、自動的にテレビ放送画面に戻ります。（音楽用 CD のトラックリストまたは JPEG の “見る” 画面表示中は、スクリーンセーバーが起動します）	
		切		
	待機設定	通常待機	待機時に、消費電力を抑えるかどうかを設定します。 “通常待機”： “省エネ待機” に設定したときよりも高速で起動しますが、待機時の消費電力が増えます。 “省エネ待機”： “通常待機” に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。	
		省エネ待機	● “CEC リンク制御” が “入” の場合は、自動的に “通常待機” になります。 ● “スカパー！プレミアムサービス設定” が “使用する” の場合は、自動的に “通常待機” になります。 ● “通常待機” のときは内部の制御部が通電状態になるため、“省エネ待機” のときと比較して次のようなところが異なります。 - 待機時消費電力（電源が「切」のときの消費電力）が増えます。 - 本体内部の温度上昇を防ぐため、本体背面の冷却用ファンが回ることがあります。	

項目		設定内容	説明	
かんたん設定／その他	高速起動	AM7:00 ～ AM10:00	ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を“待機設定”の“通常待機”設定時よりさらに短縮できます。 ● 最大 2 つまで設定することができます。 ● 設定している時間帯のときは内部の制御部が通電状態になるため、設定していないときと比較して次のようなところが異なります。 - 待機時消費電力（電源切のときの消費電力）が増えます。 - 本体内部の温度上昇を防ぐため、本体背面の冷却用ファンが回ります。 ● **設定している時間帯は絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜く場合は、その時間帯の“高速起動”設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。**	
		AM10:00 ～ PM1:00		
		PM1:00 ～ PM4:00		
		PM4:00 ～ PM7:00		
		PM7:00 ～ PM10:00		
		PM10:00 ～ AM1:00		
		AM1:00 ～ AM4:00		
		AM4:00 ～ AM7:00		
	リモコン設定	リモコンコード 1	本機のリモコンコードを設定します。	
		リモコンコード 2		
	時刻設定		本機の日時を設定します。 ● デジタル放送受信時は自動取得するため、現在の日時を表示するのみで、設定変更はできません。	
	パスワード変更		BD / DVD-Video の視聴年齢制限、インターネット接続制限、BD-Live 接続設定のパスワードを変更します。	
	バージョン情報		現在のソフトウェアのバージョンを表示します。	
	初期化	BD ビデオデータ消去	全ての BD ビデオデータ消去	本機に保存された全ての BD ビデオデータを消去します。
			アプリケーションデータ消去	本機に保存された BD ビデオデータの内、アプリケーションデータ (BD ビデオのゲームスコア等) を消去します。
			バーチャルパッケージ消去	本機に保存された BD ビデオデータの内、バーチャルパッケージ (ダウンロードした BD ビデオの特典映像・音声・字幕等) を消去します。
		SD カード初期化	SD カードを初期化します。	
		設定項目初期化	“視聴制限設定”、“ネットワーク設定”、“リモコン設定”を除き、“本体設定”メニューを初期値に戻します。	
		ネットワーク設定初期化	“ネットワーク設定”で設定した内容を初期値に戻します。 ● “インターネット接続制限”と“BD-Live 接続設定”は初期化されません。	
		個人情報初期化	工場出荷状態に戻し、電源を切ります。(HDD 初期化含む) ● 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、“個人情報初期化”を行うことをおすすめします。	

ご注意

- **本機に記憶されたお客さまの個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化･消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

次ページへつづく

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)・つづき

BD-Video の視聴可能年齢や DVD-Video の視聴制限レベルを設定するときは

BD-Video DVD-Video

1 **スタート を押し、"本体設定" ➡ "再生設定" ➡ "BD視聴制限レベル" または"DVD視聴制限レベル"の順に選び、決定 を押す**

(くわしい操作方法は (p.140) をご覧ください)

- パスワード入力画面が表示されます。

2 **1 ～ 10/0 を押してパスワード(4桁)を入力する**

- 入力した数字は、"＊"で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力を間違えたときは

① ◀で戻るか、▲ / ▼で"全てクリア"を選び、決定 を押してください。

3 **▲ / ▼で変更したい項目を選び、設定内容を変更する**

ブルーレイディスクの視聴制限レベル
"無制限"………………… 制限なし
"視聴可能年齢設定"… 1 ～ 10/0 で年齢入力

DVD の視聴制限レベル
"無制限"……… 制限なし
"レベル 8"…… 弱(ほとんどの DVD が再生可能)
≀
"レベル 1"…… 強(子供用の DVD だけが再生可能)

4 **変更が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す**

市販のソフトの視聴制限を一時的に解除する

① 1 ～ 10/0 で、上記で設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを入力すると、電源を切るまでの間だけ見ることができます。

パスワードを変更するときは

1 **スタート を押し、"本体設定" ➡ "かんたん設定/その他" ➡ "パスワード変更"の順に選び、決定 を押す**

(くわしい操作方法は (p.140) をご覧ください)

- パスワード入力画面が表示されます。

2 **1 ～ 10/0 を押して現在のパスワードを入力する**

- 入力した数字は、"＊"で表示されます。
- 新しいパスワードの入力画面が表示されます。

入力を間違えたときは

① ◀で戻るか、▲ / ▼で"全てクリア"を選び、決定 を押してください。

3 **1 ～ 10/0 を押して新しいパスワードを入力する**

4 **確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力し、決定 を押す**

5 **設定が終わったら、戻る を何回か押して通常画面に戻す**

“本体設定”メニューについての補足説明

■ “映像設定”

“TV 画面選択”

- 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD-Video 側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んでも、違う種類で表示されることがあります。
- 正しい画面サイズ（画角、画面の縦横比）でプログレッシブ映像を見るには
  - 画面サイズを調整できるテレビのときは、テレビ側で画角を調整してください。

■ “HDMI 接続設定”

“HDMI 解像度設定”

- “HDMI 解像度設定”を“480p”以外に設定して HDMI 接続している場合、本機の映像出力端子からは“16：9”で信号が出力されます。

■ “音声設定”

“Dolby D レンジ”

- この機能の効果は、タイトルによって異なります。

“ダウンサンプリング”

- ディスクによっては、“ダウンサンプリング”を“切”に設定していても、強制的に“48kHz”に変換されたり音声がデジタル出力されないことがあります。

■ “再生設定”

“音声言語設定”／“字幕言語設定”／
“ディスクメニュー言語設定”

- 言語設定は BD / DVD-Video 側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD / DVD-Video によっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクの説明書をご覧ください。
- BD / DVD-Video によっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中の音声／字幕言語の切り換えかたは（p.110）をご覧ください。

■ 言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	jv	5668
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

参考資料

アスペクト比（画面比）について

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比で、4:3 放送とワイド放送があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

接続するテレビ	「TV 画面選択」	画面の見えかた（上：４：３放送の場合、下：ワイド放送の場合）
16：９のテレビ	「4：３レターボックス」	画面全体に表示します。
		上下方向に黒い帯を表示します。
	「4：３パンスキャン」	画面全体に表示します。
		左右を一部カットして表示します。
	「16：９ワイド」	画面全体に表示します。
		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
	「16：９シュリンク」	４：３を維持して、縮小表示します。
		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
４：３のテレビ	「4：３レターボックス」	入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		上下方向に黒い帯を表示します。
	「4：３パンスキャン」	入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		左右を一部カットして表示します。
	「16：９ワイド」	入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		16：９を４：３に縮小表示します。
	「16：９シュリンク」	縮小表示します。
		16：９を４：３に縮小表示します。

メモ

- HDMI 端子から 1080i/720p/1080p/1080p24 で出力している場合は、“TV 画面選択”設定にかかわらず、16：９シュリンク設定のみ有効です。
- 市販の BD/DVD-Video 再生時は、設定に関わらず、４：３パンスキャンでも、４：３レターボックスとして表示されることがあります。
- 放送内容や再生するタイトルによっては、この表のとおりに映像が表示されない場合があります。

参考資料・つづき

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに日立マクセルまたは第三者の著作権が存在します。
本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。
ホームページアドレス　http://support.maxell.co.jp/consumer_contact/detail.php?goods=ivrecorder
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。
なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、日立マクセルは一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は日立マクセル以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

Program name	EULA
linux	Exhibit A
busybox	Exhibit A
dhcpcd	Exhibit A
wpa_supplicant	Exhibit A
e2fsprogs	Exhibit A
directfb	Exhibit B

Program name	EULA
glibc	Exhibit B
gmp	Exhibit B
libexif	Exhibit B
FLAC	Exhibit C
Tremor	Exhibit C
Oniguruma	Exhibit C

Program name	EULA
universalchardet	Exhibit D
expat	Exhibit E
giflib	Exhibit E
libxml2	Exhibit E
cURL	Exhibit E
Free Type	Exhibit F

Program name	EULA
LibJPEG	Exhibit F
Open SSL	Exhibit F
Vera Fonts	Exhibit F
TIFF	Exhibit F

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.

Exhibit A

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on

each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

   one line to give the program's name and an idea of what it does.
   Copyright (C) yyyy name of author

   This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

   This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

   You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

   Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are

参考資料・つづき

welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages-- typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.

   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License,

version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

    If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

    It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

    This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

    Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT

参考資料・つづき

LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

BSD

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit D

MPL

MOZILLA PUBLIC LICENSE
Version 1.1

----

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:
A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.
The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:
(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.
Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.
The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.
Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.
You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters
(a) Third Party Claims.
If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.
If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.
Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.
You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.
You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.
You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.
Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.
Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.
If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABLE, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGING. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declatory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

参考資料・つづき

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at http://www.mozilla.org/MPL/

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is ______________________________________.

The Initial Developer of the Original Code is ________________________.
Portions created by ______________________ are Copyright (C) ______
_______________________. All Rights Reserved.

Contributor(s): ______________________________________.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[___] License"), in which case the provisions of [______] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [____] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [___] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [___] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

Exhibit E

MIT

Copyright (c)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

giflib

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reser

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Exhibit F

Free Type

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""
Portions of this software are copyright© <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org

  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

LibJPEG

LEGAL ISSUES
============

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA.
ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf.
It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable.
The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh).
Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.
(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

参考資料・つづき

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.
To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

Open SSL

LICENSE ISSUES
==============

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts.
Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

/*

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
*/

Vera Fonts

Copyright
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

TIFF

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

仕様

モデル名	BIV-R1021	BIV-R521
一般		
電源	AC 100 V 50 / 60 Hz	
消費電力	21 W	
年間消費電力量	19.0 kWh / 年	
許容動作温度	5 ～ 40 ℃	
許容湿度	80%最大（結露なきこと）	
外形寸法	430.0（幅）× 50.2（高さ）× 211.2（奥行）mm（突起部含む）	
質量	2.3 kg	
HDD / ブルーレイディスク部		
録画方式 （ブルーレイディスク）	Blu-ray Disc™ Rewritable Format 準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format 準拠	
録画方式（DVD）	DVD ビデオレコーディング規格準拠、DVD ビデオ規格準拠、AVCREC™ 規格準拠	
内蔵 HDD 容量	1 TB	500 GB
録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264	
録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニア PCM（非圧縮）、MPEG-2 AAC、MPEG-1 audio layer 2	
録画可能ディスク	「本機で使えるメディアについて」（p.67）をご覧ください。	
録画時間	「録画モード（画質）とおよその録画時間について」（p.77）をご覧ください。	
再生可能ディスク	「本機で使えるメディアについて」（p.67）をご覧ください。	
リージョンコード	ブルーレイディスク：Region A　　DVD：#2	
チューナー部		
受信チャンネル	地上デジタル　：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） BS デジタル　：BS000 ～ BS999 チャンネル 110 度 CS デジタル　：CS000 ～ CS999 チャンネル	
端子部		
映像入力	ピンジャック　1.0 V（p-p）　75 Ω	
映像出力	ピンジャック　1.0 V（p-p）　75 Ω	
HDMI 出力	HDMI 端子　19 ピン　Type A	
音声入力	ピンジャック　2 V（rms）　47 k Ω不平衡	
音声出力	ピンジャック　2 V（rms）　1.0 k Ω不平衡	
デジタル音声出力	光コネクター　角型光ジャック	
SD メモリーカードスロット	SD カード、SDHC カード、SDXC カード対応 （miniSD カード、microSD カードは、専用のアダプター装着で使用可能）	
iVDR スロット	iVDR コネクタ（SATA 仕様）26 ピン	
LAN（10 / 100）	10 BASE-T / 100 BASE-TX	
地上デジタル入出力	75 Ω　F 型コネクタ	
BS･110 度 CS 入出力	75 Ω　F 型コネクタ（出力側のみ最大 DC15V、4W）	

仕様・つづき

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

- メディアの容量は、1GB=10 億バイト、として計算しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
  ・地上デジタル（HD 放送）：17Mbps・BS デジタル（HD 放送）：24Mbps・BS デジタル（SD 放送）：12Mbps

最大録画可能数／登録数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大録画可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容等により、下記の数値より少なくなることがあります。

HDD
- フォルダ数（“すべて”フォルダを含む） 100
- タイトル数 2000
- 1 タイトルあたりのチャプター数 999

カセット HDD
- フォルダ数（“すべて”フォルダを含む） 100
- タイトル数 999
  （他機で作成したカセット HDD については 2,000 タイトルまで再生可）
- 1 タイトルあたりのチャプター数 255

BD-RE / -R
- タイトル数 200
- 1 タイトルあたりのチャプター数 100
- ディスク全体のチャプター数 999

DVD-RW（VR）/ -R（VR）
- タイトル数 99
- ディスク全体のチャプター数 999

DVD-RW（AVCREC™）/ -R（AVCREC™）
- タイトル数 200
- 1 タイトルあたりのチャプター数 100
- ディスク全体のチャプター数 999

DVD-RW（Video）/ -R（Video）
- タイトル数 36
- 1 タイトルあたりのチャプター数 99

その他
- 録画予約数 100
- ダビングリストのタイトル登録数 36
- 1 番組あたりの連続録画可能時間 8 時間
- タイトル名 / ディスク名 / フォルダ名 / カセット HDD 名は全角で 40 文字、半角 80 文字まで
  （DVD-RW（VR）/ DVD-R（VR）は全角 32 文字、半角 64 文字まで、DVD-RW(Video) / DVD-R(Video) は全角 30 文字、半角 60 文字まで）

- カセット HDD、BD-RE/-R、DVD-RW/-R にダビングする場合、各メディアの最大チャプター数以降のチャプターは削除されます。

困ったときは

よくあるご質問

■ 準備

質問	回答	参照ページ
ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？	● 本機には直接つなぐことはできません。 アンプなどを通して接続してください。	–
プログレッシブ映像を楽しむには、 どんなテレビが必要ですか？	● HDMI 端子付きのテレビと HDMI ケーブルで つないでください。	27

■ メディア

質問	回答	参照ページ
本機で使えるディスクは？ 本機で録画や再生が可能なディスクは？	●「本機で使えるメディアについて」をご覧ください。	67
高速記録対応ディスクとは？	● 通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。 高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。	132
DVD の録画方式（AVCREC™ 方式、VR 方式、 Video 方式）とは？	● DVD-RW / DVD-R に録画するときに選べる録画方 式のことです。	74
AVCREC™ 方式、VR 方式、Video 方式は どのように使い分けるのですか？	●「DVD の録画方式（AVCREC™、VR、Video）に ついて」をご覧ください。	74
1 枚のディスクに AVCREC™ 方式、VR 方式、 Video 方式を混在させて録画できますか？	● できません。 ディスクごとに録画方式を選択してください。	–
市販のビデオソフトの 2 層ディスクの再生はでき ますか？	● 再生できます。	–
＋ RW / ＋ R の録画・再生はできますか？	● 本機では対応していません。	67
DVD オーディオ、CD-ROM、ビデオ CD は再生 できますか？	● できません。	–
パソコンで作った DVD・音楽用 CD は再生できま すか？	● 本機では対応していません。	70
MP3 形式で記録されたディスクは再生できますか？	● できません。	70

■ 番組表（G ガイド）

質問	回答	参照ページ
番組表（G ガイド）を使った予約には、どのような 特徴がありますか？	● 番組表（G ガイド）から簡単に録画予約をしたり、番 組の詳細情報を知ることができます。 また、ジャンルから関連番組を探すこともできます。 ● 自動追跡録画に対応しています。 ● “見る”画面に番組名が自動的に入ります。	89 ～ 93 94 –
番組表（G ガイド）は、何日分まで表示できますか？	● 最大 8 日分まで表示できます。	–
番組表（G ガイド）の利用料金はかかりますか？	● 利用料金はかかりません。	–
番組表（G ガイド）は日本全国で利用できますか？	● 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用す るためにはそれぞれの地域で番組データを取得する 必要があります。	55
番組表（G ガイド）をケーブルテレビ（CATV）で利 用できますか？	● できる場合とできない場合があります。くわしくは ご利用のケーブルテレビ（CATV）会社にご相談く ださい。	55

困ったときは・つづき

■ 録画

質問	回答	参照ページ
二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	● 「二カ国語（二重音声）、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について」をご覧ください。	79
字幕の録画はできますか？	● できます。	79
デジタル放送は録画できますか？	● HDD、カセットHDD※、BD-RE / -Rは直接録画できます。DVD-RW / -Rには、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(VR)/ DVD-R(VR)やDVD-RW（AVCREC™）/ DVD-R（AVCREC™）にダビングしてください。 ※カセットHDDへの直接録画は、録画モードがTSのみとなります。	67、76、77
デジタル放送をハイビジョン画質（HD放送）で録画できますか？	● HDD、カセットHDD※、BD-RE / -Rは直接録画できます。（録画モードをTS、AF～AEに設定した場合のみ）DVD-RW / -Rには、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW（AVCREC™）/ DVD-R（AVCREC™）にダビングしてください。 ※カセットHDDへの直接録画は、録画モードがTSのみとなります。	67、76、77
デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	● 本機では録画できません。	60
2番組同時録画はできますか？	● できます。（ディスクへの2番組同時録画はできません）	84
「ダビング10」（コピー9回＋移動1回）番組の録画はできますか？	● できます。	76

■ 予約

質問	回答	参照ページ
予約が重なった場合は、 どちらが優先されるのですか？	● 「予約が重なったときは」をご覧ください。	101
電源を入れたまま予約時間になった場合は？	● 電源の入／切にかかわらず、録画予約は始まります。	100

■ 再生

質問	回答	参照ページ
ブルーレイ3D™ディスクが3D映像で 再生されない。	● 本機と3D映像対応テレビをhigh speed HDMIケーブルで接続していますか。 ● “3Dディスク再生設定”が“2D”になっていませんか？	27 142
海外で買ったBD-Videoは再生できますか？	● リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外（PAL、SECAMなど）で記録されている場合は再生できません。	68
海外で買ったDVD-Videoは再生できますか？	● リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外（PAL、SECAMなど）で記録されている場合は再生できません。	68
本機で録画やダビングしたディスクを、他の機器で再生するにはどうすればよいでしょうか？	● ファイナライズをすると、対応しているプレーヤーなどで再生できます。記録状態によっては再生できないことがあります。	127

■ 編集・ダビング

質問	回答	参照ページ
どんな編集ができますか？	● メディアによって、編集できる機能が異なります。「編集の前に」をご覧ください。	117
ファイナライズを解除すると何ができますか？	● すでに録画された内容を消さずに、追加で録画や消去・編集ができるようになります。（本機でファイナライズした DVD-RW（VR）のみ）	127
市販やレンタルのソフトからダビングできますか？	● 著作権保護のためにコピーガードが入っているものは、ダビングできません。	129
本機でダビング中に録画や再生はできますか？	● 高速ダビング時は以下の操作はできません。 - JPEG の再生 - ディスクへのダビング中に、ディスクの再生 - 移動中に移動元のメディア（HDD / ブルーレイディスク / カセット HDD）の再生 - [録画] ボタンによる録画（録画予約はできます） ● 等速ダビング時は、録画や再生はできません。（開始時間が近い録画予約がある場合は、等速ダビングを開始できません）	82 –

■ その他

質問	回答	参照ページ
日本全国どこでも使えますか？ 海外でも使えますか？	● 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	–
VTR との違いは？	● HDD に録画すれば長時間番組も録画できます。 ● HDD、カセット HDD、ディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 ● 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。（ビデオテープのように早送り／巻戻しをする必要はありません） ● パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	– – – –

●●▶次ページへつづく

困ったときは・つづき

こんなメッセージが表示されたときは

■ 操作全般

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
⃠	● 現在、その操作を行うことは禁止されています。	58
まもなくオートオフ機能により電源が切れます。	● “未使用時自動電源オフ”が設定されているため、まもなく電源が切れます。 → 何らかの操作をすると、電源は切れません。 ● “未使用時自動電源オフ”を無効にするときは、“本体設定”メニューの“かんたん設定 / その他”-“未使用時自動電源オフ”の設定を“利用しない”にしてください。	144 144
ダビング中にこの操作はできません。	● 現在ダビング中のため、その操作を行うことは禁止されています。	82、163
まもなくディスクへの録画予約を開始します。ディスクへ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。	● まもなくディスクへの録画予約を開始します。ディスクへ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。（代理録画）	67、76
まもなく iVDR への録画予約を開始します。iVDR へ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。	● まもなくカセット HDD への録画予約を開始します。カセット HDD へ録画できない場合、録画先を HDD に変更します（代理録画）。	72、100

■ メール

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
スタートメニューからメールを確認してください。	● 新着のお知らせメールがあります。 → メールの内容を確認してください。	139

■ ディスク・SD カード・カセット HDD

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
ディスクを取り出してください。このディスクは再生することができません。	● 本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 → ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	−
リージョンエラー。この地域での再生は禁止されています。	● 本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 → ディスクを取り出してください。	68
SD カードに異常が発生しました。SD カードを取り外してください。	● SD カードのデータを正しく読み込みできませんでした。 → SD カードを取り出して、正しく入れなおしてください。	75
この iVDR は初期化されていない iVDR か、または、再生及び録画ができない iVDR です。録画できるようにするには初期化が必要です。 初期化しますか？	● 本機で初期化していないカセット HDD が挿入されています。 ● 初期化してください。（カセット HDD 内の内容はすべて消去されます）	72 72、128

■ 録画

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
エラーが検出されたため、正常に終了しませんでした。	● エラーが検出されたため、録画が停止されました。（HDD の異常、またはディスクの傷や汚れが原因の可能性があります）	69、70
録画禁止番組のため、録画できません。	●「録画禁止」番組を録画しようとしています。	76
残量不足により録画を中断しました。	● HDD やディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。	–
録画時間が 8 時間を越えたため、録画を停止しました。	● 連続録画時間が 8 時間になったため、録画を停止しました。 ● 1 番組あたりの連続録画可能時間は最大 8 時間です。	–
セキュア非対応の iVDR のため、この番組は録画できません。	● セキュア非対応カセット HDD にコピーワンスやダビング 10 のデジタル放送番組を録画しようとした場合に表示されます。 → コピー制限付き番組の録画を行う場合はセキュア対応カセット HDD「iVDR-S」をご使用ください。	69

■ 予約

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
HDD の残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、最後まで録画できません。 ディスクの残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、HDD に空き容量があればそちらに代理録画されます。 iVDR の残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、HDD に空き容量があればそちらに代理録画されます。	● HDD、カセット HDD、またはディスクの残量が不足しています。 → 決定 を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	57
予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。	● 予約登録数が上限に達したので、不要な予約を削除してください。	98
番組情報が変更されました。	● 予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。	–

■ 消去・編集・ダビング

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
エラーが検出されたため、正常に終了しませんでした。	● ディスクに傷や汚れがあると、編集が正常に完了しない場合があります。 → 決定 を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	–
この番組（またはディスク）は保護されているため、ダビングできません。	●「移動」になるタイトルやディスクが保護されているときは、ダビングができません。 → タイトルやメディアの保護を解除してください。	123、126
この番組はすでに登録しているため、選択できません。	●「移動」になるタイトル、または「ダビング 10」タイトルは、ダビングリストに一度しか登録できません。	–
最大登録数を超えるため、選択できません。	● ダビングリストの一覧の登録タイトル数がいっぱいになっています。 ● ダビングリストの一覧に登録できるタイトル数は最大 36 タイトルです。	136 160
8 時間を超える番組は、ダビングできません。	● 8 時間を越えるタイトルは、ダビングできません。	–

さまざまな情報

15

●● ▶ 次ページへつづく

困ったときは・つづき

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、AV アンプなど、接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

1 **まずは、次ページ からの「こんなときは（症状） − ここをお調べください（原因と対応のしかた）」をご覧になり、現在の症状と対応のしかたをお調べください。**

それでも直らないときは

2 **保護装置＊がはたらいている可能性があります。次の操作を行ってください。**

ディスクや SD カード、カセット HDD が取り出せる場合は、先に取り出しておいてください。

① 本機の電源を切ることができる場合は、本体上面の［電源］ボタンを押して本機の電源を切る（［電源］ボタンを 8 秒間以上長押しすると、強制的に電源を切ります）

② 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ

③ 本機の電源プラグを電源コンセントに差し込む（本機が通電状態になります）

④ 電源を入れて、動作を確認する

それでも、まだ不具合があるときは

4 **本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。**

メモ

＊保護装置

- 本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合、保護のために保護装置が働き、強制的に電源を切る仕組みになっています。

■ 電源

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
電源が入らない。	● 電源コードのプラグが電源コンセントや本体から抜けていませんか。 ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	36 37 166
何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る。	● 番組表（G ガイド）の番組データを受信中、または録画モードを変換中（本体前面の電源ランプが赤色で点灯）です。 ● ダウンロード更新中（本体前面の HDD ランプが点滅）です。 ● 録画予約の開始時刻約 2 分前になると録画 / 予約ランプが赤色で点滅します。（録画が始まると録画/予約ランプは赤色での点灯に変わります）	55、125 46 —
電源を入れると、“かんたん設定”画面が表示される。	● “かんたん設定”をしていないときは、電源を入れると“かんたん設定”画面が表示されます。	39
テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れる。本機の電源を入れると、テレビの電源も自動的に入る。	● CEC リンク制御対応テレビと組み合わせて CEC リンク制御のテレビ電源オン連動機能やテレビ電源オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源と本機の電源が連動して自動的に入 / 切 します。（お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります）	54
勝手に電源が切れる。	● “未使用時自動電源オフ”機能が設定されていませんか。 ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	144 166
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	● システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	—
電源を切ったあと、2 時間ほど冷却用ファンが回ったままになる。	● デジタル放送の有料放送と契約した場合、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。	—

■ 本機の操作全般、ディスク

● 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本機が動かない。 本機の操作ができない。	● その操作が禁止されているときは、“⊘”またはメッセージが表示されます。 ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● ご購入後に初めて電源を入れたときは“かんたん設定”画面が表示されます。 ● “かんたん設定”実行中は、録画・再生などの操作はできません。 ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。 ● HDD に記録されているタイトル数が多いと、その分、本機の電源プラグを挿しなおした際の起動に時間がかかります。	58 37 39 — 166 —
HDD の操作ができない。	● 操作先が HDD（本体のＨＤＤランプが点灯）になっていますか。	21
ディスクの操作ができない。	● 操作先がディスク（本体の DISC ランプが点灯）になっていますか。 ● ディスクを入れていますか。 ● ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	21 73 —
ディスクトレイの開閉ができない。	● ダビングリスト表示中などは、トレイ開閉できない場合があります。 ● 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。 → [電源] ボタンを 8 秒間以上長押しして電源を切り、[トレイ開 / 閉] ボタンで電源を入れてください。それでも直らないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	— 166
ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる。	● 情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	—
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	● ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	—
本機の設定画面やサブメニューが選べない。表示されない項目がある。	● 設定や項目の操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。 ● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	59 —

●● ▶ 次ページへつづく

困ったときは・つづき

■ 本機の操作全般、ディスク（つづき）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本機が正常に動作しない。	● 露付きが起こっていませんか。 → 電源を入れたまま、2 時間以上お待ちください。	16
SDカードの操作ができない。 SDカードの内容が読めない。	● SD カードを入れていますか。 ● SD カードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。	75

■ 視聴、チャンネル切換

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
テレビに本機の映像が映らない。	● アンテナ－本機－テレビを接続していますか。 ● ケーブルやコードを違う端子（入力／出力も含む）につないでいませんか。 ● ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。 ● 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続したときは、“HDMI 解像度設定”の設定が合っていないと、正常に映りません。 → リモコンの［再生］を５秒以上押し続けてください。設定が“自動”になり、映るようになります。 ● “HDMI 解像度設定”が“自動”または“1080p24”の場合、映像出力端子（黄）から映像が出力されない場合があります。 → HDMI ケーブルを抜いてください。（テレビと接続するときは、HDMI ケーブルまたは映像・音声接続コードのどちらかでつないでください） ● 3D 再生中は、映像出力端子（黄）から映像が出力されない場合があります。 ● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	25~29 25~29 25~29 141 141 － －
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった。	● 分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 本機の電源コードを、常に電源コンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。 ● アンテナ線と HDMI ケーブル、LAN ケーブルなどの距離を離してください。 ● “共通設定”の“アンテナ出力”が“切”になっていませんか。この設定が“切”になっていると、本機の電源が切れている間は、地デジ、BS・110 度 CS デジタル放送アンテナ信号を送ることができません。	－ 36 － 45
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。	● アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか。また、UHF アンテナ、同軸ケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか。 ● 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。 ● 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、“放送受信設定”の“アンテナレベル”の数値が低くなります。アンテナレベルの数値は、「20」以上を目安にしてください。 ● 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、“放送受信設定”の“アッテネーター”の設定を“入”にすると、映りが改善されることがあります。 ● B-CAS カードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。 ● 分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	25、26、28、29 44 47 47 36 －

■ 視聴、チャンネル切換（つづき）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
BS･110 度 CS デジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る。	● アンテナ線を BS･110 度 CS デジタル放送用の端子につないでいますか。また、BS･110 度 CS アンテナ、同軸ケーブル、分波器などは、デジタル放送対応のものを使っていますか。 ● “放送受信設定” の “アンテナ電源” の設定は正しいですか。 ● “放送受信設定” の “アンテナ電源” の設定を “供給する” にしているときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。 ● BS･110 度 CS アンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 ● 次のような場合は、電波障害により一時的に映像･音声が乱れることがあります。 - 雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。 - 雪が BS･110 度 CS アンテナに付着しているとき。 ● B-CAS カードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。	25、26 45 45 25、26、48 － 36
放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない。	● 2 番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。 ● 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。	84 －
チャンネルを切り換えても、そのチャンネルの映像が映らない。	● “かんたん設定”（“チャンネルの割り当て設定”）をしましたか。	39
映像の左右の端が切れる。	● テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	－
デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない。	● 字幕の設定が “オフ” になっていないか確認してください。 ● “文字スーパー” の設定が “表示しない” になっていないか確認してください。	64 46
WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない。	● 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ● 契約した B-CAS カードを挿入してください。	－ 36

■ 番組表（G ガイド）（p.55、87 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
番組表（G ガイド）が表示されない。 番組表（G ガイド）が 8 日分表示されない。	● お買い上げ時には、番組表（G ガイド）は表示されません。チャンネル設定後に、番組表（G ガイド）の番組データを受信するまでは表示されません ● スキップ設定されたチャンネルは表示されません。 ● 番組表（G ガイド）で “1CH 表示” に設定されている放送局は 1 つのチャンネルしか表示されません。	55 49 87
番組データを受信できない。	● 番組データは、本機の電源が待機状態（リモコンで電源を切った状態）のときに受信します。	55
番組表（G ガイド）に表示されない放送局や番組がある。 NHK が違う地域の番組表（G ガイド）で表示される。	● チャンネルや放送局名が正しく設定されていない場合は、表示されません。正しいチャンネルや放送局名を設定してください。	44、45
予約した番組と録画された番組が合っていない。	● 番組表（G ガイド）が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	55、87

次ページへつづく

困ったときは・つづき

■ 録画・録画予約（p.67、76、100 ～ 102 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
録画できない。	● 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。 ●「録画禁止」番組を録画していませんか。 ● HDD や BD-RE / -R の残量時間が不足していませんか。 → 不要なタイトルを削除するか、別の BD-RE / -R に録画してください。 ● タイトル数がいっぱいになっていませんか。 → 不要なタイトルを削除するか、別の BD-RE / -R に録画してください。 ● アンテナを本機に接続していますか。 ● アンテナレベルは十分ですか。	ー 76 57 121、160 25、26 47、48
ディスクに録画できない。	● 録画可能なディスクを入れていますか。 ● 本機では、DVD-RW / -R には直接録画できません。（ダビングはできます） ● 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。 ● ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。 ● ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。	67、76 67、76 ー ー 70 126、127
ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスなど、他の機器の映像が録画できない。	● 本機の入力切換を外部入力（L1）に切り換えていますか。 ● つないだ機器の電源が入っていますか。 ● ケーブルやコードを違う端子（入力／出力も含む）につないでいませんか。 コピー制限の有無にかかわらず、外部入力（L1）から HDD に録画されたタイトルを DVD-RW（AVCREC™）/ DVD-R（AVCREC™）にダビングすることはできません。	66 ー 28、29
録画予約できない。 録画予約した番組が録画されない。	● 予約スキップをしていると、録画されません。 ● 停電があったときは、正しく録画されません。 ● ファイナライズ、初期化（フォーマット）、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、録画予約できません。	96 102 ー
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	● 予約が重なっていませんか。 ● 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	101 101
2 番組を同時に録画できない。	● 2 番組をディスクのみに同時録画することはできません。 ● 録画モードが XP / SP / LP / EP の場合、2 番組同時録画はできません。	ー ー
カセット HDD に録画できない。	● 録画可能なカセット HDD を挿入していますか。 ● デジタル放送を録画モードを TS 以外にして、カセット HDD に直接録画することはできません。外部入力は、標準画質のみ直接録画できます。	ー ー
録画モード TS 以外で録画・録画予約した番組が、録画モード TS で録画されている。	● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード TS で録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）	81

■ 再生（p.116 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	–
ディスクの再生ができない。	● 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。 ● ディスクの表裏を正しく入れていますか。 ● 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。 ● 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW（Video、AVCREC™）/DVD-R（Video、AVCREC™）は、本機では再生できません。 ● 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。 ● BD/DVD-Videoの視聴制限設定をしていませんか。 ● 録画モードをTS以外で録画している場合、BD-VideoやAVCHDを再生することはできません。	67 73 70 70 70 146 –
タイトルの最初から再生が始まらない。	● つづき再生になっていませんか。	104
映像や音声が一瞬止まる。	● 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	116
画面サイズがおかしい。	● “TV画面選択”をテレビの形状に合わせて選択していますか。 ● [4:3] [16:9 LB] [16:9 PS] のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	140 –
再生中の映像が乱れる。 再生中の色がおかしくなる。	● 早送り / 早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ● 本機とテレビを直接つないでいますか。本機とテレビをVTRなどを経由してつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 ● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。	– 27 –
DVDの再生が途中で自動的に止まる。	● DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。	–
音声が出ない。 字幕が出ない。	● AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 - つないだ機器の電源が入っていますか。 - つないだ機器の入力切換が合っていますか。 - ケーブルやコードを正しく（入力 / 出力も含む）つないでいますか。 ● “音声設定”が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか。 ● 本機では録画モードをTS以外で録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。（HDDに録画する場合は、録画モードをAF～AEにしていても字幕を切り換えることができます） ● ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	34 141 79 –
外部入力で録画した番組を再生すると、2つの音声が混ざって聞こえる。	● “録画設定”の“外部入力音声”を“ステレオ”にして録画していませんか。 → 録画前に、設定を“二カ国語”にしてから録画してください。	143
二カ国語音声が切り換えできない。 日本語と英語が切り換えできない。	● “録画設定”の“二カ国語音声”、“外部入力音声”で設定されている音声で記録されます。 → 録画前に、これらの設定を確認してください。	143
デジタル音声の二重音声が切り換えられない。	● “音声設定”の“Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD”、“DTS/DTS-HD”または“AAC”を“自動”に設定して、光デジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、音声を切り換えることはできません。 → 設定を“PCM”にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	141
ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない。	● ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ● ディスクによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。	– –
カメラアングルが切り換わらない。	● カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	–
録画モードTS以外で録画した番組が、“見る”画面上では「TS→○○変換予定」（○○は録画モード）と表示されている。	● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古いタイトルから順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）	81

●● ▶ 次ページへつづく

困ったときは・つづき

■ 消去・編集・ダビング（p.117、138 もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
タイトルの編集・削除ができない。 ディスクの編集ができない。 チャプター境界位置の編集ができない。	● タイトルやメディアが保護されている場合は、消去や編集はできません。 → タイトルやディスクの保護設定を解除してください。 ● ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 ● 録画モード変換予定のタイトルは、分割やタイトルの保護はできません。	117、123 126 127 –
チャプター境界が追加できない。	● チャプター境界数がいっぱいになっていませんか。 → 不要なチャプター境界を削除（結合）してください。	122、160
タイトルを削除しても、ディスクの残量が増えない。	● BD-R、DVD-R、DVD-RW（AVCREC™）は、タイトルを消去してもディスクの残量は増えません。	121
削除・分割したタイトルを元に戻せない。	● 削除・分割された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。	121、124
初期化した内容を元に戻せない。	● 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、初期化してください。	128
本機で作成した DVD-RW（AVCREC™）/DVD-R（AVCREC™）を他のプレーヤーで再生できない。	● 他の機器が DVD-RW（AVCREC™）/DVD-R（AVCREC™）に対応しているか確認してください。 ● AVCREC™ に対応した他の機器で再生するには、本機でファイナライズが必要です。	– 127
ファイナライズしても、他の DVD プレーヤーで再生できない。	● DVD プレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。	–
ファイナライズが解除できない。	● 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズした DVD-RW（VR）だけです。	127
ダビングできない。	● 市販のビデオソフトなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスクは、ダビングできません。 ● 他機で録画されてファイナライズされていない DVD-RW（Video）/ DVD-R（Video）は、ダビングできません。 ● ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 ● 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ● 保護された「1 回だけ録画可能」タイトル、または「ダビング 10」タイトルの 10 回目のダビングはできません。ダビングするには保護を解除してください。	129 – 70 – – 123
ダビングすると、元のタイトルが消える。	●「1 回だけ録画可能」タイトルのダビングや、「ダビング 10（コピー 9 回＋移動 1 回）」タイトルの 10 回目のダビングは、「移動」になり、録画元のタイトルは削除されます。	132
ダビングしても字幕がダビングされない。	● 録画モードを TS にして録画されたタイトルを高速ダビングした場合のみ、字幕の情報もダビングされます。ダビング元が HDD やカセット HDD の場合は、録画モードを AF ～ AE にして録画されたタイトルも字幕情報がダビングされます。（字幕がある場合のみ）	79

■ カセットHDD（p.18、21、72もご覧ください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
カセットHDDが使用できない	● カセットHDDが正しく挿入されていますか。 → 正しく挿入してください。	21、72
カセットHDDに録画できない	● カセットHDDに十分な空き容量がありますか。 → 空き容量が少ない場合は、タイトルをHDDにダビングしたり、削除したりして空き容量を増やしてください。	121、135
カセットHDDのタイトルが消えてしまった	● カセットHDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 → このような場合、記録されていたタイトルが消える場合があります。タイトルがすべて消えた場合や、カセットHDDが動作しない場合は、カセットHDDを初期化してください。	72、102
カセットHDDに録画予約した番組が、HDDに録画されていた	● カセットHDDが無効になっていませんか。 → カセットHDDを正しく挿入しているかをご確認ください。	21、72
	● カセットHDDへ録画予約中に停電があった場合、停電復帰後の録画予約の続きはHDDへ代理録画します。	102
	● カセットHDDへ2番組同時録画を実行するときに、ダビング元またはダビング先のいずれかが、カセットHDDでダビングを実行している場合は、2番組目がHDDへ代理録画されます。	−

■ CECリンク制御

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
CECリンク制御がはたらかない。	● CECリンク制御は、本機と対応機器を組み合わせて、必要な接続（HDMI接続）と設定を行っている場合だけ、使えます。	54
	● CECリンク制御が有効な状態で、本機の電源コードやHDMIケーブルを抜いた場合は、CECリンク制御が無効となります。 → 電源コードやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または“HDMI接続設定”－“CECリンク制御”の設定を一度“切”に変更して決定したあともう一度設定を“入”に変更して決定すると、再びCECリンク制御が有効になります。	−

●● ▶ 次ページへつづく

困ったときは・つづき

■ リモコン

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
リモコンがはたらかない。本機だけ、テレビだけ、など一部のボタンを押しても動作しない。	● 乾電池が消耗していませんか。	37
HDD の操作ができない。	● 操作先が HDD（本体前面の HDD ランプが点灯）になっていますか。	21
ディスクの操作ができない。	● 操作先がディスク（本体前面の DISC ランプが点灯）になっていますか。	21
カセット HDD の操作ができない。	● 操作先がカセットHDD(本体前面のiVDRランプが点灯)になっていますか。	21
テレビの操作ができない。	● 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。	37

■ その他

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
何も操作していないのに、本機の内部で音がする。本機の動作音が大きくなる。	● 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。 ● 高速記録対応ディスクを使用してダビングしているときや、冷却用ファンの制御によってファンの回転数が上がったときなどは、動作音が大きくなります。	ー ー
“BD 視聴制限レベル”、“DVD 視聴制限レベル”、“視聴年齢制限”、“インターネット接続制限”、“BD-Live 接続設定”のパスワードを忘れた。	● これらの設定画面でパスワード入力画面が表示されたときに、4737 を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。新しいパスワードを作成し、設定しなおしてください。	50

用語説明

■ あ

「1 回だけ録画可能」番組（コピーワンス）（p.76、132）
- 著作権保護・違法コピー防止のため、1 回だけ録画することが許可されているデジタル放送の番組のことです。「1 回だけ録画可能」タイトルをダビングすると、ダビング元（オリジナル）の録画内容が「移動」されて、ダビング元の録画内容は消去されます（残りません）。

インターレース（飛び越し走査）（480i）
- テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1 つの画像（有効走査線数 480 本）を 1 本飛ばしの半分ずつ 2 回に分けて表示します。これにより、1 つの画像を 1/30 秒（30 コマ / 秒）で映します。

■ か

コピーガード、コピー制御信号
- 複製防止機能のことです。
  著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画することはできません。

■ さ

視聴制限（パレンタルレベル）（p.50、146）
- デジタル放送やソフト側で設定された、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生することができます。

字幕放送（p.60、64）
- デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する“文字スーパー”という機能もあります。

初期化（フォーマット）（p.72、73、74、128）
- カセット HDD や録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときに行います。初期化（フォーマット）を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

双方向サービス、通信
- 視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するにはネットワークの接続と設定が必要です。

■ た

タイトル（番組）/ チャプター（p.71）
- HDD やブルーレイディスク /DVD の大きな区切りを「タイトル」、タイトルの中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

「ダビング 10」（コピー9回+移動 1 回）番組（p.16、76、132）
- 著作権保護・違法コピー防止のため、10 回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。
  「ダビング 10」タイトルをダビングすると、9 回目までは「コピー」、10 回目は「移動」となります。

データ放送（p.60、64）
- お客さまが見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。たとえば、お客さまがお住まい地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。
  その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどがあります。

デジタルハイビジョン
- 地上デジタル放送と BS デジタル放送には、デジタルハイビジョン放送（HD 放送）があり、従来のアナログハイビジョンと同等の画質で放送されます。ハイビジョンの有効走査線数は 1080 本（地上アナログ放送の 480 本の倍以上）あり、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。
  また、地上アナログ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送（SD 放送）もあります。

トラック（p.71）
- 音楽用 CD の曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

■ は

バーチャル・パッケージ（p.112）
- 一部の BD-Video では、他のメディア（ローカルストレージ）にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。
  データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Video によって異なります。

ハイビジョン画質、HD（エイチディー）放送
- HD は High Definition の略で、デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数は 720 本または 1080 本です。
  標準画質（SD 放送）よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

パンスキャン（p.149）
- 標準テレビ（4:3）にワイド映像を映す方法の 1 つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ビットストリーム
- 圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート
- 映像・音声データを記録する際に、1 秒間に書き込む情報量のことをいいます。

次ページへつづく

用語説明・つづき

■ は（つづき）

標準画質、SD（エスディー）放送

- SD は Standard Definition の略で、デジタル放送の標準画質のテレビ放送です。有効走査線数 480 本です。

ファイナライズ（p.127）

- 本機で録画した BD-R、DVD-RW/-R を、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

プログレッシブ（順次走査）（480p）

- テレビに映像を映すときに、1 つの画像（有効走査線数 480 本）を一度に表示し、1/60 秒（60 コマ / 秒）で映します。
  インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

■ ま

マルチビュー放送（p.65）

- 1 チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。たとえば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

■ ら

リージョンコード（再生可能地域番号）（p.68）

- BD-Video や DVD-Video は、国によって再生できる記号や番号（これをリージョンコードといいます）が分けられています。日本の場合、BD-Video は「A」、DVD-Video は「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

リジューム（つづき再生）（p.104）

- 再生中に停止すると停止位置が記憶され、記憶している停止位置から再生を始めることができます。

リニア PCM（ピーシーエム）

- PCM は Pulse Code Modulation の略で、リニア PCM はデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

レターボックス（p.140）

- 標準テレビ（4:3）にワイド映像を映す方法の 1 つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつきます。

■ ABC

AAC（エーエーシー）（p.141）

- Advanced Audio Coding の略で、音声符号化の規格の 1 つです。AAC は、CD 並みの音質データを約 1/12 にまで圧縮できます。また、5.1ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）方式（p.68）

- ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクや SD カードなどに記録できるように開発された規格です。

AVCREC™（エーブイシーレック）方式

- デジタル放送をハイビジョン画質で DVD に記録する方式です。CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10」（コピー 9 回＋移動 1 回）番組がダビングできます。ディスクは、ファイナライズ後に AVCREC™ 方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

B-CAS（ビーキャス）カード（p.36）

- デジタル放送用の IC カードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。

BD-Live™（p.33）

- BD-Live™ は、BD-Video（BD-ROM Profile 2.0）の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-J による通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

CEC（シーイーシー）リンク制御（p.54）

- HDMI ケーブルを使って対応機器とつなぐことで、機器との連動操作が行えるようになる機能です。

CPRM（シーピーアールエム）（p.74）

- Content Protection for Recordable Media の略で、「1 回だけ録画可能」番組に対する著作権保護技術です。デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10（コピー 9 回＋移動 1 回）」番組を DVD に記録するときは、CPRM 対応のディスクを使います。

Dolby D（ダイナミック）レンジ（p.141）

- Dolby Digital で記録されたタイトルの音声レベルの最小値と最大値の差のことをいい、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすく再生することができます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）（p.141）
- ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。
  この技術を PCM 記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度（ビットレート）の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Digital Plus（ ドルビーデジタルプラス）
Dolby TrueHD（ドルビートゥルーエイチディー）（p.141）
- Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch 以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。
  Dolby TrueHD は、DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。
  両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS®（ディーティーエス）（p.141）
- DTS 社が開発した、デジタル音声システムです。DTS 対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®（ディーティーエス エイチディー）（p.141）
- DTS® をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来の DTS 対応アンプでも DTS® として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

GB（ギガバイト）
- HDD、カセット HDD、ブルーレイディスクや DVD の容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

HD（エイチディー）放送
- → この「用語説明」の「ハイビジョン画質、HD（エイチディー）放送」をご覧ください。

HDD（ハードディスク（ドライブ））（p.18、67、69）
- パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の 1 つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。
  本機には、この HDD を 1 台内蔵しています。（お客さま自身で HDD を交換することはできません）

HDMI（エイチディーエムアイ）（p.27）
- High Definition Multimedia Interface の略で、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタル AV インターフェースです。
  映像信号と音声信号を 1 本のケーブルで接続できます。

iVDR（アイブイディーアール）（p.18、67、69）
- iVDR（Information Versatile Device for Removable usage）規格に準拠したカセット式のハードディスクです。別売のカセット HDD を接続することにより、HDD の高速かつ大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。

JPEG（ジェイペグ）（p.113）
- Joint Photographic Experts Group の略で、静止画像データの圧縮方式の 1 つです。
  ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

MPEG（エムペグ）、MPEG-2（エムペグツー）、MPEG-4 AVC/H.264（エムペグフォー エーブイシー エイチ）
- MPEG は Moving Picture Experts Group の略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。
  MPEG-2 は、DVD の記録などに使われる方式です。
  MPEG-4 AVC/H.264 は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC（エヌティーエスシー）
- 日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されている PAL または SECAM 方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきた DVD-Video は視聴できないことがあります。

SD（エスディー）放送
- → この「用語説明」の「標準画質、SD(エスディー)放送」をご覧ください。

VBR（ブイビーアール）、可変ビットレート方式
- Variable Bit Rate の略で、映像の動きの多い／少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

VR（ブイアール）方式
- DVD レコーダーの基本記録方式です。CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10」（コピー 9 回＋移動 1 回）番組がダビングできます。ディスクは、ファイナライズ後に VR 方式対応方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

さくいん

■て

■と

■ね

■の

■は

■ひ

■ふ

■へ

■ほ

■ま

■み

■め

■も

■ら

■り

■れ

■ろ

■A

■B

■C

■D

■H

■I

■J

■L

■M

■P

■S

■T

maxell

日立マクセル株式会社
〒 102-8521　東京都千代田区飯田橋 2-18-2
ご連絡先：TEL.（03）5213-3525